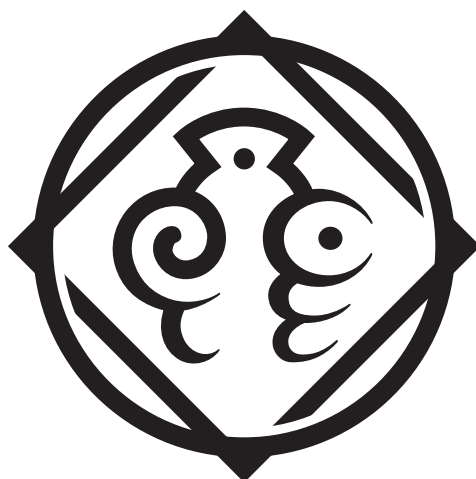


けんこう鳥取

令和2年度



鳥取市 健康こども部

は じ め に

鳥取市では、「誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち」をまちづくりの基本施策（第11次鳥取市総合計画）の一つとして掲げ、さらに、「市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送れること」を基本理念とした「とっとり市民元気プラン」を基に、市民のみなさんの生涯を通じた健康づくりを推進しています。

令和2年4月に健康こども部の組織再編による保健所と保健センターの一体化を行い、令和2年5月には保健所の駅南庁舎への移転により、駅南庁舎は関連する窓口をワンフロアに集約した「健康づくりと子育て支援の総合拠点」として生まれ変わりました。保健衛生業務を実施するとともに、健康づくりや母子保健、子育て支援等に関する業務との連携を進め、迅速できめ細やかな地域保健サービスの提供に取り組んでいるところです。

また一方で、鳥取市と県東部4町の圏域を管轄する保健所として、新型コロナウイルス感染症対応においても、積極的な疫学調査や検査を徹底して実施し、感染者の早期の把握、感染拡大の封じ込めに取り組んできております。

このたび、これらの取組の概要や実績を取りまとめた「けんこう鳥取」を作成しました。この冊子を御覧いただくことで、本市の保健衛生事業の現状について、御理解をいただくことができれば幸いです。

引き続き、関係機関や関係団体の皆様とともに保健・医療・福祉の連携をさらに深め、市民の皆様が生涯を通じた健康づくりをさらに推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともより一層の御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

令和3年8月

鳥取市健康こども部長 橋本 浩之

目 次

I 鳥取市の概況

1 概況	1
2 財政状況	2
3 衛生統計	4

II 保健事業に関わる組織の概況

1 組織と主な業務	6
2 職員表	7
3 とっとり市民元気プラン2016推進状況	8
4 第4期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」策定経過	12

III 鳥取市保健所事業概要

健康・子育て推進課に関する事業

1 保健事業一覧	14
2 母子保健事業	15
3 成人保健事業	28
4 栄養改善事業	52
5 歯科保健事業	57
6 歯科保健・糖尿病予防対策東部圏域保健事業	59
7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	60
8 健康づくり普及啓発活動	61
9 地区組織活動	61

保健総務課に関する事業	65
-------------	----

保健医療課に関する事業

1 医事薬事	69
2 感染症・疾病対策	72
3 心の健康支援	76

生活安全課に関する事業	79
-------------	----

鳥取東保健センターに関する事業	86
-----------------	----

IV 健康こども部事業概要

こども家庭相談センターに関する事業	87
-------------------	----

こども発達支援センターに関する事業

1 発達支援係	89
2 特別支援教育係	90

3	児童発達支援センター若草学園	9 1
---	----------------	-----

V 資料

1	要綱等新規制定・改正状況一覧表	9 3
2	沿革	9 4

I 鳥取市の概況

1 概況

(1) 地勢

本市は、鳥取県東北部に位置し、北は日本海に面し、東は岩美町及び一部兵庫県、西は湯梨浜町及び三朝町、南は八頭町、智頭町及び一部岡山県に接し、県庁所在都市として鳥取県東部広域圏の中心をなしている。面積は765.31平方キロメートルで、山陰最大の都市である。

また、四季のうつろいが実感できる比較的温暖な気候で、千代川により形成された鳥取平野を中心に広がり、海、山、川、池など多くの自然に囲まれている。

岡山、姫路からは100km、神戸、大阪、京都からは150kmの圏域にある。

(2) 人口、世帯

人口 185,157人 (男 89,249人、女 95,908人)

世帯数 80,802世帯

(注) 令和3年3月末日現在の人口

(3) 位置

東経 134° 26' 27" (東端)

133° 56' 46" (西端)

北緯 35° 16' 17" (南端)

35° 34' 22" (北端)



(4) 将来像 (第11次鳥取市総合計画より)

「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」

1 総合戦略の柱 (第2期鳥取市創生総合戦略)

- 1 次世代の鳥取市を担う‘ひとづくり’
- 2 誰もが活躍できる‘しごとづくり’
- 3 にぎわいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’

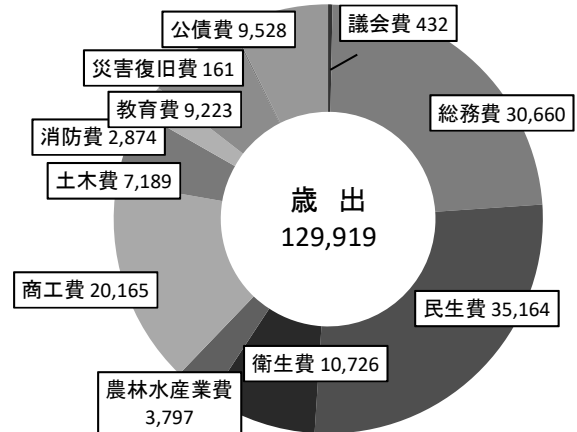
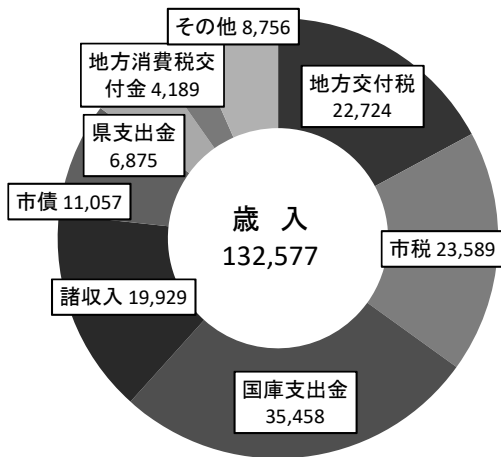
2 まちづくりの目標 (第11次鳥取市総合計画)

- 1 誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち
- 2 人が行きかい、にぎわいあふれるまち
- 3 豊かな自然と調和して、安全・安心に暮らせるまち

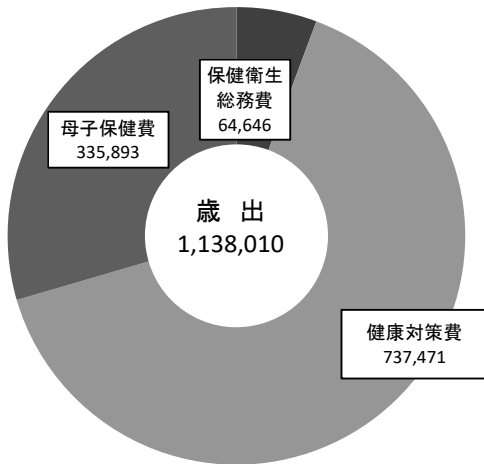
2 財政状況

令和2年度一般会計費目別構成（決算額）

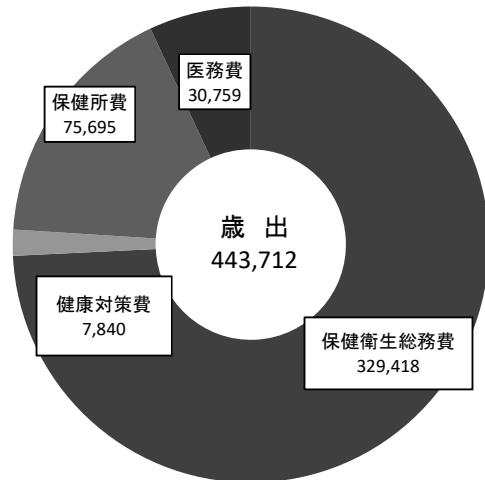
（単位：百万円）



- 健康・子育て推進課（鳥取東保健センター含む）
一般会計費目別構成
歳出総額 1,138,010千円（令和2年度）
一般会計歳出のうち
健康・子育て推進課歳出が占める割合 0.87%
（単位：千円）



- 保健総務課
一般会計費目別構成
歳出総額 443,712千円（令和2年度）
一般会計歳出のうち
保健総務課歳出が占める割合 0.34%
（単位：千円）



■保健医療課

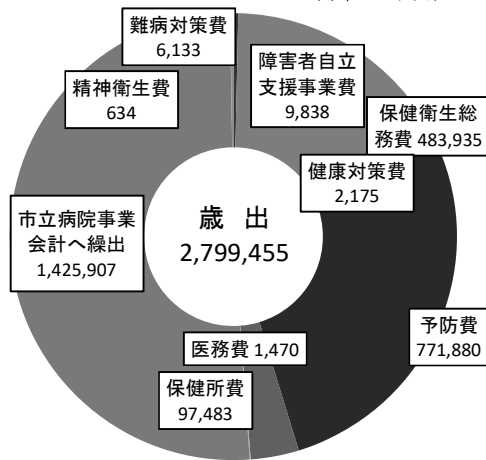
一般会計費目別構成

歳出総額 2,799,455千円（令和2年度）

一般会計歳出のうち

保健医療課歳出が占める割合 2.15%

（単位：千円）



■生活安全課

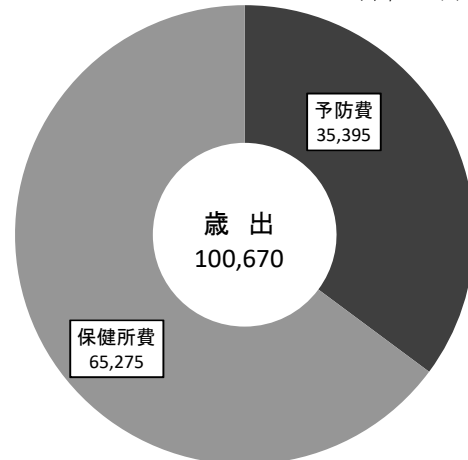
一般会計費目別構成

歳出総額 100,670千円（令和2年度）

一般会計歳出のうち

生活安全課歳出が占める割合 0.07%

（単位：千円）



■こども家庭相談センター

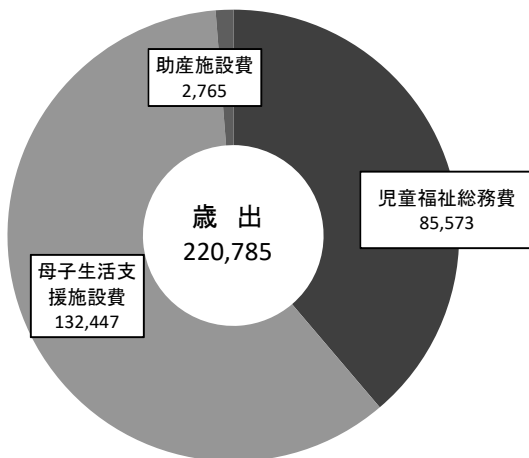
一般会計費目別構成

歳出総額 220,785千円（令和2年度）

一般会計歳出のうち

こども家庭相談センター歳出が占める割合 0.17%

（単位：千円）



■こども発達支援センター

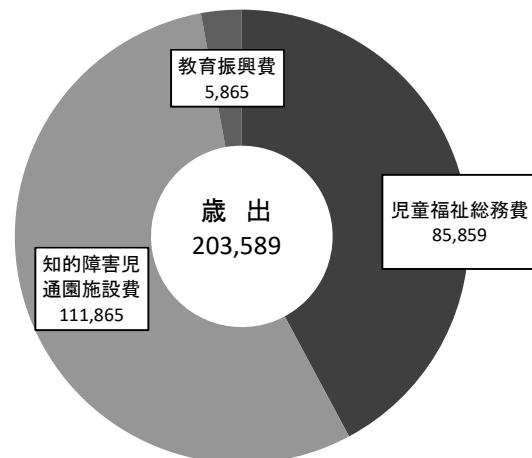
一般会計費目別構成

歳出総額 203,589千円（令和2年度）

一般会計歳出のうち

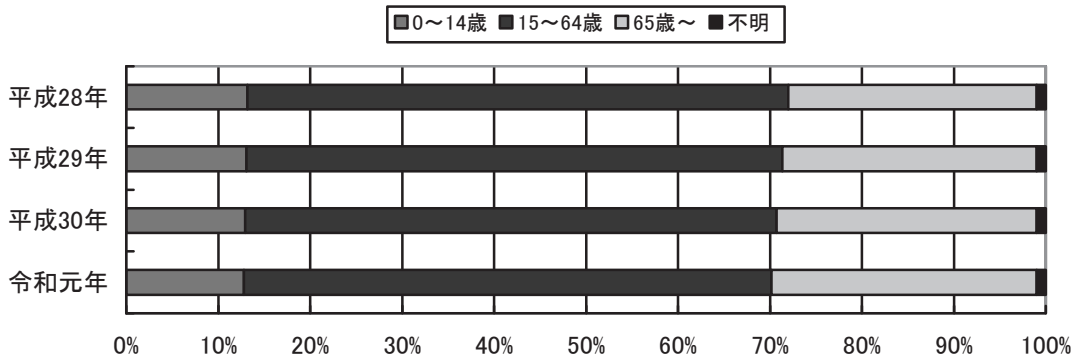
こども発達支援センター歳出が占める割合 0.15%

（単位：千円）



鳥取県「眠れてますか？」睡眠キャンペーンキャラクター「スーミン」鳥取市ご当地バージョン

3 衛生統計
 (1) 人口動態
 ①人口統計

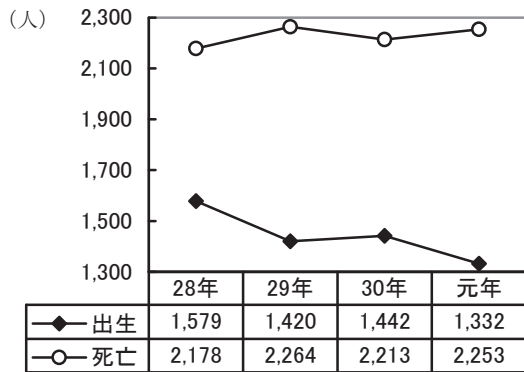


(単位; 人)

	0~14 歳	15~64 歳	65 歳~	不明	合計
平成 28 年	25,394	113,337	52,017	1,910	192,658
平成 29 年	25,033	111,612	53,046	1,910	191,601
平成 30 年	24,591	109,806	53,783	1,910	190,090
令和元年	24,138	108,255	54,437	1,910	188,740

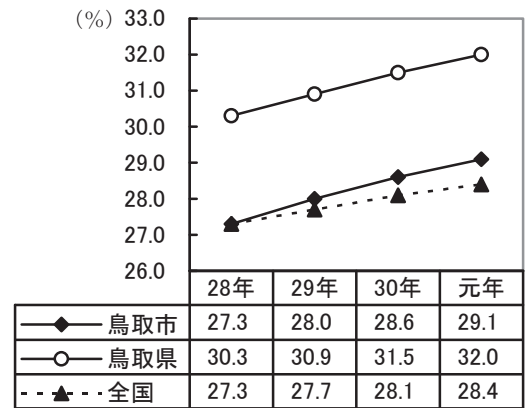
鳥取県統計課「鳥取県年齢別推計人口」より

②人口動態



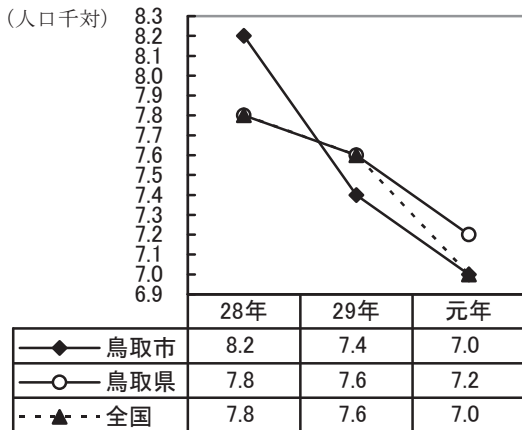
鳥取県統計課「人口移動調査」より

③65 歳以上人口の推移



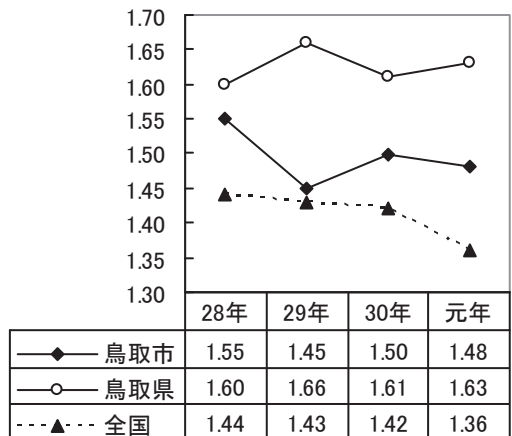
鳥取県統計課「鳥取県年齢別推計人口」、政府統計「人口推計」より

④出生率の推移



鳥取県福祉保健課「人口動態統計調査」、厚生労働省「人口動態統計」より

⑤合計特殊出生率 ※



鳥取県福祉保健課「人口動態統計調査」、厚生労働省「人口動態統計」より

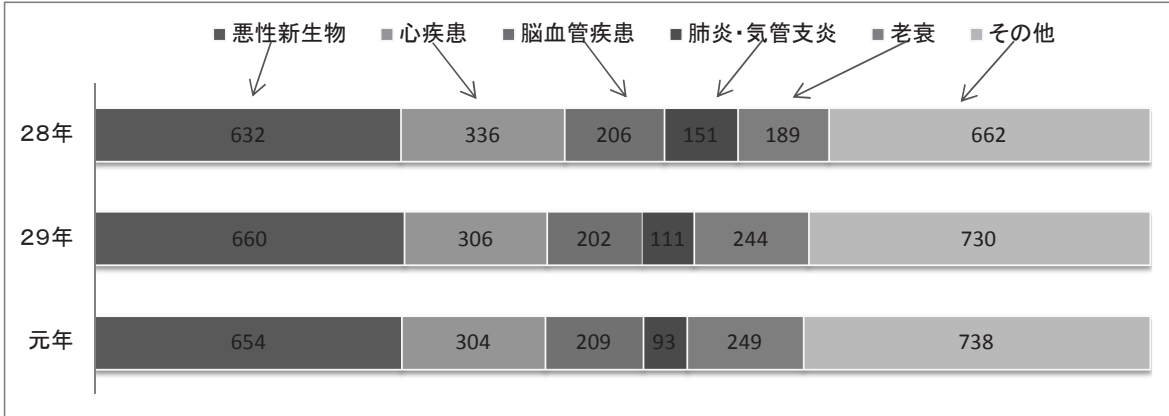
※H30年度のデータについては掲載されていなかったため省略

※合計特殊出生率…一人の女性が一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当するもの

(2) 死亡統計 (鳥取県福祉保健課「人口動態統計調査」より)

※ (H30年度については掲載されていなかったため省略)

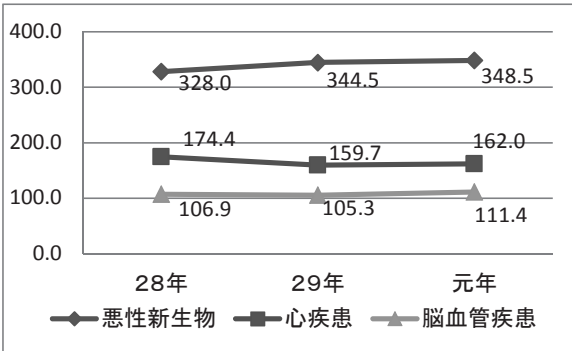
① 主要死因の推移



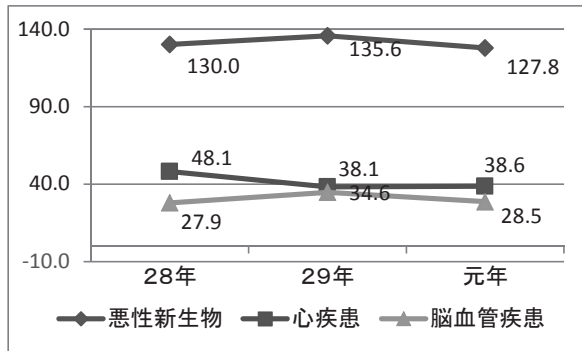
(単位：人、%)

死因 年	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		肺炎・気管支炎		老衰		その他		計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
28年	632	29.0	336	15.4	206	9.5	151	6.9	189	8.7	662	30.5	2,176
29年	660	29.3	306	13.6	202	9.0	111	4.9	244	10.8	730	32.4	2,253
元年	654	29.1	304	13.5	209	9.3	93	4.1	249	11.1	738	32.4	2,247

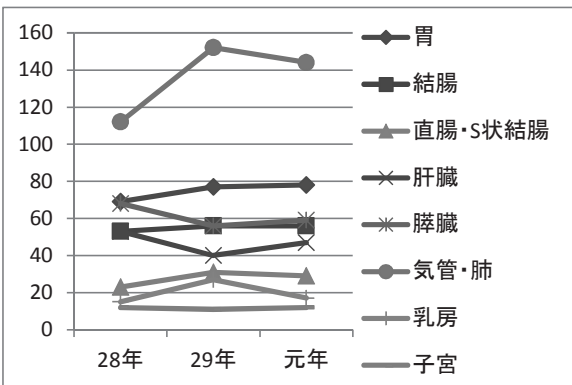
② 三大死因の年次推移 (人口10万対)



③ 三大死因の年齢調整死亡率※ (%)



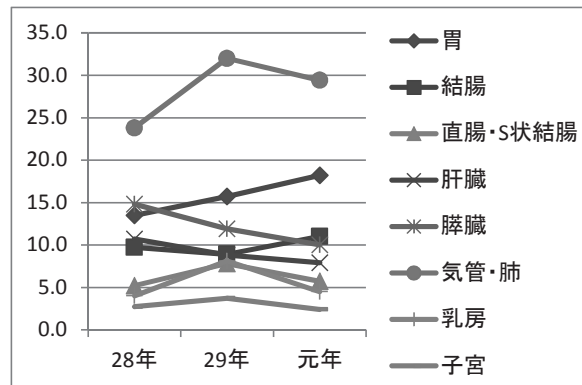
④-1 悪性新生物死亡者数 (部位別) (人)



(単位：人)

	28年	29年	元年
胃	69	77	78
結腸	53	56	56
直腸・S状結腸	23	31	29
肝臓	53	40	47
膵臓	68	56	59
気管・肺	112	152	144
乳房	15	27	17
子宮	12	11	12

④-2 悪性新生物の年齢調整死亡率 (単位：%)



(単位：%)

	28年	29年	元年
胃	13.5	15.7	18.2
結腸	9.7	8.9	11.0
直腸・S状結腸	5.2	7.8	5.7
肝臓	10.7	8.8	7.9
膵臓	14.8	11.9	10.0
気管・肺	23.8	32.0	29.4
乳房	4.0	8.1	4.5
子宮	2.7	3.7	2.4

※年齢調整死亡率…基準となる人口の年齢構成を考慮して補正した死亡率

Ⅱ 保健事業に関わる組織の概況

1 組織と主な業務（R2. 4. 1）

課・係等		主な業務内容	
鳥取市保健所	保健総務課	総務係	・保健所事務・事業の総括 ・地域保健、健康増進報告の総括 など
		企画連携係	・東部圏域の保健事業の連絡調整 ・受動喫煙対策・相談 ・健康危機管理における総合調整、災害医療救護 など
	保健医療課	医事薬事係	・医事、薬事、毒物劇物、医療従事者免許 ・薬物乱用防止普及啓発、医療相談 ・病院、診療所、薬局、医療機器販売業等の許可、届出の受理 ・保健及び医療政策、地域医療、夜間休日診療、休日歯科診療等 ・施術所（はり・きゅうなど）、歯科技工所の届出の受理 など
		感染症・疾病対策係	・感染症の発生の届出、報告及びまん延防止対策 ・指定難病等の医療費助成、相談、難病患者の支援 ・予防接種 ・肝炎治療特別促進事業・エイズ等性感染症の検査・相談 など
		心の健康支援室	・心の健康、精神疾患等についての相談支援 ・依存症、ひきこもり、自死対策 など
	健康・子育て推進課	健康づくり係	・元気プラン2016の推進・成人健康教育、健康相談、訪問指導 ・健康づくり地区推進員活動支援・しゃんしゃん体操普及事業 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 ・母子歯科事業・成人歯科事業・東部圏域の歯科保健対策事業 ・東部圏域の糖尿病対策事業 など
		子育て支援係	・子育て世代包括支援センター「こそだてらす」 ・母子健康手帳交付、妊婦・産後健診票等交付 ・新生児聴覚検査、新生児訪問指導、乳児健康診査 ・小児慢性特定疾病の医療費助成 ・小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 ・不妊検査・不妊不育治療費助成、不育症治療の相談、啓発 など
		親子保健係	・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査 ・子育て心理相談 ・発達相談指導 ・育児等健康支援事業 ・子育てサークル支援 ・広域的な母子保健事業の推進 など
		食育推進係	・栄養改善及び食育推進事業（教室・相談・訪問） ・特定給食施設の届出、指導 ・食育推進員養成、活動支援 ・食品表示の指導 ・管理栄養士課程臨地実習受入れ など
		健診推進室	・特定健診・特定保健指導の推進 ・がん検診、人間ドック、脳ドック、肝炎ウイルス検査の実施 ・がん対策の推進、がん患者支援 ・がん検診推進パートナー企業の啓発・支援 など
	生活安全課	食品衛生係	・食品衛生（営業許可、各種届出など）
		動物愛護係	・動物愛護（飼い犬登録、狂犬病予防接種、猫不妊去勢補助など）
子ども家庭相談センター		・こどもの養育相談に関すること ・児童虐待予防への取り組みに関すること ・家庭・女性相談に関すること など	
子ども発達支援センター	発達支援係	・発達支援及び発達相談に関すること ・児童発達支援センター若草学園に関すること など	
	特別支援教育係	・教育相談、就学相談に関すること ・特別支援教育に関すること など	
鳥取東保健センター		・上記内容すべて 【担当地区】国府、修立、岩倉、稲葉山、面影、米里、津ノ井、若葉台	
各町総合支所		・上記内容すべて、国民健康保険・国民年金 ・高齢者福祉・介護保険 ・障がい者福祉、児童福祉 など	

○移管した業務

課・係等	主な業務内容
障がい福祉課	障がい者福祉係 ・身体障害者手帳の認定・交付 ・療育手帳の交付 ・精神保健福祉手帳、自立支援医療（精神）の交付 など

2 職員表 (R2.4.1)

所	属	事務他	医師	保健師	管理栄養士・ 栄養士	歯科衛生士	心理相談員	診療放射線技師	薬剤師	獣医師	衛生技師	保育士 他	会任等	合計
保健所長			1											1
保健総務課	課長・統括保健師	1		1										2
	総務係	3											1	4
	企画連携係	2		2									1	5
保健医療課	課長			1										1
	医事課係	3						1	1					5
	感染症・疾病対策係	2		4							1		4	11
	心の健康支援室			7										7
健康・子育て推進課	課長	1												1
	健康づくり係	2(1)		6		2(1)							7	17
	子育て支援係	1		5(1)									6	12
	親子保健係			4(1)			1						3	8
	食育推進係				6									6
	健診推進室	2		8(2)	1								9	20
生活安全課	課長								1					1
	動物愛護係	4								1			3	8
	食品衛生係	1							1	1	7(2)		2	12
こども家庭相談センター	所長・所長補佐	2												2
		1		1			1					3(1)	9	15
こども発達支援センター	所長・所長補佐	1		1										2
	発達支援係	1					2					2	3	8
	特別支援教育係											3	2	5
	若草学園											17(1)	5	22
鳥取東保健センター	所長			1										1
				5(1)	1								3	9
国府町総合支所	市民福祉課	6(1)											2	8
福部町総合支所	市民福祉課	6		1										7
河原町総合支所	市民福祉課	8		1										9
用瀬町総合支所	市民福祉課	4		1									2	7
佐治町総合支所	市民福祉課	6		1										7
気高町総合支所	市民福祉課	6		1									2	9
鹿野町総合支所	市民福祉課	6(1)		1									2	9
青谷町総合支所	市民福祉課	7		1									1	9
合	計	76	1	49	8	2	4	1	3	2	8	25	67	246

育休等休暇中の者 () 再掲

3 とっとり市民元気プラン2016推進状況

分野	令和2年度実施内容および評価
子育て支援	<p>【目標】</p> <p>I. 妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談、支援が受けられる。 II. 心身共に健やかな妊娠期、乳幼児期を過ごすことができる。 III. 一人ひとりの個性が大切にされ、健やかに成長することができる。 IV. 子育てしやすい地域が作られる。</p> <hr/> <p>【実施内容】</p> <p>1. 妊娠期からの切れ目のない相談・支援の充実</p> <p>(1) 令和2.4月以降に出産した産婦に対し、産後健診費用助成を2回に拡大。産科医療機関との会を開催し、状況や課題を共有。医療機関で休止している妊婦教室のうち初産婦を対象に教室を実施。</p> <p>(2) 妊娠届出時からの全妊婦相談（1,410人）及び支援の継続</p> <p>(3) 産後サロン11回実施（実135組、延292組）、産後ケア事業の継続</p> <p>2. 生活習慣病予防教育や愛着形成の啓発</p> <p>(1) 2歳児歯科健診での2歳児への関わり方や生活習慣に関する集団教育の継続</p> <p>(2) 新生児訪問や乳幼児健診、育児サークル等、各機会をとらえ健康教育を実施</p> <p>3. 発達支援体制の充実</p> <p>(1) ふれあい学級22回実施（延121組）。OB会は新型コロナウイルス感染拡大防止による事業縮小のため未実施。</p> <p>(2) 発達関連機関との連絡会・検討会、5歳児発達相談検討会等を開催。事業の在り方や支援体制を検討</p> <p>(3) 年少児発達相談（10回10人）、5歳児発達相談（16回65人）、ことばの相談（4回11人）、ほほえみ相談（6回12人）、心理相談（50回50人）を実施</p> <p>4. 子育て支援ネットワーク活動の充実</p> <p>(1) 子育て支援ネットワーク会議の開催（全体会2回、役員会6回）</p> <p>(2) 子育て支援に関する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6か月児健康診査、1歳6か月児健康診査でのアンケート実施 ・子育て応援マップの作製 <p>(3) 1歳6か月児健康診査ボランティア活動 中央：29回実施 延50人 登録20人 東：12回実施 延19人 登録10人</p> <p>【評価】</p> <p>1. 産後健診の公費助成を拡大した。産科医療機関と連携を図ることで、課題や今後の在り方を共有することができた。産婦への早期支援開始が可能となった。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2歳児歯科健診での集団教育は一部地域でのみ実施となった。</p> <p>3. 発達関連機関との会を開催し、支援体制について検討することができた。</p>
身体活動・運動	<p>【目標】</p> <p>I. 運動習慣の定着と環境づくりを推進する。 II. 日常生活で意識して身体を動かすための働きかけをする。 III. じゃんしゃん体操を知り、継続実施していくためにさらに普及を進める。</p> <hr/> <p>【実施内容】</p> <p>1. 運動・身体活動についての知識の普及・啓発</p> <p>(1) 市民健康ウォーク 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>(2) 感染対策を行いながら講演・実践（介護予防含）を実施した地区もあった。</p> <p>2. 日常生活の中で意識して身体を動かすための働きかけ 個人に合った身体活動の提案、地区の健康教育（随時）</p> <p>3. じゃんしゃん体操を知り継続できるための活動支援</p> <p>(1) 普及員への研修・会議 情報交換を行い、それぞれのレベルアップを図る</p>

	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、連絡会、代表者連絡会及び、スキルアップ研修会はすべて中止とした。(三役会のみ2回実施)</p> <p>(2) 啓発 例年開催されているご当地体操交流大会も中止となった。</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民健康ウォークや、しゃんしゃん体操普及員の養成等多くの事業が実施できなかった。地域での事業も中止としたところが多かったが、状況を見ながら、しゃんしゃん体操の継続活動等再開したところもあった。外出機会の減少・運動不足による生活習慣病の進行、高齢者のフレイルへの移行が懸念され、感染対策を図ったうえでの実施について検討していく必要がある。</p>
--	---

分野	令和2年度実施内容および評価
----	----------------

心の健康	<p>【目標】 I. 自死予防の取り組みとして、「気づき・つなぎ・見守る」ことのできる市民の人材養成を図る。 II. うつ病、睡眠、アルコール等心の健康について市民の理解を深め、相談場所の周知に努める。 III. 温かい人間関係を築くことができるよう、「地域のつながり・あいさつの大切さ」の普及啓発に取り組む。</p>
	<p>【実施内容】</p> <p>1. 人材育成 (1) ゲートキーパー養成研修会（窓口対応の鳥取市職員対象 1回、32人） (2) 自死予防研修会（市民対象 1回、24人） (3) メンタルヘルス出前講座（企業など 6事業所、121人）</p> <p>2. 普及啓発 (1) 心といのちを守るパネル展（9月、3月） (2) 若年層への啓発（自死予防啓発チラシ・クリアファイルを作成し、大学、専門学校等に配布） (3) 企業向けメンタルヘルス研修会（新入社員向け 1回、35人） (4) 心の健康に関する教育（各地区） (5) 自死予防啓発（市報、ラジオ等）</p> <p>3. 相談支援 (1) 心の健康に関する相談 (2) こころの体温計（延21,220人）</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発活動等の機会は制限されたが、オンライン研修の開催等、感染症対策を行いながら事業を実施することができた。 コロナ禍で直接的な啓発活動が難しい中、ホームページの活用等、効果的な啓発活動について検討していく必要がある。</p>

食習慣	<p>【目標】 「健康的な食習慣」を普及する。</p>
	<p>【実施内容】</p> <p>1. 普及・啓発（講話、野菜レシピ集の配布等） (1) 健康教育（随時） ① 離乳食講習会（38回 459人） ② 幼児食教室・育児サークル食育教室および幼・高校食育教室（24回 309人） ③ 地区健康教室（16回 301人） ④ 食育推進員地区伝達講習会（中止）及びスキルアップ研修（18回 197人） (2) 市報・ケーブルテレビでの普及啓発 ① 市報6月号「食育月間」記事掲載 ② 市報奇数月「食育推進員による『食』コーナー」（「地産地消」） ③ 食育推進員によるCATV「食育らくらくクッキング」放映 (3) 若年層への普及啓発 ① 「小学生食育わくわく教室」実施（かつお節削り体験と調理）（中止）</p>

	<p>2. 野菜レシピの普及 関係窓口、母子対象の健康教育等、若年層を中心に配布およびホームページ掲載</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止を余儀なくされた事業が多く、予定の活動ができなかった。今後、ホームページや公式ラインなどメディアを活用し、乳幼児期の保護者や学童、生徒など若年層を対象にした効果のある推進、啓発を検討して行くことが必要である。</p>
--	--

分野	令和2年度実施内容および評価
喫煙・飲酒	<p>【目標】 I. 受動喫煙を防ぐ環境づくり。 II. 喫煙が及ぼす健康被害について、知識の普及啓発。 III. アルコールが及ぼす健康被害について、知識の普及啓発。</p> <p>【実施内容】 1. 受動喫煙を防ぐ環境をつくる (1) 妊婦、乳幼児保護者へのチラシの配布 (2) 母子健康手帳交付、乳幼児健診等でのチラシ配布 (3) 集会所での禁煙の推進 集会所禁煙の推進の呼びかけ 2. 喫煙が及ぼす健康被害について知識の普及啓発 (1) 世界禁煙デー啓発 新型コロナウイルス感染拡大防止のため啓発活動は実施できなかった (2) 教材の活用、展示（健康ひろば、地区公民館祭等中止となり展示することができなかった。） 3. 健推タバコ・アルコール対策検討委員会と協働活動 委員会開催 6回（集会所禁煙状況アンケート調査の実施） 4. アルコールの健康被害について知識の普及啓発 教材の活用、展示（健康ひろば、地区公民館祭等中止となり、展示することができなかった。）</p> <p>【評価】 喫煙対策・受動喫煙防止では、例年行っているイベントの機会での啓発が実施できなかったが健康づくり地区推進委員会と連携し、集会所禁煙状況アンケート調査を行った。これは前回調査から5年振りの調査であり、前回と比較して受動喫煙対策が進められている状況を把握することができた。しかし法で規定された通り進められていない箇所もあり、今後地域への働きかけをしていく必要がある。</p>
歯の健康	<p>【目標】 I. しっかりとした歯みがき習慣を身につける。 II. 歯科健診で健康な歯と口を保つ。 III. かむことの大切さを知る。</p> <p>【実施内容】 1. 生涯にわたり歯と口の健康のための支援 健康教育（成人 13回、151人）口腔ケア研修会（12/21、15人） 2. 乳幼児期からのむし歯予防の推進 健康教育（母子 18回、250人）子育て支援センター、子育てサークル等 3. 歯科健診の支援 ふしめ歯科検診 281人、妊婦歯科健診 540人 6月「歯と口の健康週間」、11月「いい歯の日」にパネル展示をし、ふしめ歯科検診・妊婦歯科健診の啓発、市報6月、11月号に歯科健診等情報掲載。 4. かみかみデイの推進 3歳児歯科健康診査時、かみかみデイシールを貼付した歯ブラシを配布。</p> <p>【評価】 妊婦歯科健診、ふしめ歯科健診と合わせて推進することができた。</p>

分野	令和2年度実施内容および評価
疾病の早期発見・早期対策	【目標】
	I. 特定健診、がん検診の受診者を増やす。 II. 生活習慣病の発症・重症化を予防する。
	【実施内容】
	1. 啓発活動
	(1) 地区組織活動と協働の取り組み
	①健康づくり地区推進員活動 検診受診広報 ②食育推進員活動 伝達講習会での検診受診の呼びかけは全日程中止となった
	(2) 全市の取り組み
	①協会けんぽと協働で実施する健診受診啓発のチラシ作成等は中止となった ②市報やぴよんぴよんネット、FM鳥取でのPR放送 ③未受診者に効果的な勧奨資材の送付、看護師が訪問による健診受診勧奨 ④健診啓発ポスター・チラシを作成し、乳幼児健診、スポーツジム、体育館、公衆浴場、医療機関、専門学校等へ配布 ⑤国保世帯へ納付書送付時に健診チラシ同封、国保加入時にチラシを配布 ⑥前年度集団検診のインターネット予約者へ健診開始お知らせメール送信 ⑦東部医師会、薬剤師会東部支部に健診強化の協力を依頼
	2. 体制整備
	(1) 集団検診の実施（132回）、集団検診のインターネット予約の実施 (2) 商業施設で検診（肺・大腸）と血糖検査（3か所） (3) 協会けんぽ被扶養者健診（中国労働衛生協会）で肺・大腸がん検診同時実施
	3. 生活習慣病予防対策
	(1) ハイリスク者へ戦略的な保健指導の実施 (2) 「受診勧奨域」となった人への訪問指導の実施 (3) 糖尿病予防教室（6回、65人）、フォローアップ教室、糖尿病友の会の支援 (4) 糖尿病食生活教室（3回、34人）、適塩教室（1回、23人） (5) 医療機関からの紹介による糖尿病栄養指導（4人） (6) 地区教育、相談とセットで実施してきた糖尿病予防啓発キャンペーン事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。 (7) レディース検診時に骨粗しょう症予防の一日の食事メニュー展示
	4. 特定保健指導の実施（R元年利用率37.6%（前年度比-2.7）、実施率38.3%（-1.4）） 特定保健指導実施委託機関として2か所追加
	5. その他
	糖尿病&COPD予防啓発キャンペーン開催 （11/9 鳥取市民交流センター） 総来場者数15人 血糖検査、肺活量測定は実施せず、血管年齢測定・クイズ、パネル展示を実施
	【評価】
	1. 特定健診、特定保健指導の受診率は約3割で横ばい。がん検診は減少傾向のため、引き続き健診受診啓発に努め、受診率向上につなげる。 2. 生活習慣病予防について、若年層への啓発や教育の取り組みを今後充実させていきたい。

4 第4期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」策定経過

I 目的

前計画に引き続き、「市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送れること」を基本理念として、市民一人ひとりが健康への意識を高め、主体的に健康づくりへの取り組みを行うこと、また家庭、地域、職場および関係機関等の特性を活かし、相互に支え合うことで、各々が自発的に健康づくりに取り組む環境を整備する。

II アンケート調査の実施

対象者	市内在住の18歳以上の男女 2,995人 (無作為抽出)	小学生3、4、5、6年生 2,104人 (市内17校)	乳幼児の保護者 695人 (令和2年2月～3月の乳幼児健診対象者)
有効回答数	1,624 (54.2%)	1,863 (88.5%)	593 (85.3%)
調査期間	令和2年2月～3月	令和2年2月～3月	令和2年2月～3月

III 鳥取市民健康づくり推進協議会(策定委員会)の開催

令和元年12月20日～令和2年11月27日まで3回開催。アンケート結果をもとに計画素案の検討、計画最終案の検討を行った。

IV 健康づくりを語る会の開催

住民主体の計画づくりに向けて、令和2年9月29日から令和2年10月28日まで3回開催。第3期計画の評価及び第4期計画策定のためのワーキング。6つの分野*に分かれてアンケート調査の結果や実態を踏まえながら、健康課題や今後の取り組みについて協議した。協議した内容については、鳥取市民健康づくり推進協議会に提案した。

※6つのグループ：食生活、運動、こころ、タバコ・アルコール、歯、疾病の早期発見・早期対策
構成：関係団体などから選出された市民(各分野3～5人)と職員で構成。

V 所内職員研修と連携体制

令和元年度より健康づくり計画に係るアンケート調査を実施し、令和2年度アンケート調査の集計、結果分析、課題の抽出、目標値の設置など各会議で協議するため、職員の情報共有、共通認識を図った。

区分	日時・場所	議事内容
職員研修	令和元年8月22日(木) さわやか会館3階第1研修室	講義「健康づくり計画の意義と目指すもの」
健康づくりを語る会リーダー会	令和2年9月2日(水)～令和3年2月8日(月)所内 計8回	健康づくりを語る会の運営、分野別意見交換の報告、計画書案、ダイジェスト版案の作成 他

VI 成果

- ・策定スケジュールについて、前計画では単年度で調査、集計、策定と実施したが、今回は1年目にアンケート調査、2年目に集計、策定と変更したことで、準備期間の確保に余裕ができた。
- ・健康づくりを語る会および職員研修の講義では、策定への意識づけ、知識の習得を行った。あわせて、今後のスケジュールを確認し、計画策定へのスムーズな運営につながった。
- ・アンケート調査について、「第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画」や「第3期鳥取市食育推進計画」の前計画時の評価指標や現状把握に努める調査項目も含め、関連する計画について整合性を図ることに留意できた。
- ・健康づくりを語る会について、前回同様、3回実施としたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し開催した。運営については、会議前後にリーダー会を実施し、進捗管理を図った。分野別の意見交換の記録は、ライティングシートを使用し、当日写真で記録し、後日まとめやすいようあらかじめ項目、様式を作成した。
- ・計画書案、ダイジェスト版の作成について、前計画までは「健やか親子21地方計画」も包含した計画であったが、今回、他計画へ移行したため「健康日本21地方計画」のみの位置づけとなった。

VII 今後に向けて

今後は、計画策定後の推進体制の再構築を検討し、5年間にわたり啓発活動、健康づくり地区組織、関係機関等と連携に努めたい。また、個人、事業所や地域間などの集団、保健事業の3つの側面から、体制、過程、結果について評価を行いながら、市民一人ひとりが生涯を通じて心豊かに生活していかれることを目指していきたい。

Ⅲ 鳥取市保健所事業概要

平成30年4月、鳥取市保健所を設置した。令和2年4月に健康こども部の組織再編を行い、5月には駅南庁舎へ移転した。

中核市保健所としての法定事務を実施するとともに、県知事の権限事務についても鳥取県から移譲を受けるとともに県東部の岩美郡岩美町、八頭郡若桜町、智頭町、八頭町の保健所業務の委託を受け、県東部の保健所事業等を実施している。

<鳥取県東部医療圏の概況>

① 位置



② 人口・世帯

市・町	人口 (人)			世帯数 (世帯)	高齢化率 (%) ※令和2年 10月1日時点	
	総数	男	女			
鳥取市	187,751	90,967	96,784	76,780	29.41	
4 町	岩美町	10,714	5,142	5,572	3,915	37.79
	若桜町	2,819	1,335	1,484	1,176	49.78
	智頭町	6,324	2,950	3,374	2,364	44.61
	八頭町	15,809	7,537	8,272	5,332	36.61
計	223,417	107,931	115,486	89,567	31.00	

出典：鳥取県統計課公表「鳥取県推計人口（令和3年4月1日現在）」

健康・子育て推進課に関する事業

1 保健事業一覧

(1) 母子保健事業

対象	健康診査等	家庭訪問	健康教育・健康相談	圏域事業
妊婦	母子健康手帳交付 妊婦一般健康診査 妊婦歯科健診 新生児聴覚検査 産後健康診査	妊婦訪問	妊婦教室 妊産婦相談	思春期対策 不妊治療費等助成 事業
新生児・産婦 乳児期	4か月児健康診査	新生児訪問	産後サロン	小児慢性特定疾病医療費助成・自立支援事業
幼児期	6か月児健康診査 (ブックスタート) 10か月児健康診査 1歳6か月児健康診査 1歳6か月児追跡観察健診 2歳児歯科健康診査 3歳児健康診査 (検査機器による 視力検査)	乳幼児訪問 ふれあい学級(りす) ふれあい学級(ぞう) ふれあい学級OB会 年少児の発達相談 5歳児発達相談 6歳臼歯保護推進事業	アトピーっ子教室・ふたりっこクラブ 離乳食講習会 幼児食教室 食育教室 各地区健康教育 育児相談・心理発達相談 子育てグループ ☆各地区サークル等 支援活動 ☆ゆうゆうとっとり子育てネットワーク	
学童期 思春期		喫煙防止教育事業 思春期教育	がん対策 (出張がん予防教室) 歯科保健対策(学童期) ・歯と口腔の健康づくり推進事業 (デンタルプロフェッショナル派遣事業) ・フッ化物洗口事業	

(2) 成人保健事業

対象	健康診査等	健康教育・健康相談・家庭訪問	圏域事業
概ね 18歳～	健康診査(医療機関・集団)	健康相談	がん対策(出張がん予防教室・がん検診推進パートナー企業) 糖尿病対策(糖尿病予防対策検討会・研修会) 歯科保健対策(協議会・研修会・歯と口腔の健康づくり推進事業) (職域・地域における歯周疾患検診促進パイロット事業)
20歳～ (女性)	子宮がん検診(医療機関・集団)	一般・病態別健康教育 健診(検診)結果説明会	
25歳～ (女性)	骨粗鬆症予防検診(集団検診)	自主組織グループ支援活動	
40歳～	特定健診・特定保健指導 胃・肺・大腸・乳がん検診 (医療機関・集団) 肝炎ウイルス検査 ふしめ歯科検診 人間ドック、脳ドック	地域ふれあい体操普及事業 家庭訪問 生活習慣病重症化予防事業	
65歳～		地区組織活動 (健推・食推・しゃんしゃん体操普及員) 高齢者等歯科対策推進事業 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	
			栄養管理サポート事業

2 母子保健事業

[目的] 「すべての子どもたちが健やかに育ち安心して子育てできるまち」の実現を目指す。

- [目標] ① 妊娠期からの継続した子育て支援と地域の支援団体のネットワーク化を推進する。
 ② 乳幼児期からのより良い生活習慣の確立を目指した指導の充実を図る。
 ③ 乳幼児期から就学までの発達支援体制の充実を図る。

事業名	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
母子健康手帳交付 (交付場所での統計)	妊娠届出数	1,353	1,197	9	80	23	3	1	25	9	6	
	多胎	19	16	-	1	-	-	-	2	-	-	
妊婦相談(初回) (転入者含む)	来所 実	1,343	1,202	7	83	17	3	1	19	5	6	
	電話 実	68	48	2	-	8	-	-	6	4	-	
栄養食品支給 (対象：非課税世帯等)	妊産婦	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	
	乳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
訪問 指導	妊産婦・新生児訪問 (乳児家庭全戸訪問含む)	妊婦 実	6	2	-	4	-	-	-	-	-	
		妊婦 延	10	3	-	7	-	-	-	-	-	
		産婦 実	1,368	875	18	319	30	13	2	71	25	15
		産婦 延	1,435	909	18	330	34	15	3	84	27	15
	乳幼児訪問 (健診後の個別対応等)	新生児 実	1,369	877	18	316	31	13	2	71	26	15
		新生児 延	1,404	899	18	320	33	13	3	77	26	15
		再)未熟児	29	14	-	8	-	-	-	4	3	-
		計 実	179	120	2	28	1	7	-	13	3	5
	乳幼児訪問 (健診後の個別対応等)	乳児 実	45	28	-	8	1	3	-	2	1	2
		乳児 延	69	37	-	15	1	5	-	7	2	2
		幼児 実	87	61	-	12	-	2	-	7	2	3
		幼児 延	121	80	-	22	-	5	-	7	4	3
その他	実	47	31	2	8	-	2	-	4	-	-	
	延	73	44	6	14	-	5	-	4	-	-	
計	実	179	120	2	28	1	7	-	13	3	5	
	延	263	161	6	51	1	15	-	18	6	5	
健康 相談	来所相談	妊産婦 延	1,528	1,342	10	108	23	3	-	31	4	7
		乳幼児 延	1,469	1,324	2	68	3	5	3	24	-	40
		その他 延	32	16	3	2	-	3	3	4	-	1
		計	3,029	2,682	15	178	26	11	6	59	4	48
	電話相談	計 延	1,674	1,169	27	227	45	62	13	82	18	31
	地域子育て相談	開催数	77	21	10	5	6	3	-	19	5	8
		実人員	320	78	27	26	43	33	-	66	15	32
		延人員	520	85	77	38	54	51	-	137	26	52

【地区(個別)・施設訪問相談】

妊産婦 延	乳幼児 延	未熟児 延	その他 延	合計
12	44	6	4	66

【健康診査】

事業名	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
6か月児健康診査	回数	56	33		11	6			6			
	受診者数	1,315	852	13	319	27	12	3	48	18	23	
	フォロー数	353	233	2	86	7	5	-	8	7	5	
乳児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	57	42		13	2	-	-	-	-	-	
ブックスタート (6か月児健診時配布等)	配布数	1,328	873		321	27	13	3	49	19	23	
	配布率	99.8%										
1歳6か月児健康診査	回数	55	31		12	6			6			
	受診者数	1,366	900	17	299	26	24	2	57	21	20	
	フォロー数	444	294	3	95	14	8	-	16	7	7	
	ブツ素 塗布者数	1,304	857	17	287	25	22	2	55	20	19	
1歳6か月児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	38	21	-	8	1	1	-	3	1	3	
1歳6か月児追跡観察健診	受診者数	119	92		21	1			5			
2歳児歯科健康診査	回数	31	11		10	4			6			
	受診者数	1,280	870	21	251	23	22	3	51	19	20	
	受診率	90.3%										
	ブツ素 塗布者数	1,249	849	21	241	23	22	3	51	19	20	
3歳児健康診査	回数	55	32		12	5			6			
	受診者数	1,423	926	26	308	34	26	5	52	27	19	
	フォロー数	431	301	9	83	5	5	1	15	5	7	
3歳児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	202	128	5	54	-	4	1	4	1	5	

*健康診査は住所地での統計である。

【医療機関委託健診】

	妊婦一般 健康診査	妊婦健診時の 子宮がん検診	歯科 健診	産後健診	乳児健康診査	
					3~4か月	9~10か月
受診者数	延 18,099 ※内多胎 実4 延5	実 1,324 ※要精検者 43	540	実1,384 延2,204	1,317	1,286

【費用助成検査事業】

新生児聴覚検査
1,148 ※要観察者45

【地域支援会議】

事業名	内容	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	西地 域
会議	地域子育て支援 に関する会議	開催数	34	27	3	-	-	-	-	-	-	2	2
		延人員	270	206	11	-	-	-	-	-	-	13	40

【健康教育】

(地域子育て支援：全市)

事業名	ふたりっこクラブ	親子教室 ふれあい学級：りす	親子教室 ふれあい学級：ぞう	アトピーっ子教室	ゆうゆう交流
開催回数	3	12	10	1	1
延人数	114	137	110	17	22

(地域子育て支援：支所地域)

事業名	東地域赤ちゃんサロン	西地域育児セミナー	西地域生活習慣病予防	南地域親子ふれあい事業
開催回数	1	4	3	3
延人数	27	108	23	41

【健康教育】

事業名	内容	内訳	合計	中央	福部	東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
離乳食講習会	離乳食講話と実演	開催数	38	22	9	4	3	-			3	
		延人員	459	312	96	27	-			24		
食育教室	幼児食教室・サークル	開催数	21	18	-	3	-	-	-	-	-	-
		延人員	143	117	-	26	-	-	-	-	-	-
	その他(保・幼・小中高その他)	開催数	3	1	-	1	-	-	-	-	1	
		延人員	166	140	-	14	-	-	-	-	12	
地域子育て支援	サークル(地区)	開催数	46	38	/	8	/	/	/	/	/	/
		延人員	640	532	/	108	/	/	/	/	/	/
	支援センター・児童館など	開催数	26	2	7	3	-	3	-	7	4	-
		延人員	404	33	111	48	-	51	-	99	62	-
	その他(ファミサポ等)	開催数	3	2	-	-	-	-	-	-	1	
		延人員	41	35	-	-	-	-	-	-	6	
歯科教育	保育所・サークル等	開催数	18	14	/	2	/	/	/	1	/	1
		延人員	250	185	/	23	/	/	/	23	/	19
6歳臼歯保護推進	歯科医師講話、指導(各園)	開催園	42	26	1	8	1	1	1	2	1	1
		年長児	974	571	19	213	36	24	9	49	24	29
		保護者他	574	336	10	88	30	21	12	32	21	24
喫煙防止対策	講演等(小学校)	開催数	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		実人員	16	-	-	-	16	-	-	-	-	-

(1) 子育て世代包括支援センター(こそだてらす)

○父親への妊婦体験：母子手帳交付時に父親を対象に妊婦スーツでの妊婦体験を実施(101人)

○全妊婦相談：全妊婦(1,410人 内転入57人含む)を対象に身体や生活面の相談にのる。

・質問票回答率(100%) ・妊婦相談(電話含む)の実施者(実施率100%)

○子育て包括支援会議：全妊婦相談を基に生活背景等を確認し、支援の必要性を検討する。

・ケース検討会議：61回(中央49回、東4回、西4回、南4回)

中央(こそだてらす助産師、こども家庭相談センター保健師)、支所等は保健師複数で検討。

*関係機関と連携を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する。

令和2年度	要支援者数(率)	中央	福部	東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
要支援者妊婦(実)	374(26.5%)	337	3	18	6	-	-	5	2	3
電話のみ希望妊婦(実)	133(9.4%)	114	-	14	2	-	-	1	2	-

<令和元年度 妊産婦・乳幼児支援の状況>(H31年4月1日～R2年3月31日母子手帳交付者・転入者)

支援開始時期	妊産婦支援(H31.4～)						新生児訪問						6か月児健診(～R3.5受診)			備考		
	対象	妊娠期支援	未実施理由	支援者			訪問	訪問者			継続支援		受診者		継続支援		未受診	
				てらす	保健師	こ家相		母推	保健師	こ家相同伴	必要	不要	必要	不要	必要			不要
母子手帳交付時等 628	要支援者 451	425 94.2%	電話つながり16、電話できず9、出生1	14	344	67	427	46	276	105	272	155	419	111	308	4	転出37 出生なし 27 未訪問1 など	
	希望者 177	150 84.7%	電話つながり25、電話できず1、出生1	133	17	-		160	116	42	2	38	122	160	23	137		-
新生児訪問時 195	再)エジンバラ質問票有⇒						195	51	137	7	136	59	191	35	156	2		
6か月児健診時 37							79	13	64	2	59	20	76	14	62	2		
													37	21	16			

(2) 6か月児健康診査

①一般健康診査

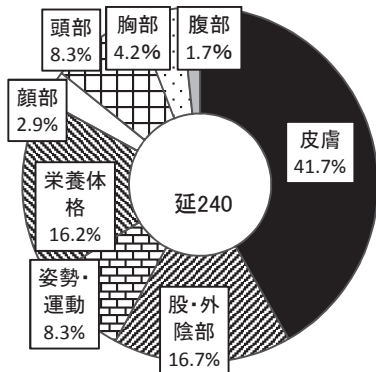
【受診者】

対象者数	1,331
受診者数	1,315
受診率	98.8%

【受診結果】

区分	健康	要経過観察	要精密	要治療	既医療
人数	1,083	70	59	11	92
	232				

【所見内容別受診結果】



* 有所見を区分別にみると、最も多いのは「皮膚」100件（41.7%）次いで「股・外陰部」が40件（16.7%）であった。

* 平成15年度から6か月児健診時にブックスタートが始まった。ボランティアや図書館のスタッフによる絵本の読み聞かせやわらべうたの後、絵本やアドバイス集を全員に配布している。未受診者にも訪問などで絵本を直接手渡すようにしており、鳥取市に生まれたすべての赤ちゃんが、親子で楽しいひとときを過ごせるように支援をしている。

②精密健康診査

【受診結果】

(単位：延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	体重増加不良	10	9	1	-	7	-	1
	その他	4	4	-	-	3	-	1
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	アトピー	-	-	-	-	-	-	-
	血管腫	-	-	-	-	-	-	-
	貧血	7	7	3	-	1	-	3
	その他	2	2	1	1	-	-	-
頭顔部	大頭	1	1	-	-	-	1	-
	斜視	3	2	-	-	1	1	-
	聴力	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	2	-	-	2	-	-
胸部	心雑音	1	1	-	-	1	-	-
	乳房腫大	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
腹部	ヘルニア	-	-	-	-	-	-	-
	肝腫大・脾腫	-	-	-	-	-	-	-
股・外陰部	股関節開排制限	12	12	10	-	2	-	-
	停留睾丸	5	5	1	-	2	-	2
	その他	11	11	2	1	1	-	7
姿勢・運動	姿勢運動の遅れ	3	3	-	-	3	-	-
	低緊張	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
合計		61	59	18	2	23	2	14
(実人員)		59	57					

③未受診者の状況

未受診理由	人
翌年度に受診	-
他受診（医療機関・他自治体）	2
児の病気・治療中・観察中	3
転出	1
家族の都合	5
連絡つかず	-
その他	5
合計	16

* 未受診者は、16人（1.2%）であった。

* 未受診者には訪問・電話等で受診勧奨し、状況を把握するように努めている。



* 精密健康診査の受診率は、96.6%であった。

【令和2年度配布絵本】

第1子用：「いないいないばあ」「くだもの」

第2子用：「ととけっこうよがあけた」「よくきたね」

差し替え用絵本：「くっついた」「がたんごとんがたんごとん」「じゃあじゃあびりびり」「ぴよーん」「おつきさまこんばんは」「まるてんいろてん」「どうぶつのおかあさん」

(3) 1歳6か月児健康診査

①一般健康診査

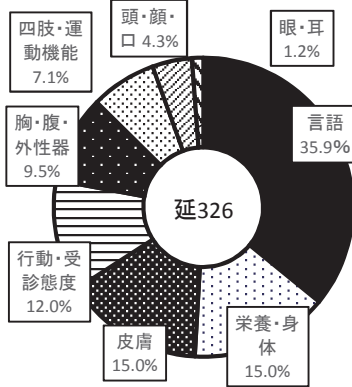
【受診者】

対象者数	1,374
受診者数	1,366
受診率	99.4%

【受診結果】

区分	健康	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
人数	1,082	138	51	8	87
	284				

【所見内容別受診結果】



*有所見を区分別にみると、最も多いのは「言語」の117件(35.9%)で、続いて「栄養・身体」「皮膚」がそれぞれ49件(15.0%)であった。

【心理発達相談結果】

区分	相談者数	心理発達相談結果		
		特になし	助言指導	経過観察
人数	100	3	8	89

②精密健康診査

【受診結果】

(単位：延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	低身長・小柄	6	5	1	-	3	-	1
	その他	2	1	-	-	-	-	1
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	アトピー	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	1	-	1	-	-	-
頭・顔・口	大頭	3	3	2	-	1	-	-
	その他	2	2	1	-	1	-	-
胸腹部・外性器	心雑音	3	2	1	-	-	1	-
	ヘルニア	-	-	-	-	-	-	-
	停留睾丸	2	2	1	-	1	-	-
	その他(肝肥大、しこり)	10	8	1	-	4	1	2
四肢・運動機能	歩行	3	3	1	-	2	-	-
	運動発達の遅れ	-	-	-	-	-	-	-
	その他(0脚)	10	6	3	-	3	-	-
言語	言葉の遅れ等	3	2	-	1	1	-	-
行動	多動	-	-	-	-	-	-	-
発達	発達の遅れ等	2	1	-	-	1	-	-
眼・耳	斜視・眼瞼下垂	3	1	-	-	1	-	-
	聴力	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	1	-	-	1	-	-
合計		51	38	11	2	19	2	4
(実人員)		51	38					

*精密健康診査の受診率は74.5%であった。

③未受診者の状況

未受診理由	人
翌年度に受診	1
他受診(医療機関・他自治体)	-
児の病気・治療中・観察中	-
転出	2
家族の都合	5
連絡つかず	-
その他	-
合計	8

*未受診者は8人(0.6%)であった。

*未受診者には訪問・電話先で受診勧奨し、状況を把握するように努めている。

(4) 1歳6か月児追跡観察診査(2歳児健康診査)

【受診者数】

対象者数	受診者数	(再掲) 2歳児心理発達相談
129	119	51

【受診理由】

区分	言語	理解	行動面	体格	歩行	その他
延人数	104	54	-	13	2	5

【受診結果】

区分	異常なし	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
実人数	61	47	10	-	1

*受診理由として「言語」「理解」等の発達に関するものが多く、健診時の心理相談又は健診終了後のカンファレンス等で経過観察が必要と思われる対象者に心理士による心理相談を主とした2歳心理発達相談を実施した。

(5) 3歳児健康診査

①一般健康診査

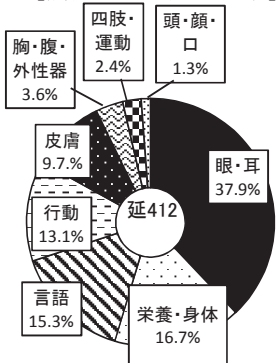
【受診者】

対象者数	1,441
受診者数	1,423
受診率	98.8%

【受診結果】

区分	異常なし	既医療	要追跡観察	要精密	要治療
人数	1,084	50	59	224	6
		339			

【所見内容別受診結果】



*尿検査では、再検査の結果、精密検査を紹介した方が19名であった。
 *視力検査では、精密検査に該当する場合で後日保護者と相談して精密検査を紹介した方や、再検査の結果、精密検査を紹介した方が4名であった。
 *有所見を区分別にみると、最も多いのは「眼・耳」の156件(37.9%)で、続いて「栄養・身体」の69件(16.7%)であった。

【心理発達相談結果】

区分	相談者数	心理発達相談結果		
		特になし	助言指導	経過観察
人数	84	8	11	65

②精密健康診査

【受診結果】

(単位：延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	低身長・小柄	21	15	1	-	12	2	-
	肥満	1	1	-	-	1	-	-
	貧血	1	1	1	-	-	-	-
	その他	1	1	-	-	1	-	-
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	2	-	1	1	-	-
頭・顔・口	大頭	3	2	-	-	1	1	-
	その他	3	3	-	-	2	-	1
胸腹部・外性器	心雑音	3	2	2	-	-	-	-
	停留嚥丸	4	4	1	2	1	-	-
	小陰唇癒着	-	-	-	-	-	-	-
	その他	5	4	-	-	2	1	1
	○脚、X脚、内反足	1	1	-	-	1	-	-
四肢・運動	歩行	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	2	-	2	-	-	-
	言語の遅れ等	12	11	1	-	9	1	-
行動	多動等	-	-	-	-	-	-	-
発達	発達の遅れ等	2	2	-	-	1	1	-
眼・耳	斜視、乱視、視力	156	131	5	3	75	20	28
	聴力	26	12	7	-	-	1	4
	その他	2	2	1	1	-	-	-
尿	尿検査	19	19	10	1	8	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
合計		265	215	29	10	115	27	34
(実人数)		245	202					

*精密健康診査の受診率は、82.4%であった。

③未受診者の状況

未受診理由	人
翌年度に受診・受診予定	5
他受診(医療機関・他自治体)	-
児の病氣・治療中・観察中	1
転出	1
家族の都合	7
連絡つかず	-
その他	4
合計	18

*未受診者には、訪問・電話等で受診勧奨をし、状況を把握するように努めている。

*「その他」の理由としては、「コロナウイルス感染症が怖く、集団の場を避けたいため」、「海外へ滞在しているため」であった。

④視力検査器による視力検査

【受診結果】

	疾患名	異常なし	助言指導	追跡観察	精密検査	要治療	計(延)
検査器	乱視	-	-	23	1	1	25
	弱視	-	-	10	5	11	26
	遠視	-	-	4	1	-	5
	近視	-	-	-	1	-	1
	斜視	-	-	1	2	1	4
	異常なし	-	-	-	-	-	-
絵指標	乱視	-	-	9	-	1	10
	弱視	-	-	7	3	3	13
	遠視	-	-	3	-	-	3
	近視	-	-	1	-	-	1
	斜視	-	1	1	-	-	2
	異常なし	1	-	-	-	-	1
両方	乱視	-	-	3	2	5	10
	弱視	-	-	5	2	10	17
	遠視	-	-	-	-	3	3
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	1	-	1	-	2
	異常なし	-	-	-	-	-	-
計(延)	乱視	1	-	35	3	7	46
	弱視	-	-	22	10	24	56
	遠視	-	-	7	1	3	11
	近視	-	-	1	1	-	2
	斜視	-	2	2	2	1	7
	異常なし	1	-	-	-	-	1

*平成30年5月より、絵指標による視力検査のみでは発見することが難しい乱視、弱視等の異常を早期発見・早期治療につながることを目的とし、絵指標および視力検査器による視力検査を実施している。

*3歳児健康診査受診結果が要精密だった265人のうち、眼科領域で要精密となったのは156人(58.9%)であった。

乱視：両混合性乱視、両遠視性乱視、両近視性乱視等
 弱視：不同視弱視、屈折異常弱視等

(6) 妊婦教室・産後健康健診

①妊婦教室

[目的] 感染症対策のため産科医療機関で妊婦教室が開催されていない現状を受け、初めての出産を迎える妊婦を対象に妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、また妊婦同士の交流を通して悩みや不安を軽減・解消する。
 [回数] 2回 [参加者] 13人
 [内容] ミニ講話、実技(抱き方、おむつ交換)グループワーク

②産後健康診査

[対象] 産後8週以内の褥婦に対し1人あたり1~2回実施する
 2回の実施は医師及び助産師が受診が必要と認めた褥婦と受診を希望する褥婦

[受診状況]

【産後2週目】 ※2回実施のうち1回目の実施

【産後4週目】 ※産後健診1回のみ実施

2回実施のうち2回目の実施

受診者数	再掲) 里帰り出産等で協力医療機関以外での受診者
908	43

受診者数	再掲) 里帰り出産等で協力医療機関以外での受診者
1,296	19

(単位:人)

(単位:人)

エジンバラ産後うつ病質問票点数	件数	再掲) 市町村の支援の必要性「有」
8点以下	788	24
9点	31	30
10点~14点	73	70
15~19点	12	12
20~24点	3	3
25点以上	1	1
合計	908	140

エジンバラ産後うつ病質問票点数	件数	再掲) 市町村の支援の必要性「有」
8点以下	1,159	85
9点	34	34
10点~14点	77	77
15~19点	23	23
20~24点	3	3
25点以上	0	0
合計	1,296	222

エジンバラ産後うつ病質問票のうち、下記項目の回答状況	件数	再掲) 市町村支援の必要性「有」
【10】自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた		
はい、かなりしばしばそうだった	1	1
時々そうだった	9	9
めったになかった	36	35
全くなかった	862	95
合計	908	140

エジンバラ産後うつ病質問票のうち、下記項目の回答状況	件数	再掲) 市町村支援の必要性「有」
【10】自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた		
はい、かなりしばしばそうだった	3	3
時々そうだった	15	14
めったになかった	50	49
全くなかった	1,228	156
合計	1,296	222

総合判定	件数	精神科への紹介数
異常なし	757	
経過観察	145	
要精密検査	5	
要治療	1	
合計	908	0

総合判定	件数	精神科への紹介数	再掲) 1回目の健診時8点以下で支援不要とされた件数
異常なし	1,101		
経過観察	191		
要精密検査	3		
要治療	1		
合計	1,296	2	1

(7) 訪問指導

①新生児訪問(乳児家庭全戸訪問事業含む)

[目的]

新生児期から生後満4か月までの乳児の家庭を訪問し、母子の状況や養育環境等を把握して子育てに関する助言および情報提供を行うことで、保護者が安心して子育てできるよう支援する。必要に応じて継続相談を受け、適切なサービスを提供し母子の孤立化を防ぐ。

【訪問状況】 注) 令和元年12月~令和2年11月に出生した児と出生直後の転入者の新生児訪問状況

出生数	訪問数	訪問率	再掲) 他市町への訪問依頼
1,351人	1,324	98.0%	22人

訪問できなかった理由	人数	訪問拒否の状況把握・対応	人数
拒否	11	来所相談	6
出生後早期の転出	8	他施設で相談	1
入院中	2	保護者のみ面会	2
その他	6	保護者や親族等に電話で確認	2
合計	27	合計	11

②未熟児訪問指導(令和2年度中の養育医療申請児)

養育医療申請者	家庭訪問
40件(実34人)	24人

未訪問10人

未訪問の状況	人数
入院中・日程調整中	8
訪問拒否	2
合計	10

(8) 乳児の集い

①産後サロン～ひだまりサロン～（鳥取市保健所）

[目的]産後間もない母親と赤ちゃんが交流する場を作り、
子育ての不安解消及び育児支援を行う。

[対象]中央地域で出生した赤ちゃん（第1子 7か月未満）

[スタッフ]助産師、保健師、子育てボランティア

[回数]11回（毎月1回） ※4月は中止

[内容]計測、育児相談、母親同士の交流、
ふれあい遊び等

[参加者]実135組、延292組

参加者		核家族	実家が市外	要支援者
実	組			
135	組			
延	292組	78.5%	23.0%	18組

参加者の月齢（延）						
1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	その他
3.8%	21.6%	21.6%	18.8%	22.6%	11.0%	0.6%

・産後健康診査でエジンバラの値が高かった参加者は25.9%だった。

[アンケート]産後サロンでは児が6か月になる卒業時と1歳になる月にアンケートを実施している。
(卒業時アンケート)

・参加者の満足度は、「満足」が58.7%「まあまあ満足」が39.7%「やや不満」が1.6%「不満」が0%であった。感想として、楽しかった、気分転換になったという意見等が多かった。

(1歳アンケート)

・育児の悩みの内容は「育児に自信がもてない」が37.5%「育て方がわからない」が20.9%で、半数を占めていた。保健師に相談やお母さん同士で情報交換できる機会となり、ありがたかったという意見があった。

②赤ちゃんサロン(鳥取東保健センター)

[目的]地域の中で、安心して子育てできるよう保護者同士や地域とのつながりを持てる場所として開催。また、育児・栄養相談や保護者同士の交流等を通して、子育ての不安解消及び育児支援を行う。

[対象者]東地域で出生した赤ちゃん（R2.8月以降、生後8か月までの第1子へと変更）

[内容]毎月1回実施。ふれあい遊び、保護者同士の交流（座談会）、身体計測、育児相談、栄養相談

参加実人員	個別相談件数	初参加平均月齢
117組 (延248組)	延177件	5.6か月（生後1～13か月） ※R2.8月以降 4.9か月（生後1～8か月）

*中学校区…国府中34組、桜ヶ丘中10組、東中17組

*8か月以降の乳児については、地域のサークルや支援センターを紹介し、地域へつなげていく場としている。

③こんにちはの会（南部地域）

[目的]保護者同士の交流の場を持つことで、子育ての孤立化を防ぎ、地域とのつながりがもてる場とする。また、ふれあい遊びを通して、保護者が子どもとの関わり方・ふれあう楽しさを学べたり、計測や育児相談を通して、保護者の不安解消や育児支援の一助とする。

[対象者]離乳食講習会に参加する3～7か月児と保護者

[回数]3か月に1回（5, 8, 11, 2月）※5月のふれあい遊びは中止

[内容]わらべうたやふれあい遊び、計測、育児相談、保護者同士の交流

	参加数（実）	参加率
南部の合計	20組	44.4%
河原	9組	34.6%
用瀬	9組	60.0%
佐治	2組	50.0%
南部以外	2組	—

参加者の状況として、第1子の参加率は55%だった。参加時の月齢は4か月が50%と最も多く、次いで5か月が30%だった。参加者の85%は核家族だった。

アンケートより、「育児に自信がもてない」「育て方がわからない」と回答した保護者も「ふれあい遊びは楽しんでよかった。家でもしてみようと思う。」と感想にあり、ふれあい遊びも保護者の育児支援の一助となっている。また、必要に応じて、地域の子育て支援センターの紹介も行い、地域につなぐ場となっている。

(9) 健康相談・健康教育

①全市の発達相談事業

目的：乳幼児期の発達が気がかりな児と保護者を対象に、保護者の不安軽減や児への発達支援を目的とし、医師、心理士、言語療法士による相談を実施している。

心理発達相談	心理士	来所相談			訪問相談						
		回数	実人数	延人数	回数	実人数	延人数				
		46	46	46	4	4	4				
ほほえみ相談	小児科医	回数	実人数	相談結果							
				助言	追跡観察	要医療	要精密	要療育			
		4	8	5	2	1	-	-			
	心理士	回数	実人数	相談結果							
助言				追跡観察	要医療	要療育					
	2	4	-	3	1	-	-				
ことばの相談	言語聴覚士	回数	実人数	相談結果							
				助言	追跡観察	要医療	訓練紹介				
	4	11	4	4	2	1					
年少児発達相談	心理士	回数	実人数	相談結果							
				助言	追跡観察	要医療	要療育				
	10	10	-	10	-	-					
5歳児発達相談	小児科医	回数	実人数	相談結果					心理	教育相談	事後紹介 事後で医療 紹介
				健康	助言	追跡観察	要精密	治療中 観察中			
	16	65	3	5	46	10	1	34	30	14	

< 5歳児発達相談 >

- ・鳥取市内の保育園、幼稚園に在園している年長児、年中児に案内を行った。
- ・参加者の内訳は、年長児30人、年中児35人であった。
- ・医師の診察所見の結果では、ADHD疑22人、ASD疑18人、MR疑16人、愛着障がい疑7人
その他（構音障害、発達性強調運動障害疑 等）20人であった。（重複あり）
- ・健診時に発達の心配を把握されていた児は1歳6か月児健診で53.8%、3歳児健診で53.8%あった。
- ・5歳児発達相談に園の先生が同伴された児は57人（87.7%）であった。

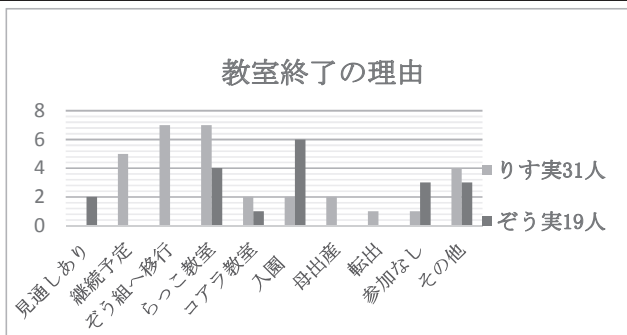
○5歳児発達相談事業検討会

[日時・場所] 令和3年3月29日（月） 午後7時～8時30分 高齢者福祉センター2階 第4会議室
 [参加者] 医師、こども発達支援センター所長、健康・子育て推進課長、保育士、心理士、保健師
 [内容] 5歳児発達相談の実施結果をもとに事業の振り返りを行い、実施方法や内容について検討した。
 事業の目的や次年度の実施体制を共有した。

②ふれあい学級（幼児学級）

健診等で要追跡観察となった幼児の発達支援と育児不安を抱える保護者支援を目的に、2歳前後をりす組、3歳前後をぞう組として月1回実施している。

	開催回数	対象者 実	参加者 実	参加者 延
りす組 (こりす組合む)	各組月1回 (令和2年度は 年間22回実施)	61人 (30組：うち双胎1組)	57人 (28組と他1名)	137人 (67組と他2名)
ぞう組		38人 (19組)	33人 (16組と他1名)	110人 (54組と他2名)



- *コロナ禍ではあったが、母の育児不安の増強・母子の孤立を防ぐため、対象者を10組程度に制限し、時間を短縮して実施。
- *ぞう組の人数が少なかったため、りす組を2クラスに分けた形で実施。概ね1歳代の児をりす組、2-3歳代の児をぞう組とした。
- *後半はふれあい学級対象者が増え、待機をなくすために「こりす組」を設定して対応した。
- *令和2年度より言語聴覚士がスタッフとして参加し、1クールに1回、ことばの成長について保護者向けの講話を実施した。

③ふれあい学級OB会

ふれあい学級ぞう組終了後の発達状況や集団での適応状況を確認し、今後の支援の必要性を検討することを目的として、平成30年度より開始した。令和2年度は、平成30年度・令和元年度にぞう組だった児を対象に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。地区担当保健師が保護者に電話し、近況について聞き取りを行った。

対象月齢	対象者
年少児	16人 (8組)
年中児	16人 (8組)

*対象者は全員入園しており、保護者へ連絡がとれた方で児が現在支援に繋がっているのは2人。支援のニーズはあればすべて支援に繋がっていた。
*こちらが気にかけていても、電話で保護者に心配ないと言われると積極的介入が難しい。実際に児の姿をみて母と話ができる環境が望ましいため、来年度以降可能であれば実施していきたい。

④生活習慣病予防と育児セミナー（西部地域）

【生活習慣病予防】

乳幼児の保護者に対し、生活習慣のスタートラインである乳幼児の健全な生活習慣の確立と保護者自身の生活習慣の改善に対する理解を深められるよう、離乳食講習会及び2歳児歯科健診、更に育児セミナーにおいて、生活習慣病予防のための健康教育を実施した。



	離乳食講習会	2歳児歯科健診
対象と参加者数	西地域離乳食教室参加者 3回 実(成人)24人	西地域2歳児歯科健診参加者 6回 実(児)86人

【育児セミナー】

ねらい	親同士の交流を深めるだけではなく、祖父母や親戚との豊かな関係性や地域の中で温かく見守られることにより、安心して子育てができ、子どもの健全育成にも繋がるような支援の場とする。更に、鳥取市西地域の親の「心の底からの笑顔を引き出すような支援」の重要性を地域の子育て支援者で共有したことから、「ママ&パパの笑顔応援プロジェクトin西いなば」の一環として、これを実施する。
対象	平成31年度生まれの児の保育に関わる方すべて(対象児：気高43人、鹿野18人、青谷23人)
参加者数	実17組(延32組) (再掲) 父親参加：実6組 (参加率：実17組/対象86組=19.8%) ※(2組対象外あり、母数86組で計算)
内容 ※情報交換を含む (毎回)	第1回：講演①「親と子の生活習慣」保健師 ②「子どもの心と身体を育てる食卓・食事」栄養士 第2回：講演・実技「ベビーヨガリズム」Fitness Ja-んぐる 健康運動実践指導者 岸田真美さん 第3回：講演「パパも一緒に 子育て親育ち」 鳥取県立図書館 司書 高橋 真太郎 さん、家庭教育アドバイザー山田節子さん 第4回：講演・実技「みんなわが子☆じげの子☆地域の宝」鳥取市西部地域の子育て支援者のみなさん (読み聞かせボランティア、主任児童委員、子育て支援センター職員、子ども食堂ボランティア、図書館司書、ファミリーサポートセンター職員)
評価	アンケート結果より、講演内容について「とても良かった」と回答した割合は平均98.2%。今回のセミナーの大きなポイントは、①コロナ禍での閉じこもり育児を予防し、共感・共生の輪を広げること、②父親の育児参画を啓発していくことであった。 ①についてはアンケート自由意見から、閉じこもり育児のつらさを実感し、親子がリラックスできる環境がより求められていたことが分かった。②については、以前より課題であった未就園児における父親の育児参画について有効な具体策を見出すことができていなかった。そこで今回は、男性講師による講話を企画。実際は、男性講師の回だけではなく、父親が参加されていた他の家庭の様子を見て、「自分のうちも！」と来所された家庭を含め、例年ほぼゼロであった男性参加者組数が一気に6組と増加。その効果は、父親が参加した組だけではなく、他の参加者それぞれの意識において、プラスに表れた様子が見られた。 西地域の子育て支援者のほとんどが女性であることから、男性の声を取り入れやすい体制が組めるような工夫も必要であると感じた。また、参加した男性6名(実)のうち、5名が「男性が育休を取得したことのある家庭」からの参加であった。このことから、「男性育児休暇の取得」ができる労働環境の創出は非常に大切かということが分かる。 今回、この2点について特に様々な気づきが得られた。西地域子育て支援者連絡会、その他行政においてもこのことについて共有し、今後の子育て支援に生かしていきたい。

(10) 鳥取市の母子保健を取り巻く状況

①家族状況 (平成27国勢調査より)

	件数 (戸)	%
核家族の割合	39,536	52.1

②母子健康手帳交付時の妊婦の週数と喫煙状況 (令和2年度鳥取市母子管理カードより)

	満11週以内		満12～19週		満20～27週		満28週～分娩まで		分娩後		不詳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
妊娠週数	1,291	95.5	52	3.8	7	0.5	2	0.1	1	0.1	0	0.0

	喫煙者数 (人)	%
妊婦の喫煙状況	20	1.5

(1,353人中)

③出生時の状況 (令和元年人口動態調査より)

	2,500g以上		2,500g未満		再)2,000g未満		不詳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出生体重	1,190	90.2	130	9.8	21	1.6	0	0.0

	第1児		第2児		第3児		第4児以降	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出生順位	575	43.6	494	37.4	191	14.5	60	4.5

出産時の母の年齢	20歳未満		20歳～24歳		25歳～29歳		30歳～34歳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
	15	1.1	114	8.7	354	26.8	490	37.1
	35歳～39歳		40歳～44歳		45歳以上			
	実数	%	実数	%	実数	%		
283	21.4	62	4.7	2	0.2			

(1,320人中)

④乳幼児健診問診・アンケート項目より抜粋

項目	内容	6か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診		
		実数	%	実数	%	実数	%	
昼間の主たる保育者	母	1,205	91.9	397	29.1	150	10.6	
	その他の家族	10	0.7	35	2.6	13	0.2	
	集団保育	95	7.2	928	68.0	1,247	88.3	
	その他	3	0.2	4	0.3	13	0.9	
事故で入院(受診)の有無	あり	45	3.4	13	1.0	15	1.1	
児のアレルギーの有無	あり	106	8.0	135	9.9	123	8.6	
児がテレビを見ているか	2時間以上			281	20.9			
	2時間未満			945	70.4			
	見せていない			116	8.7			
児へ絵本を 読んであげる頻度	毎日			487	35.8	315	22.2	
	週3～4回			390	28.7	386	27.3	
	週1～2回			376	27.6	530	37.4	
	ほとんど読まない			108	7.9	185	13.1	
児の起床時間・ 就寝時間	起床時間	～7時			1,222	89.5	1,287	90.4
		8時			129	9.4	118	8.3
	9時～	15			1.1	18	1.3	
	就寝時間	～20時			311	22.8	122	8.6
		21時			801	58.6	743	52.2
		22時～			254	18.6	558	39.2
喫煙率	家族喫煙あり	499	37.9	529	38.7	558	39.2	
育児の楽しさ	楽しい	1,074	82.0	1,027	75.3	887	62.4	
	ときどき楽しくない	229	17.5	324	23.8	523	36.8	
	あまり楽しくない	7	0.5	12	0.9	11	0.8	
保護者の育児の 悩み	悩みはない	197	15.0					
	悩んでも解決できる	872	66.6					
	悩んでいる	227	17.3					
	悩みたくない	14	1.1					

項目	内容	6か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
		実数	%	実数	%	実数	%
母の産後の気持ちの落ち込み	現在は症状がない	392	30.0				
	現在も症状がある	65	5.0				
悩みや育児の相談者	あり	1,312	99.8	1,358	99.4	1,411	99.2
	内訳(延)						

⑤健やか親子21 アンケート項目抜粋

項目	内容	3～4か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
		実数	%	実数	%	実数	%
産後1ヶ月間十分にケア・指導が受けられたか	はい	1,110	84.8	/		/	
	いいえ	34	2.6				
	どちらともいえない	165	12.6				
地域で子育てしていきたいか	そう思う	992	75.8	1,015	74.8	1,022	72.2
	どちらかといえばそう思う	294	22.5	302	22.3	370	26.1
	どちらかといえばそう思わない	17	1.3	31	2.3	19	1.3
	そう思わない	6	0.4	8	0.6	5	0.4
ゆったりとした気持ちで子育てをしているか	はい	1,189	90.5	1,082	79.6	1,094	77.2
	いいえ	12	0.9	37	2.7	50	3.5
	なんとも言えない	113	8.6	241	17.7	273	19.3
育てにくさを感じるか	いつも感じる	4	0.3	10	0.7	7	0.5
	時々感じる	145	11.1	245	18.1	460	32.5
	感じない	1,163	88.6	1,102	81.2	949	67.0
父親の育児への参加	よくやっている	923	71.4	903	68.1	876	64.9
	時々やっている	292	22.6	345	26.0	389	28.8
	ほとんどしない	35	2.7	44	3.3	52	3.8
	何ともいえない	43	3.3	35	2.6	34	2.5
妊娠中の飲酒	あり	4	0.3	/		/	
妊娠中の喫煙	あり	23	1.8				
現在の母の喫煙	あり	32	2.4	69	5.1	77	5.4
現在の父の喫煙	あり	434	33.2	476	35.5	492	35.7
家庭であったこと	内訳(延)						
	該当なし	1,167	88.8	1,125	82.4	933	65.6

<子育て環境>

*テレビ視聴では、1歳6か月児健診で「2時間以上」が20.9%、「2時間未満」が70.4%であった。テレビ視聴の仕方や生活リズムを整えることの大切さについての啓発を、新生児訪問、集団教育等で引き続き行っていきたい。

*保護者の育児の悩みについて、66.6%の保護者が「悩んでも解決できる」一方で、「悩んでいる」が17.3%、「悩みたくない」が1.1%であった。また、気持ちの落ち込みで「現在も症状がある」と回答した方が5.0%であった。悩み・落ち込みの症状がある保護者に対して、より丁寧な支援を今後も継続していきたい。

(11) 助成事業

①特定不妊治療費等助成事業

子どもを授かりたいと願う夫婦を応援するため、不妊検査及び不妊治療、不育治療に要する経費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り治療しやすい環境を整えることを目的とする。

<東部圏域委託事業（中核市）>

【不妊治療費（特定不妊治療・人工授精・不妊検査）助成】 (延件数)

区分	特定不妊治療助成	人工授精助成	不妊検査助成
鳥取市	491	128	36
4 町	52	26	4
計	543	154	40

<単市事業>

【不妊治療費（特定不妊治療・人工授精）追加助成事業】

区分	特定不妊	一般不妊
交付実人数	233	115
延 件 数	466	130

【不育治療費助成交付事業】

交付実人数	2
延 件 数	2

②小児慢性特定疾病

慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり治療を必要とする児童等の健全な育成を図るため、その治療の確立と普及を図り、あわせて患児家庭の医療費の負担軽減を図ることを目的に医療費助成を行う。併せて地域の社会資源を活用して自立に向けた相談支援を行う。

【小児慢性特定疾病医療費助成】

審査会診査状況（件）

区分	受給者数 R3.3.31 (人)	新規認定	更新	疾病 変更・追加	重症度変更
鳥取市	196	24	-	1	1
4 町	31	2	-	-	-
計	227	26	-	1	1

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑み、国方針により更新手続きなしとし、受給者証を1年間延長して対応。

【小児慢性特定疾病自立支援事業】

令和元年度から小児慢性特定疾病自立支援員を配置。

案内通知にあわせてニーズ把握のためのアンケートを実施し、電話等で相談に応じている。

3 成人保健事業

〔目的〕「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を図るため、市民が主体的に健康づくりを
実践できるように支援する。

〔目標〕①鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2016」の推進。

②疾病の予防と健康増進を図る。

③各種健診の受診率向上及び事後指導の充実を図る。

(令和3年6月30日現在)

(単位：人)

事業名	内訳	合計	中央	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
健康診査	特定健康診査	9,378	6,713	506	197	489	256	159	448	201	409	
	高齢者健康診査	5,762	4,159	396	53	261	141	114	239	102	297	
	その他健康診査	326	280	10	3	5	5	5	8	1	9	
	計	15,466	11,152	912	253	755	402	278	695	304	715	
肝炎ウイルス検査	集団	377	301	18	13	15	5	2	12	5	6	
	個別	951	771	47	11	26	19	9	25	15	28	
	計	1,328	1,072	65	24	41	24	11	37	20	34	
がん検診	胃	集団X線	1,857	1,198	110	58	147	49	35	103	40	117
		個別X線	400	275	19	11	26	6	5	20	19	19
		個別内視鏡	12,960	9,928	766	170	501	301	219	529	248	298
		計 (受診率)	15,217 25.8%	11,401	895	239	674	356	259	652	307	434
	肺	集団	3,288	2,000	173	141	238	122	92	179	144	199
		個別	14,274	10,782	843	168	486	324	204	596	269	602
		計 (受診率)	17,562 29.8%	12,782	1,016	309	724	446	296	775	413	801
	大腸	集団	3,473	2,294	182	108	226	115	77	168	98	205
		個別	13,256	10,082	731	177	509	302	190	566	246	453
		計 (受診率)	16,729 28.4%	12,376	913	285	735	417	267	734	344	658
	子宮	集団	2,799	1,948	187	70	131	78	66	119	66	134
		個別	6,670	5,386	304	98	189	111	41	260	117	164
計 (受診率)		9,469 34.1%	7,334	491	168	320	189	107	379	183	298	
(再掲) 同時 体部 後日		244 115	204 88	9 8	2 1	6 3	7 4	1 1	7 4	2 3	6 3	
乳	集団	2,117	1,487	140	47	89	70	56	92	44	92	
	個別	3,122	2,515	133	51	109	48	16	118	49	83	
	計 (受診率)	5,239 29.1%	4,002	273	98	198	118	72	210	93	175	
人間ドック	計	3,058	2,056	148	93	196	85	74	178	80	148	
脳ドック	計	563	424	20	14	27	15	7	26	7	23	
骨	集団	882	515	83	33	17	40	37	72	32	53	
特定保健 指導	対象者数	965	703	50	26	55	21	17	44	22	27	
	利用者数	349	247	16	10	22	7	8	15	11	13	
支援別 内訳	積極的	対象者	203	157	6	7	12	2	2	7	5	5
		利用者	40	31	2	1	3	-	-	1	1	1
	動機付	対象者	762	546	44	19	43	19	15	37	17	22
		利用者	309	216	14	9	19	7	8	14	10	12

※ 検診対象者数は、平成27年国勢調査より引用。

※ 子宮がん・乳がん検診の受診率は、2年に1回の受診率（国の算定方式による）で算出。

※ 成人の各種健診事業は、中央および各支所ごとの受診人員で表す。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業名		内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
成人・高齢者	健康教育	地区	回数	105	22	7	12	8	16	13	2	15	10
			延人員	1,441	372	61	155	102	179	162	15	284	111
		ブロック	回数	6	-	-	-	3			3		
			延人員	69	-	-	-	32			37		
	保健指導	来所	199	59	31	43	10	6	27	17	2	4	
		電話	192	58	16	23	8	18	21	41	1	6	
	健康相談	回数	53	8	2	13	-	11	16	2	-	1	
		延人員	494	128	19	142	-	86	103	12	-	4	
	訪問指導	延人員	600	553	6	16	-	3	13	8	-	1	
	地域ふれあい 体操普及事業 (しゃんしゃん体操)	継続実施	実施箇所	66	66								
実人員			932	932									
単発実施		回数	41	41									
		実人員	768	768									
栄養改善	健康教育	回数	16	6	-	8	-	1	-	-	1	-	
		延人員	301	136	-	135	-	17	-	-	13	-	
	栄養相談	来所	35	35									
		電話	61	61									
歯科保健	健康教育	回数	14	6	1	-	-	-	2	1	1	3	
		延人員	165	85	5	-	-	-	22	7	3	43	
	健康相談	回数	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
		延人員	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ふしめ	40～70歳	実人員	281	186	2	62	5	7	1	3	5	10
	高齢者 歯科 対策	寝たきり、高齢者施設等	訪問(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			施設(回)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設(人)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
精神保健	訪問指導	実人員	118	24	2	14	10	15	10	13	3	27	
		延人員	357	62	7	31	23	60	17	41	21	95	
	来所・電話メール相談	件数	1,754	90	16	50	90	220	81	392	98	717	

(1) 国保特定健康診査(中途国保含む)

(令和3年7月16日現在)

①受診者及び指導区分等の状況

(単位:人)

	健康診査 受診者数 (年度中)	健康診査		保健指導区分別実人員				メタボ判定			
		個別 健診	集団 健診	保健指導 非対象者	服薬中により 保健指導 対象外	動機付け 支援	積極的 支援	基準 該当	予備群 該当		
合計	9,378	8,070	1,308	3,450	4,963	762	203	1,786	985		
割合	-	86.1%	13.9%	36.8%	52.9%	8.1%	2.2%	19.0%	10.5%		
全 市	男	40歳～	270	200	70	142	33	31	64	54	52
		50歳～	320	250	70	141	100	23	56	71	61
		60歳～	376	318	58	125	187	13	51	132	55
		65歳～	1,229	1,078	151	330	701	198	-	395	212
		70歳～	1,967	1,774	193	480	1,257	230	-	624	328
		計	4,162	3,620	542	1,218	2,278	495	171	1,276	708
		割合	-	-	-	29.3%	54.7%	11.9%	4.1%	30.7%	17.0%
	女	40歳～	241	180	61	205	14	13	9	9	8
		50歳～	355	272	83	236	92	16	11	25	26
		60歳～	601	489	112	308	251	30	12	41	37
		65歳～	1,620	1,364	256	723	807	90	-	166	77
		70歳～	2,399	2,145	254	760	1,521	118	-	269	129
		計	5,216	4,450	766	2,232	2,685	267	32	510	277
		割合	-	-	-	42.8%	51.5%	5.1%	0.6%	9.8%	5.3%
中央	6,713	5,888	825	2,546	3,464	546	157	1,275	711		
国府	506	430	76	172	284	44	6	106	49		
福部	197	137	60	81	90	19	7	40	20		
河原	489	359	130	166	268	43	12	92	59		
用瀬	256	207	49	65	170	19	2	37	27		
佐治	159	122	37	60	82	15	2	24	18		
気高	448	392	56	162	242	37	7	88	44		
鹿野	201	180	21	80	99	17	5	42	19		
青谷	409	355	54	118	264	22	5	82	38		

*昨年度に比べ受診率は減少した。新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響も要因の一つと考えられる。

*未受診者に対し、勸奨資材の送付や個別訪問による受診勸奨を実施した。東部医師会、薬剤師会に健診受診勸奨の協力依頼や商業施設、公共施設等でポスター掲示やチラシ設置による受診勸奨に努めた。

②主な検診項目別人員

(単位:人)

	高血圧症 予備群	高血圧症 有病者	脂質異常	糖尿病 予備群	糖尿病 有病者	貧血 要指導者 を含む	肝機能 要指導者 を含む	尿検査 異常者	たばこ		
									吸って いない	吸って いる	
合計	1,286	5,035	5,881	3,938	1,322	1,744	2,697	751	8,356	1,022	
割合	13.7%	53.7%	62.7%	42.0%	14.1%	18.6%	28.8%	8.0%	89.1%	10.9%	
全 市	男	555	2,461	2,422	1,786	793	565	1,726	488	3,304	858
	割合	13.3%	59.1%	58.2%	42.9%	19.1%	13.6%	41.5%	11.7%	79.4%	20.6%
	女	731	2,574	3,459	2,152	529	1,179	971	263	5,052	164
	割合	14.0%	49.3%	66.3%	41.3%	10.1%	22.6%	18.6%	5.0%	96.9%	3.1%
中央	934	3,479	4,238	2,752	911	1,302	1,925	530	5,993	720	
国府	65	297	326	194	73	137	147	51	443	63	
福部	33	105	128	88	32	17	65	14	170	27	
河原	59	287	288	234	69	59	148	41	432	57	
用瀬	30	174	150	113	55	28	79	33	227	29	
佐治	24	86	80	75	21	34	57	9	141	18	
気高	59	253	277	211	71	49	116	37	397	51	
鹿野	31	101	127	86	23	17	46	8	181	20	
青谷	51	253	267	185	67	101	114	28	372	37	

*有所見者割合は、高血圧、脂質異常、高血糖は前年度同様に、いずれも5～6割を占めている。

*昨年度と比較し、有所見者割合は高血圧で2.0ポイント増加、脂質異常1.4ポイント増加、糖尿病有病者0.1ポイント増加しており、今後も生活習慣病対策に取り組んでいきたい。

③特定健康診査の目標値および実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込)
目標値	52.5%	60.0%	35.0%	40.0%	45.0%
実績	33.1%	33.9%	34.7%	34.8%	32.0%

※平成25～29年度は第2期、平成30年度以降は第3期国保特定健康診査等実施計画に基づく目標値。
平成28～令和元年度実績は法定報告(毎年11月末に確定)。

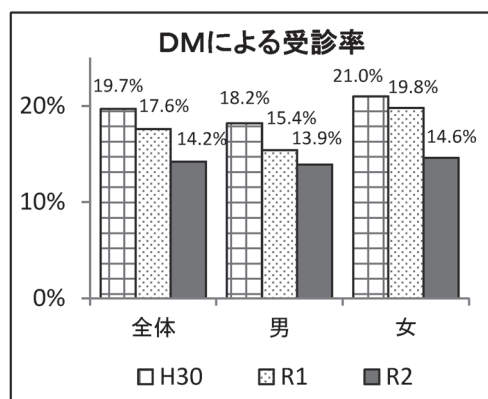
④受診者数の年次推移

年齢		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度 (R3.7.6時点見込数)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
40-49歳	男性	255	13.6%	258	14.5%	258	14.8%	270	16.2%	270	
	女性	243	18.2%	239	18.3%	255	20.2%	235	19.2%	241	
	小計	498	15.5%	497	16.1%	513	17.1%	505	17.5%	511	
50-59歳	男性	331	16.9%	333	18.1%	282	16.6%	287	16.8%	320	
	女性	437	23.4%	402	23.4%	371	23.7%	342	22.5%	355	
	小計	768	20.1%	735	20.6%	653	20.0%	629	19.5%	675	
60-69歳	男性	2,231	32.9%	2,103	33.9%	1,942	34.0%	1,772	34.1%	1,605	
	女性	3,116	39.3%	2,992	40.3%	2,758	40.1%	2,586	40.8%	2,221	
	小計	5,347	36.4%	5,095	37.4%	4,700	37.3%	4,358	37.8%	3,826	
70-74歳	男性	1,284	39.0%	1,407	38.0%	1,661	40.2%	1,803	39.7%	1,967	
	女性	1,657	43.0%	1,818	43.2%	2,034	44.9%	2,154	43.7%	2,399	
	小計	2,941	41.2%	3,225	41.2%	3,695	42.6%	3,957	41.8%	4,366	
男性合計		4,101	29.5%	4,101	30.3%	4,143	31.2%	4,132	31.5%	4,162	
女性合計		5,453	36.4%	5,451	37.2%	5,418	38.1%	5,317	38.0%	5,216	
総計		9,554	33.1%	9,552	33.9%	9,561	34.7%	9,449	34.8%	9,378	

⑤特定健診未受診者勧奨の実績

・受診勧奨通知(DM)

過去の受診状況や勧奨結果をもとに、前年度未受診で、過去5年以内に受診歴がある人(令和元年度と同条件)を抽出し、DMを送付した。ナッジ理論を取り入れた内容とし、毎年受けることの必要性を伝えた。対象者4,860人中、男性317人、女性375人の計692人(14.2%)が受診につながったが、令和元年度17.6%より減少した。新型コロナウイルス感染症による受診控えも影響していると考えられるが、対象者の選定や勧奨資材の見直しの検討が必要である。



・看護師による未受診者訪問

過去訪問未実施の地区を選定し、受診勧奨を実施した。対象者527人中、249人にアプローチし、20人が健診受診につながった。また、すでに36人が健診受診済みであることを確認した。

対象者の中には、通院中で健診受診は考えていないという人が多かったことから、次年度は、特定健診情報提供事業と併せて、通院中でも特定健診につながるよう効果的な方法を検討していきたい。

(2) 特定保健指導

① 特定保健指導の目標値および実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込）
目標値	52.0%	60.0%	45.0%	47.5%	50.0%
利用率	40.3%	41.1%	40.3%	37.6%	36.2%
実施率	44.2%	41.4%	39.7%	38.3%	-

※平成28～令和元年度実績は法定報告（毎年11月末確定）。平成30年度以降の目標値は第3期国保特定健康診査等実施計画より実施率。

② 実施状況の年次推移

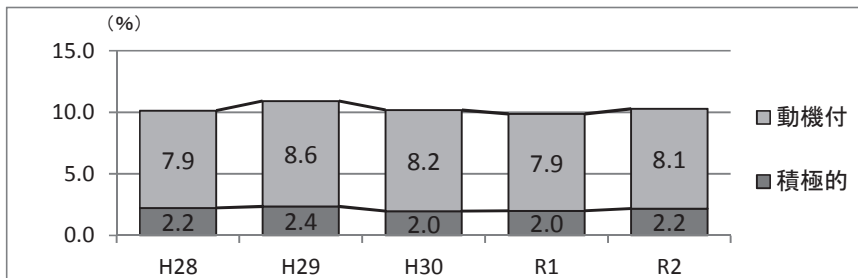
・利用者数

支援別	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度（見込）		
	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率
受診者数	9,554人			9,552人			9,561人			9,449人			9,378人		
積極的	214	52	24.3%	225	49	21.8%	189	40	21.2%	188	28	14.9%	203	40	19.7%
動機付	753	338	44.9%	817	379	46.4%	784	352	44.9%	744	322	43.3%	762	309	40.6%
合計	967	390	40.3%	1042	428	41.1%	973	392	40.3%	932	350	37.6%	965	349	36.2%

※平成28～令和元年度は法定報告。令和2年度は令和3年7月16日現在。

※ 令和2年度利用者数は前年度と比較して動機付け支援は減少したが、積極的支援は増加し、総利用者数の大きな減少はなかった。経年対象者のモチベーション維持が依然課題であり、対象者のニーズを今後も把握しながら継続利用につながる支援策等を検討していきたい。

・支援別対象者割合



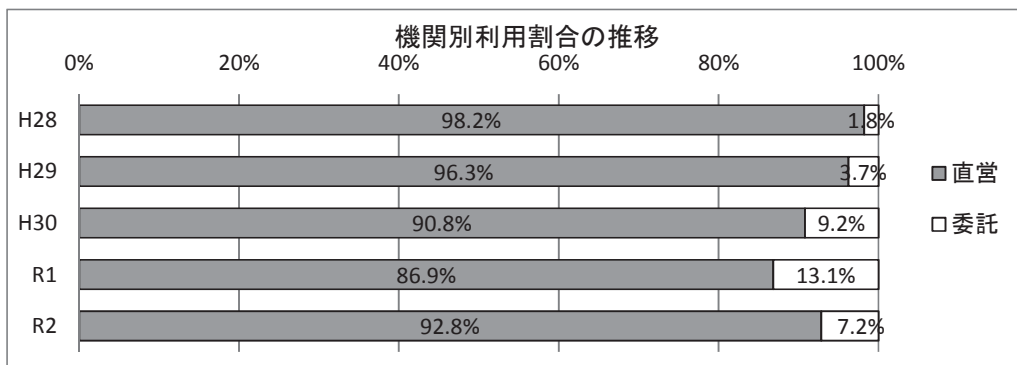
※R2は見込み

※ 保健指導対象者割合は前年度と比較し、積極的支援、動機付け支援共に増加傾向にある。

・機関別実施者数および総支援回数

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度（見込）	
	直営	委託	直営	委託	直営	委託	直営	委託	直営	委託
積極的	47	5	46	3	32	8	21	7	34	6
動機付	336	2	366	13	324	28	283	39	290	19
計	383	7	412	16	356	36	304	46	324	25
総計	390		428		392		350		349	
総支援回数	1,153		1,120		1,125		1,040		835	

※平成28～令和元年度は法定報告。令和2年度は令和3年7月6日現在。



※ 委託機関でも健診時の利用勧奨に取り組んでいただいているが、令和2年度の利用者数は減少した。

【方法と会場別実績】

《直営教室》

教室名	会場	クール数	全回数	実人数	積極的 (人)	動機付 (人)
減らせ内臓脂肪教室	さわやか会館	3	9	28	—	28

* 教室実施は参加者同士が良い影響を与え合い、改善への成果につながっているが、参加者確保が課題である。

《直営個別相談》

(単位：人)

		中央	鳥取東	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	合計
積極的	実人数	24	4	1	3	—	—	1	—	1	34
	内：来所	22	3	—	2	—	—	1	—	—	28
	内：訪問	2	1	1	1	—	—	—	—	1	6
動機付	実人数	185	17	7	12	7	7	7	9	11	262
	内：来所	68	6	2	6	1	3	3	3	7	99
	内：訪問	117	11	5	6	6	4	4	6	4	163
合計		209	21	8	15	7	5	8	9	8	296

* 令和2年度も家庭訪問を中心に対象者の状況に合わせて利用勧奨及び保健指導を実施した。前年より積極的支援対象者の個別相談利用が多かった。今後は働く世代への対応や新型コロナウイルス感染症予防対策から、オンライン実施等のより利用しやすい環境づくりに努めていきたい。

《運動教室（特定保健指導利用者のフォロー教室）について》（令和2年4月～令和3年3月の利用状況）

教室名	会場	全実施回数	延利用人数	実利用人数	積極的 (人)	動機付 (人)
スタイルアップ教室	さわやか会館	28	276	45	2	43

* 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止を繰り返したが、9月後半から1日2グループ制とし、実技時間の短縮、1回平均出席10名に人数制限し実施した。実利用人数は年々増加している。

【対象者への利用勧奨実績】

(単位：人)

		中央	鳥取東	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	合計
積極的	訪問・面接	67	27	6	6	2	2	2	2	4	118
	電話・手紙	38	6	—	1	—	—	2	—	1	48
	本人申込他	8	2	—	2	—	—	1	1	—	14
動機付	訪問・面接	261	126	8	25	15	10	22	13	17	497
	電話・手紙	95	25	2	4	2	2	7	1	2	140
	本人申込他	41	18	3	4	—	1	3	2	2	74
合計		510	204	19	42	19	15	37	19	26	891

《利用勧奨・状況把握結果》

	積極的	動機付	計
利用：本人申込他	10	64	74人
利用：訪問電話等	30	245	275人
利用しない	117	331	448人
検討中	4	9	13人
不在	19	62	81人
状況把握総数	180	711	891人
利用勧奨者数	170	647	817人
(内：意向把握割合)	(88.8%)	(90.4%)	(90.1%)

《訪問・電話等で利用につながった割合》

	勧奨者	利用者	利用率	計	利用者に占める割合
積極的	166	30	18.1%	34.2%	
動機付	637	245	38.5%		

《利用しない理由》（n=448人）

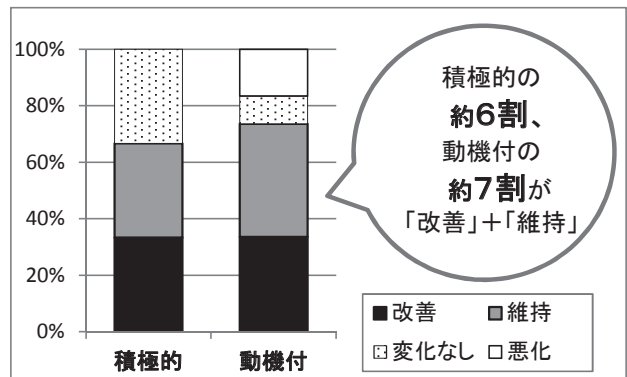
理由の内訳	人数	割合
通院中・主治医に相談する	127	28.4%
自分で取り組む	152	33.9%
関心がない・必要がない	112	25.0%
仕事や家族看護等で多忙等	57	12.7%

* 対象者全員への利用勧奨を目標とし、家庭訪問、日中及び夜間電話を中心に対象者の84.7%にアプローチした結果、勧奨者の90.1%の意向を把握することができた。また勧奨者の34.2%が利用につながった。利用しない理由は「自分で取り組む」が33.9%と一番多かった。今後も健診結果から自分の健康に関心をもつことや生活改善の必要性に気づき、そのために必要な助言もしながら健康意識の底上げにつながる支援をしていきたい。

④令和元年度 特定保健指導の評価 (直営+委託)

・令和元年度特定保健指導利用者の令和2年度健診結果
《メタボ判定の変化》

	令和元年度 受診者数	2年連続 受診割合		人数	割合
積極的 35人	24人 (内：服薬 開始1人)	68.6%	改善	8	33.3%
			維持	8	33.3%
			変化なし	8	33.3%
			悪化	0	0.0%
			計	24	
動機付 324人	235人 (内：服薬 開始25人)	72.5%	改善	79	33.6%
			維持	94	40.0%
			変化なし	23	9.8%
			悪化	39	16.6%
			計	235	



※「維持」はメタボ判定が[非該当]⇒[非該当]および[予備群]⇒[予備群] 「変化なし」は[基準該当]⇒[基準該当]

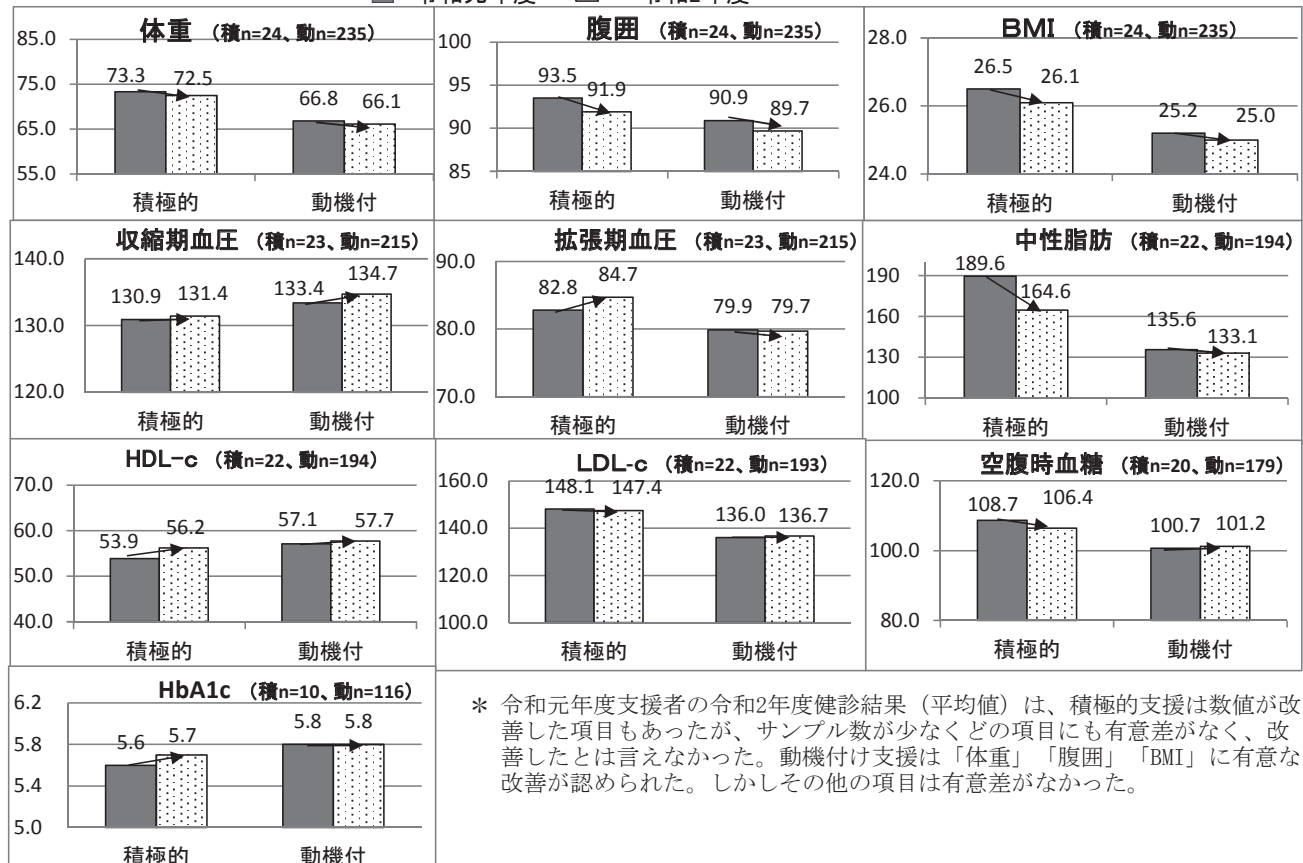
※ 令和元年度に特定保健指導を受けた人の令和2年度特定健診のメタボ判定を見ると、積極的・動機付共に3割が改善していた。維持を含めると積極的は約6割、動機付は約7割を占めた。また、積極的は悪化した人はなかった。

《健診結果の改善効果(平均値)》

		体重 (kg)	腹囲 (cm)	BMI	収縮期 血圧 (mmHg)	拡張期 血圧 (mmHg)	中性脂肪 (mg/dl)	HDL-c (mg/dl)	LDL-c (mg/dl)	空腹時 血糖 (mg/dl)	HbA1c (%)
積極的	R1	73.3	93.5	26.5	130.9	82.8	189.6	53.9	148.1	108.7	5.6
	R2	72.5	91.9	26.1	131.4	84.7	164.6	56.2	147.4	106.4	5.7
	平均値差	-0.8	-1.6	-0.4	0.5	1.9	-25.0	2.3	-0.7	-2.3	0.1
	有意差	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.
動機付	R1	66.8	90.9	25.2	133.4	79.9	135.6	57.1	136.0	100.7	5.8
	R2	66.1	89.7	25.0	134.7	79.7	133.1	57.7	136.7	101.2	5.8
	平均値差	-0.7	-1.2	-0.2	1.3	-0.2	-2.5	0.6	0.7	0.5	0.0
	有意差	**	**	*	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.

※検定方法：対応のあるt検定 **：p<0.01 *：p<0.05 n. s.：有意差なし

《各検査項目ごとの変化》



※ 令和元年度支援者の令和2年度健診結果(平均値)は、積極的の支援は数値が改善した項目もあったが、サンプル数が少なくどの項目にも有意差がなく、改善したとは言えなかった。動機付け支援は「体重」「腹囲」「BMI」に有意な改善が認められた。しかしその他の項目は有意差がなかった。

(3) 肝炎ウイルス検査

(令和3年6月30日現在)

①一次検診及び精密検査結果

(単位：人)

	受診者数	一次検診 検査結果			精密検査											
		正常	B+	C+	受診者数	B型 結果					C型 結果					
						キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん	受診者数	キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん
総合計	1,328	1,310	17	1	13	10	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
全市	合計	626	616	10	-	7	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	702	694	7	1	6	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	146	145	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	40歳～	249	248	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	56	56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	72	71	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45歳～	41	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	71	71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	47	44	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55歳～	56	55	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	97	96	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	81	80	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳～	127	126	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	95	92	3	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	112	108	4	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳～	78	77	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中央	493	484	9	-	6	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
男	579	572	6	1	6	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	36	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
国府	29	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福部	28	27	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
河原	13	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
用瀬	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐治	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	23	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
気高	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿野	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女	18	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

②定期検査結果

(単位：人)

	対象者数	受診者数	B型 結果					C型 結果							
			キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん	対象者数	受診者数	キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん	
															総合計
全市	男	148	81	60	16	3	-	2	34	15	1	2	12	-	-
	女	217	107	86	16	5	-	-	88	49	13	9	27	-	-
中央	224	122	98	17	7	-	-	41	21	1	2	18	-	-	
国府	45	19	13	4	1	-	1	6	4	1	2	1	-	-	
福部	18	6	3	2	-	-	1	31	11	1	1	9	-	-	
河原	16	8	7	1	-	-	-	4	3	-	-	3	-	-	
用瀬	17	11	9	2	-	-	-	22	14	6	2	6	-	-	
佐治	11	8	5	3	-	-	-	13	9	4	4	1	-	-	
気高	11	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿野	11	5	5	-	-	-	-	5	2	1	-	1	-	-	
青谷	12	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(4) 胃がん検診

(令和3年6月30日現在)

①胃X線検診結果 (一次検診及び精密検査結果)

(単位:人)

	一次検診					精密検査							胃X線がん発見率	
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果								
		異常なし	(要精検)			異常なし	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他	がん疑い	がん		
総合計	2,257 (3.8)	2,143	114 (5.05)	91	79.8	17	18	8	1	44	-	3	0.13	
全市(胃X線)	合計	857	793	64	50	78.1	8	6	6	1	26	-	3	0.35
	男女	1,400	1,350	50	41	82.0	9	12	2	-	18	-	-	-
	40歳~	140	135	5	4	80.0	-	-	1	-	2	-	1	0.71
	男女	356	343	13	12	92.3	5	4	-	-	3	-	-	-
	50歳~	116	112	4	4	100.0	-	1	-	-	3	-	-	-
	男女	279	271	8	5	62.5	-	3	-	-	2	-	-	-
	60歳~	298	275	23	15	65.2	3	-	1	1	9	-	1	0.34
	男女	444	427	17	15	88.2	2	3	1	-	9	-	-	-
	70歳~	256	232	24	19	79.2	4	2	3	-	9	-	1	0.39
	男女	268	260	8	6	75.0	2	1	1	-	2	-	-	-
	80歳~	47	39	8	8	100.0	1	3	1	-	3	-	-	-
	男女	53	49	4	3	75.0	-	1	-	-	2	-	-	-
	集団検診	670	625	45	35	77.8	4	4	6	-	18	-	3	0.45
	個別検診	1,187	1,152	35	30	85.7	7	6	2	-	15	-	-	-
男女	187	168	19	15	78.9	4	2	-	1	8	-	-	-	
男女	213	198	15	11	73.3	2	6	-	-	3	-	-	-	
中央	男	550	508	42	33	78.6	5	2	4	1	19	-	2	-
男女	923	893	30	24	80.0	6	5	2	-	11	-	-	-	
国府	男	47	42	5	5	100.0	1	-	1	-	3	-	-	-
男女	82	78	4	4	100.0	-	2	-	-	2	-	-	-	
福部	男	25	24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男女	44	43	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
河原	男	69	61	8	6	75.0	1	1	1	-	2	-	1	-
男女	104	98	6	5	83.3	-	2	-	-	3	-	-	-	
用瀬	男	24	23	1	1	100.0	-	1	-	-	-	-	-	-
男女	31	30	1	1	100.0	1	-	-	-	-	-	-	-	
佐治	男	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男女	24	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
気高	男	43	40	3	3	100.0	1	1	-	-	1	-	-	-
男女	80	76	4	3	75.0	1	1	-	-	1	-	-	-	
鹿野	男	32	30	2	1	50.0	-	-	-	-	1	-	-	-
男女	27	26	1	1	100.0	-	1	-	-	-	-	-	-	
青谷	男	51	49	2	2	100.0	-	1	-	1	-	-	-	-
男女	85	82	3	3	100.0	1	1	-	-	1	-	-	-	

※検診対象者数 59,003人

②無料クーポン事業:再掲(胃X線・胃内視鏡)

(単位:人)

	一次検診					精密検査							がん発見率	
	受診者数 (受診率)	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果						
		初回受診者数	初回の割合	異常なし	(要精検)			異常なし	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他		がん
合計	1,405 (11.4)	859	61.1%	1,390	15 (1.07)	12	80.0	2	5	1	-	4	-	-
全市	41歳	231	195	84.4%	227	4	100.0	2	2	-	-	-	-	-
	46歳	236	205	86.9%	233	3	100.0	-	1	-	-	2	-	-
	51歳	222	137	61.7%	219	3	66.7	-	1	-	-	1	-	-
	56歳	284	130	45.8%	282	2	50.0	-	1	-	-	-	-	-
	61歳	432	192	44.4%	429	3	66.7	-	-	1	-	1	-	-
	集団検診	260	129	49.6%	251	9	77.8	2	2	1	-	2	-	-
	個別検診	1,145	730	63.8%	1,139	6	83.3	-	3	-	-	2	-	-

※検診対象者数 12,343人

(令和3年6月30日現在)

③胃内視鏡検診結果（一次検診結果）

(単位：人)

		受診者数 (受診率)	結 果									がん 疑い	がん	がん 発見率 胃内視鏡
			異常なし	その他の 疾病	非悪性 上皮性 腫瘍	胃腺腫	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸 潰瘍	その他				
総合計		12,960 (22.0)	1,726	11,175	-	41	2,854	533	287	7,460	19	40	0.31	
全市 (胃内視鏡)	合計	男 5,537 女 7,423	623	4,872	-	29	956	347	161	3,379	11	31	0.56	
	40歳～	男	442	138	304	-	-	87	9	14	194	-	-	-
		女	748	251	497	-	-	252	6	7	232	-	-	-
	50歳～	男	495	100	394	-	2	100	8	20	264	-	1	0.20
		女	923	195	728	-	-	314	15	15	384	-	-	-
	60歳～	男	1,612	168	1,434	-	6	298	114	46	970	5	5	0.31
		女	2,117	265	1,847	-	3	560	50	43	1,191	2	3	0.14
	70歳～	男	2,259	172	2,069	-	8	362	165	67	1,467	5	13	0.58
		女	2,657	286	2,365	-	3	588	74	49	1,651	3	3	0.11
	80歳～	男	729	45	671	-	13	109	51	14	484	1	12	1.65
		女	978	106	866	-	6	184	41	12	623	3	3	0.31
	中央	男	4,156	521	3,605	-	21	729	253	123	2,479	7	23	
		女	5,772	908	4,854	-	7	1,517	142	94	3,094	5	5	
	国府	男	326	17	306	-	2	58	27	7	212	1	2	
女		440	53	385	-	1	107	6	6	265	1	1		
福部	男	80	4	76	-	-	17	8	4	47	-	-		
	女	90	12	78	-	-	15	4	4	55	-	-		
河原	男	238	22	214	-	4	34	11	2	163	-	2		
	女	263	27	234	-	2	54	8	11	159	-	2		
用瀬	男	136	9	125	-	1	10	12	12	90	2	-		
	女	165	18	146	-	-	37	5	2	102	-	1		
佐治	男	101	2	99	-	-	23	2	1	73	-	-		
	女	118	6	112	-	-	28	1	3	80	-	-		
気高	男	244	26	214	-	-	40	14	3	157	1	3		
	女	285	48	236	-	1	68	6	4	157	1	-		
鹿野	男	115	9	106	-	-	16	10	3	77	-	-		
	女	133	17	115	-	-	27	8	1	79	1	-		
青谷	男	141	13	127	-	1	29	10	6	81	-	1		
	女	157	14	143	-	1	45	6	1	90	-	-		

※検診対象者数 59,003人

④発見がん患者受診状況

種別	項目	人数			初回受診			発見率	非初回受診			発見率
		男	女	計	男	女	計		男	女	計	
X線	進行がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	早期がん	1	-	1	1	-	1	0.01	-	-	-	-
内視鏡	進行がん	5	3	8	3	1	4	0.03	2	2	4	0.03
	早期がん	25	6	31	6	2	8	0.06	19	4	23	0.18
	計	31	9	40	10	3	13	0.10	21	6	27	0.21

※非初回は、過去3年間に受診歴のある者をいう。

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
胃X線	2,865	2,655	2,257
胃内視鏡	14,155	14,496	12,960
計	17,020	17,151	15,217

* 胃がん検診（全体）の受診者数は、前年度より1,934人減少した。

内視鏡の受診率は前年度より2.6ポイントと大幅な減少がみられ、特に60代の減少幅が大きかった。

早期発見・早期治療につなげるため、検診の啓発や精密検査の受診勧奨に今後も取り組んでいきたい。

(5) 肺がん・結核検診

(令和3年6月30日現在)

①肺がん検診（一次検診及び精密検査結果）

(単位:人)

	一次検診								精密検査						がん発見率		
	胸部X線検査			喀痰細胞診検査					要精検者合計	受診者数	精検受診率	結果					
	受診者数 (受診率)	異常なし	要精検 (要精検率)	X線 中高危険 受診者	喀痰 受診者数	異常なし	要精検	異常なし				その他	がん 疑い	がん			
総合計	17,562 (29.8)	16,998	564 (3.21)	2,425	770	767	3	566	517	91.3	244	230	30	13	0.07		
全市	合計	男	6,928	6,649	279	2,310	734	731	3	281	254	90.4	121	108	17	8	0.12
		女	10,634	10,349	285	115	36	36	-	285	263	92.3	123	122	13	5	0.05
	40歳～	男	496	482	14	-	-	-	-	14	11	78.6	8	2	1	-	-
		女	1,030	1,015	15	-	-	-	-	15	15	100.0	12	3	-	-	-
	50歳～	男	496	481	15	152	55	55	-	15	13	86.7	8	4	1	-	-
		女	1,081	1,061	20	23	8	8	-	20	18	90.0	9	6	2	1	0.09
	60歳～	男	1,934	1,873	61	740	251	250	1	61	54	88.5	21	29	2	2	0.10
		女	2,934	2,853	81	41	8	8	-	81	74	91.4	33	37	4	-	-
	70歳～	男	2,919	2,795	124	1,129	359	358	1	125	116	92.8	46	57	10	3	0.10
		女	3,751	3,652	99	45	18	18	-	99	92	92.9	44	44	3	1	0.03
	80歳～	男	1,083	1,018	65	289	69	68	1	66	60	90.9	38	16	3	3	0.28
		女	1,838	1,768	70	6	2	2	-	70	64	91.4	25	32	4	3	0.16
	集団検診	男	1,021	1,000	21	319	55	55	-	21	17	81.0	9	7	1	-	-
		女	2,267	2,227	40	17	2	2	-	40	35	87.5	14	18	3	-	-
	個別検診	男	5,907	5,649	258	1,991	679	676	3	260	237	91.2	112	101	16	8	0.14
		女	8,367	8,122	245	98	34	34	-	245	228	93.1	109	104	10	5	0.06
中央	男	4,968	4,757	211	1,620	506	504	2	213	192	90.1	89	84	14	5		
	女	7,814	7,603	211	99	34	34	-	211	196	92.9	94	89	8	5		
国府	男	386	367	19	124	26	26	-	19	17	89.5	13	4	-	-		
	女	630	608	22	6	-	-	-	22	21	95.5	9	11	1	-		
福部	男	134	130	4	48	17	17	-	4	4	100.0	1	2	1	-		
	女	175	170	5	1	-	-	-	5	4	80.0	4	-	-	-		
河原	男	319	308	11	105	46	46	-	11	10	90.9	3	5	1	1		
	女	405	393	12	2	1	1	-	12	9	75.0	2	6	1	-		
用瀬	男	183	180	3	72	27	27	-	3	3	100.0	1	2	-	-		
	女	263	259	4	-	-	-	-	4	4	100.0	2	2	-	-		
佐治	男	130	127	3	46	14	14	-	3	3	100.0	2	1	-	-		
	女	166	162	4	-	-	-	-	4	4	100.0	2	1	1	-		
気高	男	315	305	10	121	50	50	-	10	9	90.0	4	3	1	1		
	女	460	452	8	4	1	1	-	8	7	87.5	2	5	-	-		
鹿野	男	175	169	6	59	20	20	-	6	6	100.0	4	2	-	-		
	女	238	233	5	-	-	-	-	5	5	100.0	-	5	-	-		
青谷	男	318	306	12	115	28	27	1	13	10	76.9	4	5	-	1		
	女	483	469	14	3	-	-	-	14	13	92.9	8	3	2	-		

※検診対象者数 59,003人

②無料クーポン事業：再掲

(単位:人)

	一次検診					精密検査						がん発見率
	受診者数	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果				
		初回受診者数	初回の割合	異常なし	(要精検率)			異常なし	その他	がん 疑い	がん	
合計	1,205 (9.8)	742	61.6%	1,175	30 (2.49)	30	100.0	14	12	3	1	0.08
全市	41歳	226	143	63.3%	223	3	100.0	3	-	-	-	-
	46歳	201	130	64.7%	198	3	100.0	1	1	1	-	-
	51歳	184	124	67.4%	177	7	100.0	4	2	1	-	-
	56歳	210	123	58.6%	204	6	100.0	1	4	-	1	0.48
	61歳	384	222	57.8%	373	11	100.0	5	5	1	-	-
	集団検診	328	187	57.0%	325	3	100.0	1	2	-	-	-
	個別検診	877	555	63.3%	850	27	100.0	13	10	3	1	0.11

※検診対象者数：12,343人

③発見がん患者受診状況

(単位：人)

種別	項目	受診者数					初回受診				非初回受診			
		男	女	計	(再掲) 高危険群		男	女	計	発見率	男	女	計	発見率
					男	女								
がん		8	5	13	5	-	3	1	4	0.05	5	4	9	0.08

※非初回は、前年に受診歴のある者をいう。

- * 肺がん検診の受診率は2.4ポイント減少し、特に60代の受診者数の減少が顕著であった。
- * 精検受診率は昨年度より0.4ポイント減少した。引き続き検診の啓発や精検の受診勧奨に取り組んでいきたい。

(令和3年6月30日現在)

④結核検診（一次検診及び精密検査結果）

(単位：人)

種別	項目	一次検診				精密検査			
		受診者数	結果		受診者数	判定結果			
			異常なし	結核精検		異常なし	その他の疾病	結核	
総合計		12,775	12,763	12	10	1	9	-	
全市	合計	男	5,369	5,362	7	4	1	3	-
		女	7,406	7,401	5	6	-	6	-
	65～69歳	男	1,367	1,366	1	-	-	-	-
		女	1,817	1,817	-	1	-	1	-
	70～74歳	男	1,944	1,940	4	3	1	2	-
		女	2,412	2,410	2	2	-	2	-
	75～79歳	男	975	975	-	-	-	-	-
		女	1,339	1,337	2	2	-	2	-
	80歳以上	男	1,083	1,081	2	1	-	1	-
		女	1,838	1,837	1	1	-	1	-
	集団検診	男	703	703	-	-	-	-	-
		女	1,198	1,198	-	-	-	-	-
	個別検診	男	4,666	4,660	6	4	1	3	-
		女	6,208	6,202	6	6	-	6	-
中央	男	3,801	3,796	5	4	1	3	-	
	女	5,276	5,270	6	6	-	6	-	
国府	男	318	317	1	-	-	-	-	
	女	470	470	-	-	-	-	-	
福部	男	97	97	-	-	-	-	-	
	女	123	123	-	-	-	-	-	
河原	男	237	237	-	-	-	-	-	
	女	297	297	-	-	-	-	-	
用瀬	男	148	148	-	-	-	-	-	
	女	215	215	-	-	-	-	-	
佐治	男	107	107	-	-	-	-	-	
	女	133	133	-	-	-	-	-	
気高	男	249	249	-	-	-	-	-	
	女	336	336	-	-	-	-	-	
鹿野	男	143	143	-	-	-	-	-	
	女	177	177	-	-	-	-	-	
青谷	男	269	269	-	-	-	-	-	
	女	379	379	-	-	-	-	-	

(6) 大腸がん検診

(令和3年6月30日現在)

①一次検診及び精密検査結果

(単位：人)

	一次検診				精密検査								がん発見率	
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果								
		異常なし	(要精検 要精検)			異常なし	ポリープ	大腸憩室	その他	がん疑い	がん			
総合計	16,729 (28.4)	15,353	1,376 (8.23)	1,019	74.1	238	541	91	109	3	37	0.22		
全市	合計	男	6,591	5,975	616	453	73.5	70	287	35	42	2	17	0.26
		女	10,138	9,378	760	566	74.5	168	254	56	67	1	20	0.20
	40歳～	男	535	508	27	22	81.5	12	8	1	1	-	-	-
		女	1,147	1,073	74	45	60.8	20	15	2	8	-	-	-
	50歳～	男	541	509	32	23	71.9	3	14	3	-	1	2	0.37
		女	1,293	1,218	75	56	74.7	21	19	3	10	-	3	0.23
	60歳～	男	1,938	1,773	165	126	76.4	18	77	8	15	1	7	0.36
		女	2,969	2,782	187	143	76.5	45	62	13	22	-	1	0.03
	70歳～	男	2,694	2,426	268	196	73.1	24	133	17	18	-	4	0.15
		女	3,485	3,187	298	243	81.5	63	118	26	22	1	13	0.37
	80歳～	男	883	759	124	86	69.4	13	55	6	8	-	4	0.45
		女	1,244	1,118	126	79	62.7	19	40	12	5	-	3	0.24
	集団検診	男	1,067	983	84	57	67.9	9	37	3	6	-	2	0.19
		女	2,406	2,258	148	103	69.6	33	46	3	19	-	2	0.08
個別検診	男	5,524	4,992	532	396	74.4	61	250	32	36	2	15	0.27	
	女	7,732	7,120	612	463	75.7	135	208	53	48	1	18	0.23	
中央	男	4,770	4,336	434	315	72.6	48	204	25	27	1	10		
	女	7,606	7,019	587	433	73.8	128	188	48	51	1	17		
国府	男	366	331	35	30	85.7	3	21	2	3	1	-		
	女	547	502	45	37	82.2	12	19	4	2	-	-		
福部	男	124	111	13	7	53.8	2	3	-	2	-	-		
	女	161	151	10	6	60.0	2	2	-	2	-	-		
河原	男	316	291	25	20	80.0	5	12	1	-	-	2		
	女	419	390	29	22	75.9	8	9	-	4	-	1		
用瀬	男	174	161	13	9	69.2	1	7	-	1	-	-		
	女	243	230	13	10	76.9	3	5	-	2	-	-		
佐治	男	112	94	18	12	66.7	1	8	2	1	-	-		
	女	155	141	14	9	64.3	1	6	1	1	-	-		
気高	男	308	275	33	26	78.8	3	13	3	4	-	3		
	女	426	396	30	21	70.0	8	9	-	4	-	-		
鹿野	男	152	136	16	11	68.8	4	6	-	1	-	-		
	女	192	182	10	10	100.0	2	4	2	-	-	2		
青谷	男	269	240	29	23	79.3	3	13	2	3	-	2		
	女	389	367	22	18	81.8	4	12	1	1	-	-		

※検診対象者数 59,003人

②発見がん患者受診状況

種別	項目	人数			初回受診				非初回受診			
		男	女	計	男	女	計	発見率	男	女	計	発見率
進行がん		4	10	14	2	5	7	0.04	2	5	7	0.04
早期がん		13	10	23	5	3	8	0.05	8	7	15	0.09
計		17	20	37	7	8	15	0.09	10	12	22	0.13

※非初回は、過去3年間に受診歴のある者をいう。

* 大腸がん検診の受診率は昨年度と比較すると2.9ポイント減少した。

* 精検受診率が74.1%と低いことが課題である。今後も引き続き精検対象となった場合に、精検受診の必要性を伝える等、啓発に取り組み、精検受診率の向上に努めたい。

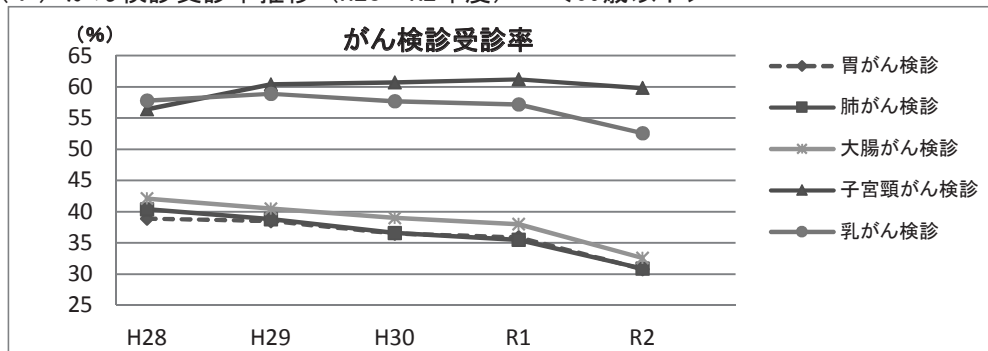
③無料クーポン事業：再掲

(単位：人)

	一次検診					精密検査										がん発見率
	(受診者数) (受診率)	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果								
		初回受診者数	初回の割合 受診者	異常なし	要精検 (要精検率)			異常なし	ポリプ	大腸憩室	その他	がん疑い	がん			
合計	1,352 (11.0)	646	47.8%	1,277	75 (5.55)	55	73.3	22	23	1	6	-	3	0.22		
全市	41歳	246	151	61.4%	234	12	9	75.0	6	2	-	1	-	-	-	
	46歳	204	92	45.1%	190	14	8	57.1	5	2	-	1	-	-	-	
	51歳	212	100	47.2%	205	7	4	57.1	1	2	-	-	-	1	0.47	
	56歳	256	110	43.0%	240	16	14	87.5	4	7	-	2	-	1	0.39	
	61歳	434	193	44.5%	408	26	20	76.9	6	10	1	2	-	1	0.23	
	集団検診	395	171	43.3%	375	20	12	60.0	4	5	-	2	-	1	0.25	
	個別検診	957	475	49.6%	902	55	43	78.2	18	18	1	4	-	2	0.21	

※検診対象者数：12,343人

(7) がん検診受診率推移 (H28~R2年度) <69歳以下>

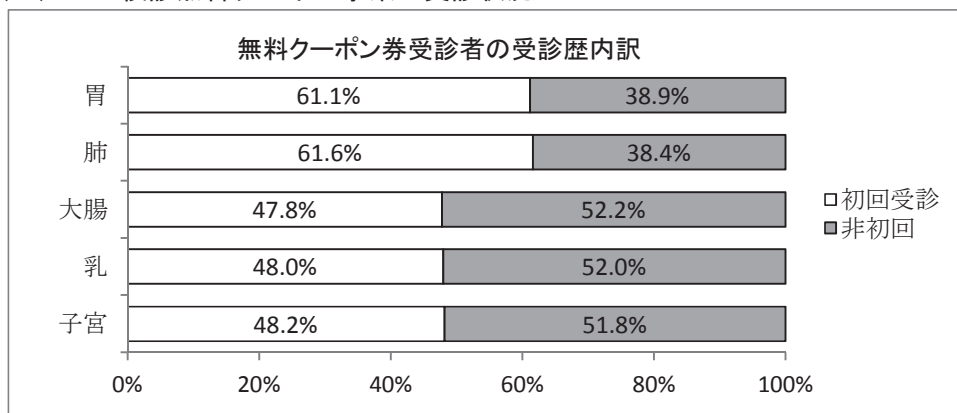


	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
胃がん検診	38.9	38.5	36.5	35.9	30.8
肺がん検診	40.4	38.8	36.6	35.5	30.9
大腸がん検診	42.1	40.5	39.0	38.0	32.6
子宮頸がん検診	56.4	60.4	60.7	61.2	59.8
乳がん検診	57.8	58.9	57.7	57.2	52.6

※子宮頸がん、乳がん検診の受診率は2年に1回受診した人の割合

*前年度と比較して、全ての検診において受診率が減少した。

(8) がん検診無料クーポン事業の受診状況



*無料クーポン券の受診者の約半数が初回受診者であり、特に、胃がん、肺がん検診は共に60%を超え、無料クーポン券が受診のきっかけになっていると考える。

(9) 子宮がん検診

(令和3年6月30日現在)

①頸部がん検診結果(一次検診及び精密検査結果)

(単位：人)

	一次検診			精密検査						がん発見率	
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果					
		異常なし	(要精検率)			異常なし	その他	がん疑い	がん		
合計	9,469 (34.1)	9,288	181 (1.91)	159	87.8	68	32	57	2	0.02	
全市	20歳～	779	743	36	34	94.4	17	5	12	-	-
	30歳～	1,900	1,819	81	72	88.9	27	14	30	1	0.05
	40歳～	2,030	1,988	42	33	78.6	14	9	9	1	0.05
	50歳～	1,516	1,501	15	13	86.7	6	2	5	-	-
	60歳～	1,872	1,866	6	6	100.0	3	2	1	-	-
	70歳～	1,206	1,205	1	1	100.0	1	-	-	-	-
	80歳～	166	166	-	-	-	-	-	-	-	-
	集団検診	2,799	2,765	33	28	84.8	10	8	10	-	-
	個別検診	6,670	6,516	148	131	88.5	58	24	47	2	0.03
中央	7,334	7,184	150	130	86.7	56	28	44	2	-	
国府	491	479	12	11	91.7	5	1	5	-	-	
福部	168	166	2	2	100.0	1	-	1	-	-	
河原	320	316	4	3	75.0	2	-	1	-	-	
用瀬	189	187	2	2	100.0	-	-	2	-	-	
佐治	107	107	-	-	-	-	-	-	-	-	
気高	379	372	7	7	100.0	4	2	1	-	-	
鹿野	183	182	1	1	100.0	-	-	1	-	-	
青谷	298	295	3	3	100.0	-	1	2	-	-	

※検診対象者数 41,588人

※受診率は、2年に1回受診した人の割合。

②無料クーポン事業：再掲

(単位：人)

	一次検診					精密検査							がん発見率	
	受診者数 (受診率)	(再掲)			結果		受診者数	精検受診率	結果					
		初回受診者数	初回の割合	H P V 実施者数 検査	異常なし	(要精検率)			異常なし	その他	がん疑い	頸がん		
合計	2,286 (23.2)	1,101	48.2%	613	2,230	56 (2.45)	48	85.7	21	11	16	-	-	
全市	21歳	91	80	87.9%	87	4	4	100.0	3	1	-	-	-	
	26歳	203	148	72.9%	193	10	10	100.0	8	1	1	-	-	
	31歳	268	150	56.0%	268	255	13	10	76.9	4	3	3	-	-
	36歳	345	173	50.1%	345	334	11	10	90.9	2	2	6	-	-
	41歳	329	115	35.0%	322	7	6	85.7	3	1	2	-	-	
	46歳	280	114	40.7%	273	7	4	57.1	1	2	1	-	-	
	51歳	225	101	44.9%	222	3	3	100.0	-	1	2	-	-	
	56歳	233	89	38.2%	233	-	-	-	-	-	-	-	-	
	61歳	312	131	42.0%	311	1	1	100.0	-	-	1	-	-	
	集団検診	523	254	48.6%	67	516	7	6	85.7	2	2	2	-	-
個別検診	1,763	847	48.0%	546	1,714	49	42	85.7	19	9	14	-	-	

※検診対象者数：9,838人

* 子宮がん検診の受診者数は20～30代は増加したが、50～60代は大幅に減少した。2年に1回の受診率は、前年度34.7%より0.6ポイント減少であった。

* 精検受診率は、昨年度と比較して5.2ポイント増加した。精検の受診勧奨に継続して取り組み、受診率向上に努めたい。

*HPV検査結果

	細胞診結果			
	異常なし	要精検	異常なし	要精検
	HPV (-)		HPV (+)	
31歳	233	4	23	8
36歳	315	1	20	9
合計	548	5	43	17

* HPV陽性者への事後フォローを丁寧に実施し、早期発見につなげたい。

(令和3年6月30日現在)

③子宮体部がん検診

(単位:人)

	体部がん検診対象者	受診者数	結果					未把握者	
			異常なし	内膜症	その他	(がん発見率)	検査できず		
合計	404	359	350	4	1	-	4	45	
全市	20歳～	12	5	5	-	-	-	-	7
	30歳～	94	88	88	-	-	-	-	6
	40歳～	178	159	153	3	-	-	3	19
	50歳～	82	74	73	1	-	-	-	8
	60歳～	27	24	24	-	-	-	-	3
	70歳～	9	8	6	-	1	-	1	1
	80歳～	2	1	1	-	-	-	-	1
	集団検診	51	22	19	-	-	-	3	29
	個別検診	353	337	331	4	1	-	1	16
中央	334	292	283	4	1	-	4	42	
国府	17	17	17	-	-	-	-	-	
福部	4	3	3	-	-	-	-	1	
河原	9	9	9	-	-	-	-	-	
用瀬	12	11	11	-	-	-	-	1	
佐治	2	2	2	-	-	-	-	-	
気高	12	11	11	-	-	-	-	1	
鹿野	5	5	5	-	-	-	-	-	
青谷	9	9	9	-	-	-	-	-	

* 体部がん検診の受診率は88.9%で、前年度より1.0ポイント増加した。
未把握者への受診勧奨を重点的に行い受診率向上に努めたい。

(10) 乳がん検診

(令和3年6月30日現在)

①一次検診及び精密検査結果 (マンモグラフィのみ)

(単位:人)

	一次検診			精密検査						がん発見率	
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果					
		異常なし	要精検 (要精検率)			異常なし	その他	がん疑い	がん		
合計	5,239 (29.1)	4,967	272 (5.19)	249	91.5	104	127	-	18	0.34	
全市	40歳～	1,297	1,190	107	96	89.7	39	52	-	5	0.39
	50歳～	1,171	1,108	63	59	93.7	26	31	-	2	0.17
	60歳～	1,530	1,474	56	52	92.9	22	23	-	7	0.46
	70歳～	1,074	1,034	40	36	90.0	15	18	-	3	0.28
	80歳～	167	161	6	6	100.0	2	3	-	1	0.60
	集団検診	2,117	1,985	132	115	87.1	48	62	-	5	0.24
	個別検診	3,122	2,982	140	134	95.7	56	65	-	13	0.42
中央	4,002	3,789	213	192	90.1	75	101	-	16		
国府	273	255	18	16	88.9	7	8	-	1		
福部	98	95	3	3	100.0	2	1	-	-		
河原	198	186	12	12	100.0	7	4	-	1		
用瀬	118	112	6	6	100.0	3	3	-	-		
佐治	72	69	3	3	100.0	3	-	-	-		
気高	210	206	4	4	100.0	1	3	-	-		
鹿野	93	89	4	4	100.0	3	1	-	-		
青谷	175	166	9	9	100.0	3	6	-	-		

※検診対象者数 35,981人 ※受診率は、2年に1回受診した人の割合。

②無料クーポン事業:再掲

(単位:人)

	一次検診				精密検査						がん発見率		
	受診者数 (受診率)	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果					
		初回受診者	初回の割合	異常なし	要精検 (要精検率)			異常なし	その他	がん疑い		がん	
合計	1,366 (22.3)	655	48.0%	1,272	94 (6.88)	86	91.5	41	42	-	3	0.22	
全市	41歳	246	146	59.3%	231	15	12	80.0	5	7	-	-	-
	46歳	275	134	48.7%	244	31	28	90.3	13	14	-	1	0.36
	51歳	235	114	48.5%	214	21	20	95.2	10	10	-	-	-
	56歳	260	117	45.0%	250	10	10	100.0	4	5	-	1	0.38
	61歳	350	144	41.1%	333	17	16	94.1	9	6	-	1	0.29
	集団検診	538	257	47.8%	494	44	39	88.6	17	21	-	1	0.19
	個別検診	828	398	48.1%	778	50	47	94.0	24	21	-	2	0.24

※検診対象者数 : 6,115人

③発見がん患者受診状況

(単位:人)

	人数	初回受診		非初回受診	
		人数	発見率	人数	発見率
がん	18	11	0.21	7	0.13

※非初回とは、過去3年間に受診歴のある者をいう。

- * 乳がん検診の受診者は、前年度より812人と大幅減少した。2年に1回の受診率は前年度より2ポイント減少した。
- * 発見がん患者は18人、そのうちの約8割が好発年齢である40～60代であった。今後も受診啓発等の対策を充実させ、早期発見につなげたい。

(11) 脳ドック

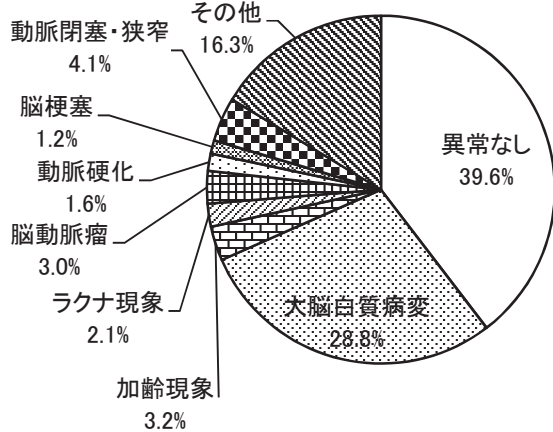
(令和3年6月30日現在)

①一次検査結果 (内訳：国保521人 一般42人)

(単位：人)

	受診者数	結 果					
		異常なし	要指導	経過観察	要精検	要医療	治療中
合計	563	223	218	73	45	1	3
全市	40歳	12	12	-	-	-	-
	45歳	9	8	1	-	-	-
	50歳	21	12	5	2	2	-
	55歳	20	11	6	3	-	-
	60歳	30	12	13	3	2	-
	65歳	137	62	51	15	8	1
	70歳	334	106	142	50	33	1

全受診者における異常の発見率



- * 前年度と比較し、受診者数は102人減少した。受診者の約8割は65歳以上が占めている。40～50代の若年者へも検査の目的を伝え、啓発に努めたい。
- * 全受診者のうち、脳動脈瘤が17人に発見されており、早期発見につながった。

②精密検査結果 (内訳：国保41人 一般1人)

(単位：人)

	受診者数	今 後 の 方 針						
		治療不要	薬物治療	経過観察	手術	他医療機関紹介	その他	
合計	42	2	5	29	1	2	3	
全市	40歳	-	-	-	-	-	-	
	45歳	-	-	-	-	-	-	
	50歳	2	-	-	2	-	-	
	55歳	-	-	-	-	-	-	
	60歳	2	-	-	1	-	-	1
	65歳	6	-	-	4	1	-	1
	70歳	32	2	5	22	-	2	1

	異常なし	診 断 名							
		脳動脈瘤	無症候性脳梗塞	無症候性脳出血	脳腫瘍	大脳白質病変	血管狭窄	動脈硬化	その他
合計	1	9	4	-	3	1	8	2	14
全市	40歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	45歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳	-	1	-	-	-	-	-	1
	55歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳	-	1	-	-	-	-	-	1
	65歳	-	2	1	-	1	-	1	1
	70歳	1	5	3	-	2	1	7	2

- * 平成30年度より、精検紹介状を用いて精検医療機関への紹介を開始したが、総合病院は精検受診につなげる体制が整っており、令和2年度より精検受診状況の照会に変更した。その結果、93.3%が精検受診につながった。
- * 精検受診により9人が脳動脈瘤と診断され、うち1人は脳神経外科紹介となり早期治療につながった。

(12) 骨粗しょう症予防検診

(令和3年6月30日現在)

一次検診及び精密検査結果

(単位:人)

	一次検診結果				精密検査			
	受診者数	結果			受診者数	結果		
		異常なし	要指導	要精検		異常なし	その他	骨症粗しび疑い
合計	882	439	353	90	24	5	4	15
割合 (%)		49.8	40.0	10.2		20.8	16.7	62.5
全市	25～29歳	3	3	-	-	-	-	-
	30～39歳	16	11	5	-	-	-	-
	40～49歳	122	106	16	-	-	-	-
	50～59歳	151	104	44	3	-	-	-
	60～69歳	276	109	138	29	10	3	1
	70～79歳	269	88	135	46	14	2	3
	80歳以上	45	18	15	12	-	-	-
中央	515	281	189	45	14	5	1	8
国府	83	44	33	6	1	-	-	1
福部	33	11	17	5	1	-	-	1
河原	17	7	8	2	-	-	-	-
用瀬	40	13	19	8	-	-	-	-
佐治	37	15	17	5	1	-	1	-
気高	72	35	27	10	4	-	1	3
鹿野	32	9	18	5	1	-	-	1
青谷	53	24	25	4	2	-	1	1

*要指導者・要精検者は882人中443人(50.2%)であった。

(13) がん対策

がんによる死亡者の減少を目指して、学校や企業に出向いての健康教育、がん検診に関する普及啓発等を行った。

ア 出張がん予防教室 (単位:回)

区分	出張がん予防教室		
		学校	企業等
鳥取市	6	5	1
4町	1	1	-

イ がん検診推進パートナー企業 (単位:件)

区分	がん検診推進パートナー企業の認定件数(新規)	がん検診推進パートナー企業訪問件数
鳥取市	261(-)	4
4町	31(-)	-

ウ 東部圏域がん対策推進のための会議等の開催

- ・東部圏域がん対策担当者連絡会(令和3年3月18日)
- ・鳥取市がん対策推進会議及び鳥取県東部圏域がん対策推進会議合同会議(令和3年3月18日)

(14) がん患者社会参加応援事業(ウィッグ・補正下着購入費助成)(単位:件)

区分	補助合計		
		ウィッグ	補正下着等
鳥取市	73	57	16
4町	9	7	2

(15) 健康教育・健康相談

[目的]

生活習慣病の予防や介護予防を図るために、健康の増進に関する正しい知識を普及、心身の健康に関する個別の相談及び必要な助言・指導を行うことで、健康の保持増進に資する。

①健康教育（地域ふれあい事業、精神保健事業、歯科保健事業、栄養改善事業は除く）

種別	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
病態別 〔・糖尿病・高血圧 ・心臓病・肥満〕	回数	45	8	5	5	5	1	8	2	4	7
	延人員	434	119	45	63	33	5	69	15	9	76
生活習慣病予防 ・その他	回数	42	13	1	7	1	1	5	-	11	3
	延人員	789	241	5	92	26	22	93	-	275	35
ロコモティブ シンドローム (運動器症候群)	回数	18	1	1	-	2	14	-	-	-	-
	延人員	218	12	11	-	43	152	-	-	-	-
計	回数	105	22	7	12	8	16	13	2	15	10
	延人員	1,441	372	61	155	102	179	162	15	284	111

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康教育の回数や人数が昨年度と比較し減少傾向となっていると考えられる。

・ブロックでの実施状況

(糖尿病予防教室、フォローアップ教室、友の会交流等、ブロックで実施したものを掲載)

種別	内訳	計	中央	福部・鳥取東	河原・用瀬・佐治	気高・鹿野・青谷
病態別 〔・糖尿病・高血圧 ・心臓病・肥満〕	回数	6	-	-	-	3
	延人員	69	-	-	-	22

・介護予防事業 実施状況（再掲）

介護予防事業 〔ロコモ・フレイル 認知症〕	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	回数	97	34	11	10	5	1	1	1	19	12
	延人員	828	60	79	150	67	72	12	7	222	159

*高齢化に伴い生活習慣病予防に加えて介護予防教育の必要性は各地域で高くなっている。各地域の状況に応じて、地域包括支援センターなど関係機関と連携しながら取り組んでいくことが必要と考える。

②健康相談（地域ふれあい事業、精神保健事業、歯科保健事業、栄養改善事業は除く）

相談内容	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
重点健康相談	糖尿病	回数	3	-	-	3	-	-	-	-	-
		延人員	44	-	-	44	-	-	-	-	-
	高血圧	回数	2	1	-	1	-	-	-	-	-
		延人員	46	6	-	40	-	-	-	-	-
	骨粗鬆症	回数	3	1	-	-	-	2	-	-	-
		延人員	46	15	-	-	-	31	-	-	-
総合健康相談ほか	回数	45	6	2	9	-	9	16	2	-	1
	延人員	358	107	19	58	-	55	103	12	-	4
計	回数	53	8	2	13	-	11	16	2	-	1
	延人員	494	128	19	142	-	86	103	12	-	4

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康ひろばやイベント、公民館まつり等の中止により回数や人数の実績が減少していると考えられる。

【糖尿病予防に関する健康教育】

中央保健センター・鳥取東健康福祉センター・各総合支所では、健康増進法、とっとり市民元気プラン2016に基づき、特定保健指導非該当者への生活習慣病予防に重点的に取り組んでいる。その中でも特に糖尿病予防対策を重点活動として取り組んでいる。

①糖尿病予防教室

鳥取市の糖尿病の有所見者割合（予備群含）は毎年5割以上を占めており、糖尿病の発症及び重症化を予防することの重要性が示唆される。このことから、教室等によって健診結果から自らの健康状態を認識し、生活習慣を振り返る動機づけとなり、自らが行動変容できるように支援している。

	教室名	回数	実(延)人員	内容等
中央	血糖値を下げよう教室	半日2日間のコース (2回)	10 (20)	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の1日コースを半日2日間コースに変更し、食事やグループワークをなくして実施。保健師・栄養士の講話、健康運動指導士の講話・運動指導を実施。各自で立てた目標を発表してもらい、参加者全員で共有することで意欲向上につながった。教室終了後のアンケートでは、病態や食生活・運動の大切さについて全員理解できたと回答。食事や運動について、「できる所から始めたい」との声もあり、生活改善のきっかけになった。
福部		半日2日間のコース フォローアップ教室	8 (19)	保健師・栄養士の講話、健康運動指導士の講話・運動指導を実施。気付きや学びを個人ファイルに書き留める時間を設け、生活の振り返りや自分に合った目標を立てられるよう工夫した。フォローアップ教室を3か月後に実施。前回の教室で学んだことを復習し、糖尿病についての理解を深めることができた。また、グループワークでこれまでの取り組み状況について共有したことが、継続への意欲向上につながった。
鳥取東地域 ・国府 ・東中学校区 ・桜ヶ丘中学校区	元気アップ糖尿病予防教室	半日コース (2回) フォローアップ教室 (1回)	16 (30)	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来1日コースでしていた教室を2回に分け、フォローアップ教室を含め、全3回の回数で実施した。感染予防のため、従来行っていたグループワークも中止とした。対象者は69歳以下で、血糖値またはHbA1cが保健指導レベルの糖尿病の未治療者とした。（特定保健指導の対象者を除く）。特に自分の健診結果や食事の内容、摂取カロリーを振り返り、気づくことに重点を置いた管理栄養士、保健師の講話、運動指導を実施し、自分の身体の状態や生活を振り返り、自分なりの目標を立ててもらった。教室後には、糖尿病友の会の紹介も行い、新規で参加された方もあった。
南部地域 ・河原 ・用瀬 ・佐治	元気アップ糖尿病予防教室	半日コース (2回) フォローアップ教室 (1回)	18 (32)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため半日2日間のコースで実施。医師・管理栄養士、運動指導士による講話や実践で具体的な知識や生活習慣の見直し、改善方法について伝えた。参加者のアンケートから全員が分かりやすかったと回答。「糖尿病に自分も近いところにいると思いを生活を見直したい」との声もあり、現状を理解し生活習慣を振り返ることができていた。感染症予防のためグループワークの代わりに各自で目標を立て発表してもらったが、参加者全員で目標を共有することで意欲向上につながった。フォローアップ教室では糖尿病友の会と教室参加者で情報交換ができ、参考になったとの意見が多数あった。
西部地域 ・気高 ・鹿野 ・青谷	糖尿病予防教室	半日コース (2回) フォローアップ教室 (半日1回)	13 (37)	人数制限等の感染症予防対策を行い、実施した。医師・栄養士の講話や健康運動指導士の実践等を通して、糖尿病の基礎知識・生活改善の方法を学び、自分の健康状態を把握し、自分に合った目標が設定できた。アンケート等から、教室を受けた方が自身の体や生活習慣を振り返り、実際に、意識や行動を変化する機会となった。フォローアップ教室では、全員が参加し、第1・2回目の教室と同じグループ分けで振り返りが出来た。継続して、同じメンバーで目標や行動を共有することが出来、モチベーションの継続につながった。
計		13回	65 (138)	

②糖尿病食生活教室

	教室名	回数	実(延)人員	内 容 等
全市	糖尿病食生活教室	3回	34 (34)	空腹時血糖値、随時血糖値及びHbA1cのいずれかが高めの該当者及び既に医療機関において治療段階の人を中心に実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため実習は中止し講義形式で開催。
	糖尿病食生活教室 フォロー教室	1回	1 (1)	過去の糖尿病食生活教室の参加者を対象に食事療法の再確認や合併症予防を目的に実施。積雪の悪天候のため欠席者が多かった。
計		4	35 (35)	

③糖尿病予防友の会支援

目的：糖尿病の発症・重症化予防のための自主グループ

対象者：糖尿病予防教室修了者、会の目的に賛同する人

	友の会名称	内 容	回数	実(延)人員
中央	山茶花クラブ	情報交換・振り返り勉強会（健診結果から自分の状態を知る歯の健康等）、運動、ウォーキング、しゃんしゃん体操、健康チェック、血液検査等	9	19 (82)
福部	らっちゃん健康くらぶ		4	13 (37)
鳥取東	桜の会		5	15 (40)
河原	がんばろう会		11	12 (80)
用瀬	さつき会		9	14 (66)
佐治	やる気会		11	27 (86)
気高	糖尿病予防で健康づくり友の会		10	12 (60)
鹿野	コスモス会		9	4 (22)
青谷	糖尿病予防ともの会		9	16 (72)
計			77	132 (545)

*河原、佐治では、医師の講演も行われた。

*参加者同士が様々な活動を通して、意見交換が活発にできる場となっている。

・友の会交流会

支所	内 容	回数	延人員
・気高 ・鹿野 ・青谷	糖尿病予防ともの会（青谷）を中心に計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。		

【生活習慣病予防に関する健康教育】

全市	事 業 名	回数	延人員	内 容 等
全般	健康づくり講演会	1	-	鳥取市保健所 健康・子育て推進課、鳥取市立病院が共催で実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会ではなく、ケーブルテレビによる放送とし、「歯周病が及ぼす全身への様々な影響」というテーマで視聴方式で行った。
食生活	適塩講座	1	23	血圧の高い方及び適塩に関心がある方を対象に、適正な食塩摂取の方法や高血圧等の生活習慣病の予防について、鳥取市食育推進委員会と共催で、クイズや塩分測定など体験ブースのあるイベント方式を行った。
タバコ	世界禁煙デー啓発イベント			新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを中止。

【運動習慣に関する支援】

	事業名	回数	延人員	内容等
福部	バウンスポールクラブ福部	28	104	健康づくり地区推進委員会が活動を支援している。健康増進を目的に、中高年の運動習慣づくりの場としている。毎年大会に参加したり、他地区と交流会を行うなど、参加者にとってバウンスポールが楽しみとなっている。今後もバウンスポールの普及啓発支援をしていく。
河原	「てくてく歩こう会」グループ支援	6	80	毎月様々なコースのウォーキングを仲間と共に楽しみ、運動習慣の必要性を感じながら健康づくりに努めている。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため定例会や町外ウォーキング等中止になることもあったが、感染対策に気を付けながら活動できた。
用瀬	「流しびなあるこう会」グループ支援	13	131	定例の活動として町内ウォーキングを主にグラウンドゴルフや健康に関する学習会等も取り入れている。体力測定会も行い、会員の活動の成果の実感と意欲向上にもつながっている。会員数は増加しており、地域の自主グループとして活発的な活動ができています。
鹿野	続けてみようストレッチ!	10	255	年齢を問わずできるストレッチとして、毎回、多くの方が継続して参加されている。家庭で行える簡単なストレッチの紹介等もあり、新規参加者も増えている。

【健診（検診）結果説明会】

	回数	延人員	内容等
中央	2	31	地区で実施した集団健診受診者を対象に、健診結果の見方を説明し、栄養士・保健師等による健康診査（特定・高齢者）の結果説明・健康相談を実施した。
鳥取東	6	31	集団健診及び人間ドック・各医療機関での健康診査受診者、および希望者を対象に、管理栄養士、保健師等による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。
福部	1	8	集団健診受診者を対象に、栄養士・保健師による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。
用瀬	2	4	用瀬作業所の健康診査（特定・高齢者・健康診査）受診者を対象に、個別で結果説明及び健康相談を実施した。今後の健康状態や生活・食生活について一緒に考えてもらう場とした。
佐治			計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
気高	2	12	作業所利用者の肥満や生活習慣病の罹患が多いため就労継続支援B型作業所の健康診査受診者を対象に保健師による結果説明及び個別健康相談を実施。健康状態や生活習慣について考えてもらう機会とした。
鹿野			計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
青谷	1	4	初めての開催。集団健診及び人間ドック・各医療機関での健康診査受診者、および希望者を対象に、管理栄養士、保健師による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。今後、周知方法等の検討が必要。
計	14	90	

【グループ支援】

	事業名	回数	延人員	内容等
鹿野	にこにこ教室	17	170	認知症予防を目的として、毎月2回集まり、鳥取西地域キャラバン・メイト連絡会等の協力を得ながら、企画から運営まで自分たちで行っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、実施を検討した。情報交換や屋外研修、体操などを実施。認知症早期発見のためのタッチパネル式スクリーニングテストや体力測定等も毎年継続して実施している。

(16) 訪問指導

健診結果で保健指導が必要な人への生活習慣病予防を中心に、保健師・看護師・栄養士が訪問指導を実施した。

①生活習慣病予防

(単位：人)

区分	対象者		計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
要指導者	ハイリスク者※ ¹	～39歳	実	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
			延	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40～64歳	実	16	7	2	3	-	1	2	1	-	-
			延	16	7	2	3	-	1	2	1	-	-
		65～74歳	実	71	42	2	13	-	2	5	7	-	-
			延	78	44	2	13	-	2	10	7	-	-
	受診勧奨※ ²	～39歳	実	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			延	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40～64歳	実	125	125	-	-	-	-	-	-	-	-
			延	125	125	-	-	-	-	-	-	-	-
		65～74歳	実	362	362	-	-	-	-	-	-	-	-
			延	362	362	-	-	-	-	-	-	-	-
保健指導※ ³ 他	～39歳	実	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		延	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40～64歳	実	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		延	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65～74歳	実	9	6	1	-	-	-	1	-	-	1	
		延	11	7	2	-	-	-	1	-	-	1	
計	実	589	548	5	16	0	3	8	8	0	1		
	延	600	553	6	16	0	3	13	8	0	1		

※¹ハイリスク者：健診の結果、血圧や脂質、血糖などに高度の異常所見を認め、受療や生活習慣の改善が特に必要な者。

※²受診勧奨該当者、※³保健指導等該当者：「標準的な健診、保健指導プログラム（厚労省）」に基づく基準による対象者

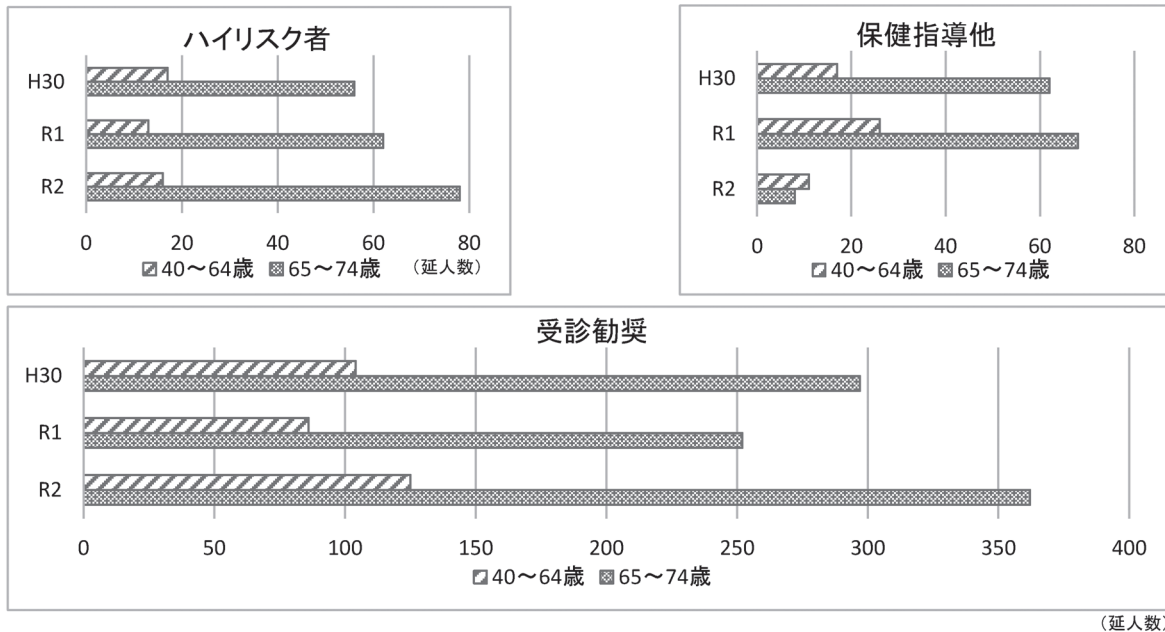
*年度当初は新型コロナウイルス感染症発生に伴い、対面での訪問指導を制限していたが、年度中頃より感染対策を図ったうえで、訪問指導を開始した。

②その他（閉じこもり予防・介護家族者・寝たきり者・認知症の者等）

(単位：人)

40～64歳	実	6	65～74歳	実	7	75歳以上	実	3
	延	20		延	14		延	9

【訪問指導件数年次推移】 平成30年～令和2年度



*令和2年度から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」が開始となり、74歳までの訪問指導の体制の充実が図られ、訪問件数が増加した。

4 栄養改善事業

[目的]

健康づくりの基礎となる食生活について、ライフステージに応じた正しい知識の普及を図ることにより、正しい食生活を実践できるように支援し、市民の健康の保持増進につなげる。

(1) 母子栄養改善事業

①健康診査時栄養相談

区分	6か月児	1歳6か月児	3歳児	計
回数	56	53	54	163
延人員	1,309	1,311	1,413	4,033

②健康教育

区分	離乳食講習会	アトピーっ子教室	幼児歯科教室	計
回数	38	1	2	41
延人員	459	8	22	489

③食育教室

区分	子育てサークル	幼児食教室	保育園・幼稚園	小・中・高等学校	その他	計
回数	19	2	1	1	1	24
延人員	113	30	140	14	12	309

④健康相談及び訪問指導

相談内容	離乳食	幼児食	授乳	間食(補食)	生活リズム	生活リズム	計
来所	延人員 83	40	-	2	-	2	127
電話	延人員 112	19	6	1	1	4	143

区分	離乳食講習会後の相談	赤ちゃんサロン後の相談	幼児食教室・サークル後相談	その他母子事業相談	訪問指導
回数	36	11	9	4	-
延人員	182	40	17	23	23

(2) 成人栄養改善事業

①健康教育

(地域別)

区分	合計		中央		福部		鳥取東		河原		用瀬		佐治		気高		鹿野		青谷	
	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習
生活習慣病	3	65	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
糖尿病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高血圧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
脂質異常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
骨粗鬆症	1	17	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高齢者栄養	10	193	4	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症予防	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-
その他	1	13	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	16	301	6	-	-	-	8	-	-	1	17	-	-	-	-	-	1	13	-	-

*区分の上欄は延回数、下欄は延人員

(5) 食育推進、食品表示相談等

食育関係者研修会、食品表示講習会の開催、食品表示法、健康増進法に基づいた食品の適切な広告・表示に関する相談に対応する。

①食品表示関係

(単位：件)

区分	食品表示相談	食品表示指導	立入指導
鳥取市	150	149	31
4町	22	22	2

うち、健康増進法に基づいた相談・指導件数(再掲) (単位：件)

区分	誇大表示相談	指導	立入指導
鳥取市	25	22	14
4町	3	3	2

(単位：件)

区分	相談受付食品数	指導・助言件数	主な指導・助言の概要
食品表示法 (栄養成分表示、機能性表示食品)	302	194	・食品表示基準に基づく栄養成分表示を行うこと。 ・食品表示基準に基づく栄養成分表示に修正すること。
健康増進法 (特別用途食品、誇大表示等)	72	44	・虚偽誇大表示のおそれがあるため、修正すること。 ・健康保持増進効果等の表示について、科学的根拠を持って事実に基づく表示を行うこと。

食品表示研修会

(単位：人)

	参加人数	内容等
第1回	43	加工食品の食品表示についての講話と演習 終了後の相談等
第2回	54	

②食育地域ネットワーク強化事業

県民の健全な食習慣の定着等を推進するため、幅広い分野の食育実践者同士のネットワークづくり、資質向上、食育活動の地域への定着等を図る。

- ・令和2年度東部圏域食育関係者研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

(6) 特定給食施設等指導等

健康増進法に基づく特定給食施設(学校給食センター、老人福祉施設等)等に対し、栄養管理及び衛生管理の見地から必要な指導及び助言を行い、利用者の栄養状態の改善及び健康増進を図る。

①対象施設の選定方針

《対象施設》「鳥取市健康増進法施行細則」及び「鳥取市特定給食施設等栄養管理指導実施要綱」に基づく届出により、把握している特定給食施設及びその他の給食施設。

《選定基準》 新規届出施設、管理栄養士・栄養士未配置施設、新任管理栄養士・栄養士のみの施設、過去の指導事項多数の施設、長期巡回未実施の施設
※病院については、医療法により、立入検査の対象となった施設

②指導監査実施体制

- ・栄養指導員(管理栄養士) 4名

③当年度重点指導監査事項

- ・栄養管理について、対象者の把握、計画、実施、評価等が適切に行われているか(PDCAに基づく栄養管理)状況を確認する。

(令和3年3月31日現在)

区分	特定給食施設数 (1回につき100食以上)	その他の給食施設数 (1回につき50食以上)
鳥取市	86施設	35施設
4町	16施設	7施設

④巡回指導の推移（4町施設含む）

年度	平成30年	令和元年	令和2年
届出数	146施設	143施設	146施設
巡回施設数	35施設	50施設	51施設
指導件数	48	67	123
助言件数	67	72	144

(ア) 巡回指導の状況

(単位：件)

区分	巡回指導数	改善指導事項		主な改善指導事項の概要
		施設数	指導項目数	
特定給食施設	34	34	87	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士又は栄養士の配置について（学校×2件、児童福祉×3件） ・食事提供における施設利用者状況の定期的な把握、栄養管理、品質管理及び評価の実施について。（学校×22件、介護老人保健×2件、介護医療院×1件、老人福祉×1件、児童福祉×15件） ・利用者の状況に配慮した献立作成について。（介護老人保健×1件、児童福祉×2件） ・献立表の掲示、栄養成分表示等による利用者への情報提供について。（学校×8件、介護老人保健×1件、児童福祉×8件） ・献立表その他必要な帳簿等の適正な作成及び備え付けについて。（学校×7件、児童福祉×14件） ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）その他関係法令の定めによる衛生管理の実施について。（※助言76件） ・災害時の体制及び備蓄等について。（※助言9件）
その他の給食施設	17	17	36	<ul style="list-style-type: none"> ・特定給食施設に準じた指導内容（学校×6件、介護医療院×2件、老人福祉施設×5件、児童福祉×19件、社会福祉×4件） ※助言59件

※ 助言は国通知の内容について行ったものであるため、指導件数には含まない。

(イ) 研修会の開催

- ・令和2年度鳥取市特定給食施設等栄養管理実務者研修会
令和3年2月15日（月）、鳥取市役所本庁6階第5～8会議室
内容：テーマ「東部圏域栄養管理情報連携サポート事業について」
講演、行政説明、グループワーク
参加者：特定給食施設等で栄養管理を行う管理栄養士・栄養士及び事務局等49名
（参加者内訳：市28名、4町12名、栄養管理サポート事業ワーキング部会5名、事務局4名）

(ウ) 東部圏域栄養管理情報連携サポート事業

- ・ワーキング部会の開催 年4回
（第1回：7月27日、第2回：10月23日、第3回：12月18日、第4回：令和3年3月17日）
参加者：病院、介護老人保健施設及び老人福祉施設の管理栄養士5名、事務局4名 計9名
- ・検討会の開催 年2回
（第1回：11月20日、第2回：令和3年3月23日）
参加者：東部医師会、東部歯科医師会、言語聴覚士会、作業療法士会、看護協会、介護支援専門員連絡会、在宅医療介護連携推進室、市長寿社会課、中央包括支援センター、ワーキング部会委員5名、市保健所長、事務局4名 計19名
- ・実態調査の実施 調査期間：令和2年8月3日～17日
内容：①「療養者の栄養管理情報提供に関する調査」
対象施設：東部圏域内医療機関・介護保険施設 54施設 回答率：98%
②「在宅療養高齢者の栄養・食生活支援に関する課題の調査」
対象施設：東部圏域内介護・看護関連事業所 138事業所 回答率：76%
- ・事業ツール作成（栄養管理連絡票、食形態対応マップ、各施設食形態対応一覧表）

(7) 国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査の実施状況

令和2年度中止

(8) その他

① 東部圏域行政管理栄養士栄養改善業務検討会

1市4町の行政栄養士が圏域や地域の課題に対し、栄養改善および食育推進活動が適切かつ円滑に実施できるよう、グループワークや情報交換を行い、技術的支援を行う。

・令和2年5月22日(金)中止 ・9月11日(金) ・令和3年2月12日(金) 計2回実施
内容：大規模災害時における栄養・食生活支援活動について(ケースメソッド、アクションカード等)

(9) 第3次鳥取市食育推進計画の策定および推進について

1 計画の概要

食育基本法に基づく「市町村食育推進計画」です。「第4期鳥取市健康づくり計画 とっとり市民元気プラン 2021」の分野別計画であり、本市における食育推進関係各課の計画や方針と連携をとりながら市民と協働で推進していくものと位置付ける。

2 計画の期間 令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの5年間

3 計画の基本理念及び基本方針

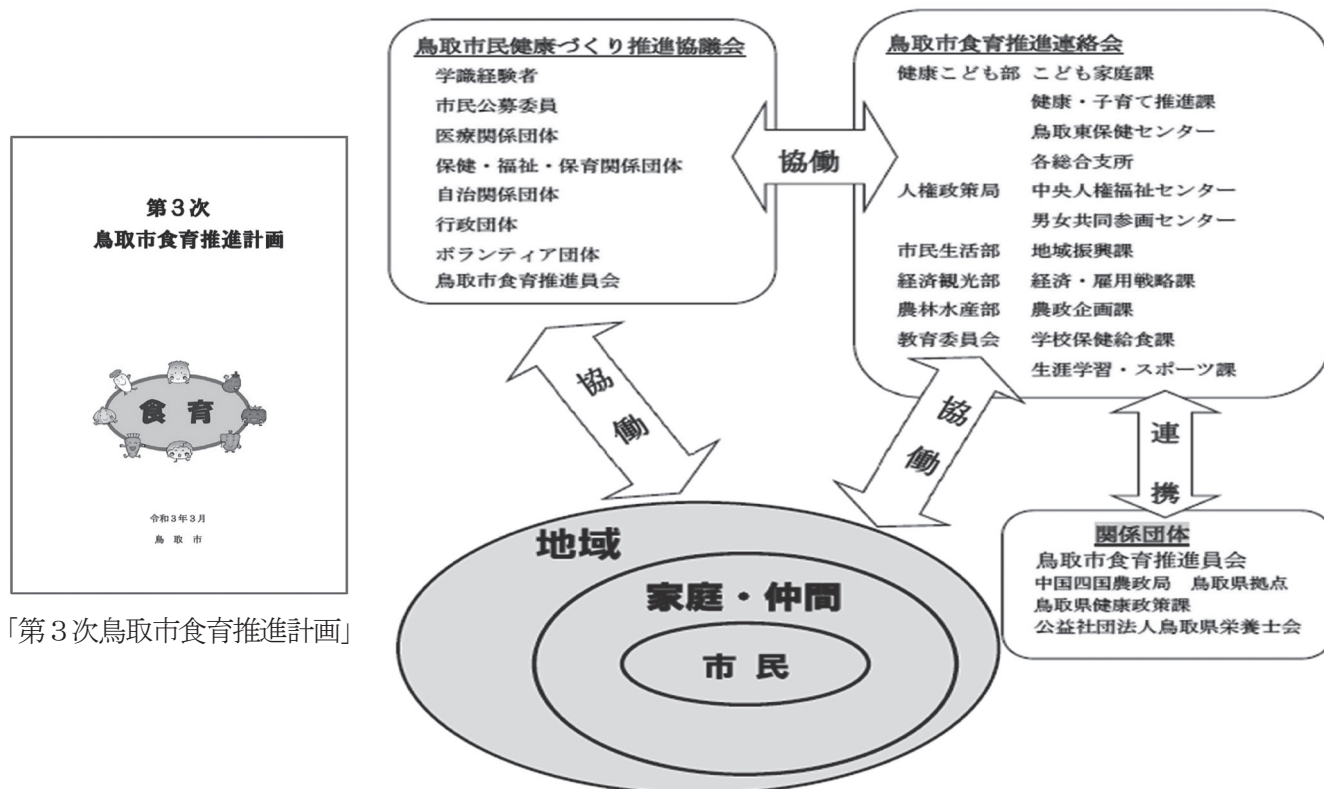
現計画から引き続き『自然の恵みに感謝し、「食」を通して健全な心身と豊かな人間性を育み、健康的な食習慣を身につけると共に、豊かな食文化を継承していく』を基本理念とし、

- (1) すべての年代において健康的な食習慣を身につける。
- (2) 食に関する体験を通し、食べ物に感謝する心を育て、食を楽しむ。
- (3) 食品の安全性について関心を持ち、地元産の食材を活用する。
- (4) 伝統的な食文化を継承する。

の4つの基本方針をもとに計画を推進する。

4 推進体制

本市の食育について、市民、家庭、地域を中心に、庁内食育関係各課がそれぞれのつながりのある保育園、幼稚園、学校、生産者、公民館などと協力、連携を図りながら、基本方針のもと、食育の推進が効果的に図れるよう取り組む。また、本計画での取組は鳥取市民健康づくり推進協議会の会議において協議し推進していく。



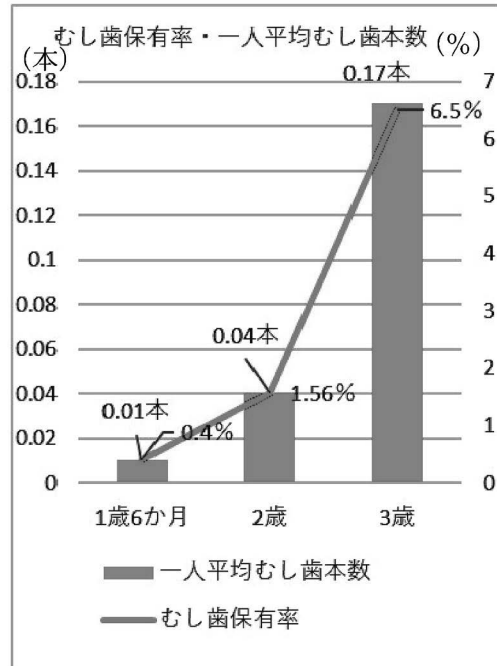
「鳥取市食育推進の体制図」

5 歯科保健事業

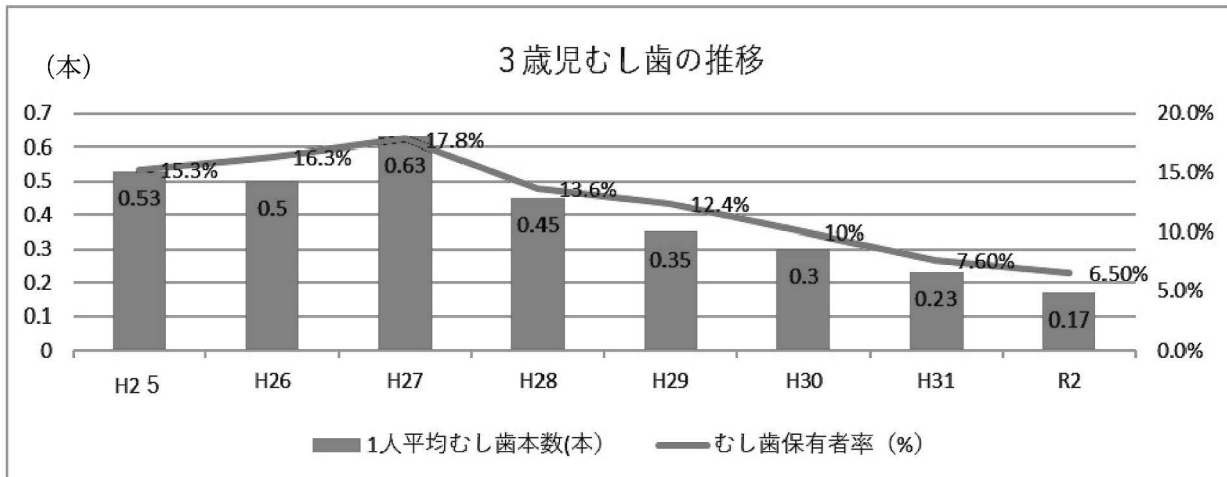
(1) 乳幼児歯科保健

① 幼児歯科健康診査実績 (全市対象)

		1歳6か月 児歯科健診	2歳児 歯科健診	3歳児 歯科健診
対象者数		1,374人	1,418人	1,441人
受診者数 (受診率)		1,366人 99.4 (%)	1,280人 90.2 (%)	1,423人 98.8 (%)
むし歯の 状況	むし歯 保有者数 (率)	6人 0.4 (%)	20人 1.56 (%)	93人 6.5 (%)
	むし歯総数	14本	45本	236本
	一人平均 むし歯本数	0.01本	0.04本	0.17本
	未処置歯数	14本	43本	209本
	処置歯数 (率)	0本 0.0 (%)	2本 4.4 (%)	27本 11.4 (%)
その他	咬合異常の ある者	109人	153人	162人
	軟組織疾患の ある者	111人	53人	37人



* むし歯保有者率は1歳6か月児歯科健診で0.4%、2歳児歯科健診で1.56%だが、3歳児歯科健診で6.5%と大幅に増加している。また、一人平均むし歯本数も2歳児0.04本から3歳児0.17本と増加している。



* 3歳児歯科健診のむし歯の状況は、一人平均むし歯本数、むし歯保有率ともに減少傾向にある。また、むし歯保有者の中には、一人で多数のむし歯を保有するケースもある。

② 6歳臼歯保護推進事業

内容：年長児とその保護者を対象に歯科医師による講話とブラッシング指導、口腔機能向上の話と遊びを集団指導にて実施。感染対策のため人数制限や実施内容の変更が多く、中止の園も見られた。

		幼稚園 (幼保育園含む)	保育園	計
対象施設数		18	39	57
実施施設数		13	29	42
実施対象児数		632	935	1,567
参加状況	年長児	410	564	974
	保護者他	155	419	574

③ その他の事業

事業名	回数	延人員	内容等
妊婦歯科健診	540件	540人	鳥取市に住居を有する妊婦を対象とした負担金無料の歯科健診。
母子歯科保健教育	18回	250人	地区の乳幼児サークル、子育て支援センターなどでむし歯予防の講話、ブラッシング指導の実施。

(2) 成人歯科保健

①ふしめ歯科検診推進事業（令和2年度受診者数）

	対象者	受診者数	受診率(%)	現在歯・喪失歯の状況（平均）						判定結果		
				現在歯数	健全歯数	未処置歯数	処置歯数	要補綴歯数	欠損補綴歯数	異常なし	要指導	要精検
全市	11,806	281	2.4	27.2	13.7	0.9	12.6	0.1	0.8	30	36	215
40歳	2,394	95	4.0	28.6	17.3	1.1	10.2	0.1	0.1	15	14	66
45歳	339	6	1.8	28.5	17.3	2.2	9.0	0.5	0.5	-	1	5
50歳	2,298	35	1.5	27.7	14.1	0.9	12.7	0.1	0.1	3	5	27
55歳	348	4	1.1	28.8	14.5	0.8	13.5	0.0	0.5	-	-	4
60歳	2,298	42	1.8	26.8	11.4	0.6	14.8	0.0	0.9	2	4	36
65歳	1,123	34	3.0	26.4	11.8	1.3	13.3	0.1	1.1	3	4	27
70歳	3,006	65	2.2	25.5	10.5	0.6	14.4	0.2	2.1	7	8	50

*受診率は低い状態である。受診者のうち77%の方が精密検査の必要があった。

②ふしめ歯科検診推進事業（令和元年度要精密検査者検査結果）

	対象者	受診者数		要精密検査者数	精密検査受診の有無別人数				未受診	未把握
		男	女		精密検査受診者					
					異常認めず	歯周病であった者	歯周病以外であった者			
40歳	2,462	20	60	58	9	35	3	11	-	
50歳	2,334	9	28	28	3	18	4	3	-	
60歳	2,442	19	43	48	3	37	2	6	-	
70歳	3,201	20	43	52	4	35	3	10	-	
計	10,439	68	174	186	19	125	12	30	-	

*精密検査受診者のうち67%が歯周病という結果であった。

③高齢者等歯科対策推進事業

在宅訪問調査	受診者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設訪問調査	実施回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*施設訪問調査は、7施設21回103人の申し込みがあったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

④口腔ケア研修会

演題：「見直そう！口腔ケア！」

講師：国民健康保険智頭病院 歯科 科長 久保 克行さん

参加者 15人（会場参加15名 オンライン参加12名）

*高齢者等施設職員対象の研修会であった。施設職員向けの高度な内容で、日頃から高齢者の口腔ケアに携わっている職員からは、大変勉強になったという感想があった。

⑤成人歯科健康教育・健康相談実施状況

	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
実施回数	14	6	1	-	-	-	2	1	1	3
参加人員	152	72	5	-	-	-	22	7	3	43

*健康教育は高齢者が対象の教育が中心であった。

⑥高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業（オーラルフレイル予防教室）

中学校区	合計	鳥取南	江山	湖東	用瀬
実施回数	12	3	2	4	3
参加人数	187	47	18	45	77
個別相談人数	37	4	6	17	10

*口腔機能の大切さを理解してもらいオーラルフレイル予防について学んだ。

6 歯科保健・糖尿病予防対策東部圏域保健事業

(1) 歯科保健対策等

歯科保健関係者研修会の開催等による歯科保健の推進と人材育成、歯と口腔の健康づくり推進事業として学校、事業所等に歯科医師、歯科衛生士を派遣し歯科健康教室を実施し、むし歯予防、歯周疾患の罹患率の低下を図る。

ア デンタルプロフェッショナル派遣事業

モデル校	実施日	内容
鳥取市立佐治小学校	令和2年11月6日(金)	・歯科医師による講話 (むし歯予防について)
	令和2年12月17日(木)	
岩美町立岩美北小学校	令和2年10月29日(木)	・歯科衛生士による歯科保健指導 (適切なブラッシング方法について等)
	令和3年1月21日(木)	

H30年度からR2年度まで実施し、学校歯科健診結果も改善の傾向にあった。また、3年間の実施を経て、児童がう蝕予防法について知識を習得し、自ら実践できるようになった。

イ 職域・地域における歯周疾患検診促進パイロット事業

項目	件数	実施日	内容
職域 (鳥取市内事業所)	1	令和2年7月8日(月)1回目	・生活歯援プログラムの実施 ・歯科医師による口腔内診査 ・歯科衛生士による歯科保健指導
		令和2年10月7日(月)2回目	
地域(鳥取市内)	1	令和2年12月7日(月)1回のみ	

職域については、事業所職員を対象とし実施した。本事業実施後には歯周病予防等の歯科保健対策への興味関心が高まった。また、地域については、山茶花クラブ会員を対象とし歯科保健指導を実施した。指導をしていく中で、糖尿病と歯周病について知識を習得し、歯周病予防を実践する動機づけとなった。

ウ 親子のよい歯のコンクール(一次審査)の実施状況

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ 歯科保健対策(8020運動)推進事業

事業名	開催日	内容
鳥取市歯科保健推進協議会及び東部圏域歯科保健推進協議会 合同会議	令和3年1月14日(木)	・鳥取県東部圏域における歯科保健の課題等について検討
東部地域歯科保健関係者研修会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

鳥取市歯科保健推進協議会及び東部圏域歯科保健推進協議会合同会議については、東部圏域1市4町の歯科保健事業の実施状況及び課題等を検討し、今後の東部圏域の歯科保健施策の方針について協議した。

(2) 糖尿病予防対策連携強化事業

糖尿病予備軍、糖尿病有病者等を取り巻く様々な問題についての知識を深め、関係機関が連携・協力し、課題等を検討することで、東部圏域において糖尿病予防対策の推進を図る。

事業名	開催日	内容
東部圏域糖尿病予防対策検討会	令和3年1月22日(金)	東部圏域における糖尿病予備軍・有病者等を取り巻く様々な課題等について検討。(26名参加)
東部圏域糖尿病予防対策研修会	令和3年1月22日(金) (検討会後に開催)	糖尿病予防対策検討会メンバー、市町の保健指導従事者を対象に事例検討を実施。(26名参加)

【糖尿病予防啓発活動】

事業名	開催日	内容
世界糖尿病デー・世界COPDデー啓発活動	令和2年11月9日(月)	イベント時にて糖尿病に関するクイズを実施(15名参加)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年のイベントよりも規模を縮小したことも影響しイベント参加者が少なかった。

7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

(1) 経緯

鳥取市は、令和2年4月の医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法の一部を改正する法律の施行に伴い、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため介護保険の地域支援事業と国民健康保険の保険事業を一体的に実施することとなった。

(2) 目的

慢性疾患や多病、認知機能の低下、社会的な孤立など多様な課題を抱えている高齢者の増加に伴い、保健分野、医療分野、介護分野の連携した取り組みが不可欠となってきている。

保健事業と介護予防事業を一体的に実施することで、多様化する高齢者の課題に迅速かつ効果的にアプローチし、高齢者が健康で自立した生活を送りながら安心して暮らせる地域社会を構築する。

(3) 推進体制

- 企画・調整等を担当する医療専門職：長寿社会課
- 地域を担当する医療専門職：健康・子育て推進課
- 庁内の連携：福祉部包括支援センター、保険年金課 等
- 庁外関係団体：鳥取市社会福祉協議会、鳥取県東部医師会、鳥取県後期高齢者医療広域連合 等

(4) 事業内容

令和2年度対象地域：4圏域（南中学校区、江山学園校区、湖東中学校区、用瀬小学校区）

*保健・医療・介護データシステム（KDB システム等）を用いて40歳以上の方の医療費を分析し、筋骨格疾患にかかる医療費の割合が高い地域を対象とした。

【高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）】

○低栄養防止事業

高齢者健康診査結果において、BMI18.5未満の人及び前年からの急激な体重減少がある方に対して訪問を実施し、対象者の個別性に応じた保健指導を実施する。

○健康状態不明者対策

介護、健診結果等の情報がなく、健康状態が不明な方に訪問を実施し、状態の把握及び必要時には各種サービスへつなぐ。

【通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）】

対象圏域で開催されているサロン等の通いの場にスタッフが出向き、フレイル予防の教育を実施する。

内容：体力測定、講話（歯科衛生士等）、健康相談 など

(5) 実績

【高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）】

総訪問件数		実	314
		延	498
再掲	低栄養防止	実	222
		延	403
	健康状態不明者	実	92
		延	95

<低栄養防止>

・体重は介入前より増加 29.1%、維持 49.3%、低下 21.6%。握力は介入前より増加 32.9%、維持 19.2%、低下 48.0%であった。

<健康状態不明者>

・訪問時不在者が多く、全体の実施率は 38.2%。対象者訪問時、健診・医療・介護を受けていない人がほとんどであった。また、その中に血圧が高い人が目立った地域があった。

【通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）】

- ・4圏域12か所の通いの場で、延べ631名（実222名）の健康状態を把握。
- ・後期高齢者の質問票と基本チェックリストを組み合わせた質問票の回答率は92.3%であり、対象者のフレイル状態の把握ができた。体力測定の結果からも87.2%に維持または改善が見られ、フレイルリスクが高い人の割合も11.9%から10.1%と減少していた。
- ・企画調整担当である長寿社会課との連携を中心に、庁内、庁外の関係機関との顔の見える関係づくりと多職種連携を図りながら実施していくことが必要。既存の資源等を活用しながら住民主体の取り組みに繋げていけるよう、引き続き工夫、検討を行っていく。

8 健康づくり普及啓発活動

第37回 鳥取市民健康ひろば

「乳幼児期から高齢者まで市民一人ひとりが生涯を通じてその人らしく健康で豊かな人生を送れること」を基本理念とし、第3期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2016」を推進し、市民が健康づくりの意識と意欲を高めることを目的に、例年、健康づくり講演会のほか、各種コーナーで健康相談等を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。

なお、予定されていた事業は以下のとおりである。

[日 時] 令和2年9月6日(日) 9:30~16:30 [場 所] とりぎん文化会館

[概 要]

コーナー名	内 容
特定健診コーナー	特定健康診査
医療相談コーナー	医療・歯科・薬・栄養相談、血糖・血圧・血管年齢・骨密度測定
イベントコーナー	健康づくり地区推進員活動紹介、食育推進員による試食・レシピ配布
体験コーナー	運動体験・健康機器体験（ロコモ予防・認知症予防）
ステージイベント	健診受診者啓発劇・しゃんしゃん体操・医療ミニ講演会・健康づくり講演会

9 地区組織活動

(1) しゃんしゃん体操普及員活動

平成18年から「介護予防」と「地域のふれあい」を目的としたしゃんしゃん体操を行っている。鳥取大学の研究によるとこの体操を継続して行くと、体力年齢の若返り効果につながる事が証明されている。また、平成27年度には認知症予防体操として「しゃんしゃんコグニサイズ」を考案。身体機能と認知機能を共に改善していけるよう、より多くの市民に普及していくために、今後も普及員を中心に各地域で活動していく。

①しゃんしゃん体操普及員新規養成数の推移 (人)

28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度
34	21	20	16	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②しゃんしゃん体操普及員連絡会・研修会

	回数	内容
三役会	2回（参加者延6人）	活動の振り返りと令和2年度の活動計画について等
普及員連絡会	総会（活動報告、活動計画について）は書面議決にて実施	
研修会・啓発活動（体操披露）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

③しゃんしゃん体操普及状況

		開催箇所	延開催箇所	実人員	延人員	主な普及対象者	普及場所
普及員の年間実績報告	単発	41	—	—	768	地区住民、デイサービス、サロン、老人会、施設入所者など	地区公民館、地区集会所、憩いの家、施設など
	継続	66	1,692	932	24,008		
	総計	107	1,692	932	24,776		

*新型コロナウイルス感染拡大防止によりイベントが中止となり、単発実施が前年度と比較し大幅に減少した。しかし、地区公民館や地区集会所等では、可能な範囲で少人数にて感染対策を取りながら取り組んでおり、継続実施は微減に留まった。

④介護予防測定

実施地区	参加人数	実施地区	参加人数	実施地区	参加人数
湖山西地区	11	大和地区	8	松保地区	11
城北地区	21	修立地区	15	鹿野地区	6
青谷地区	7	福部地区	11		

(2) 鳥取市民健康づくり地区推進員活動

・会員数 981人(会長1人、副会長3人、会計1人、常任理事6人、監査2人、理事41人) (令和2年4月1日現在)

① 地区健康づくり推進員会

各地区で計画立案し自主活動を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、会議や事業を中止したところもあった。開催の場合は、感染対策をとりながら規模を縮小して実施した。

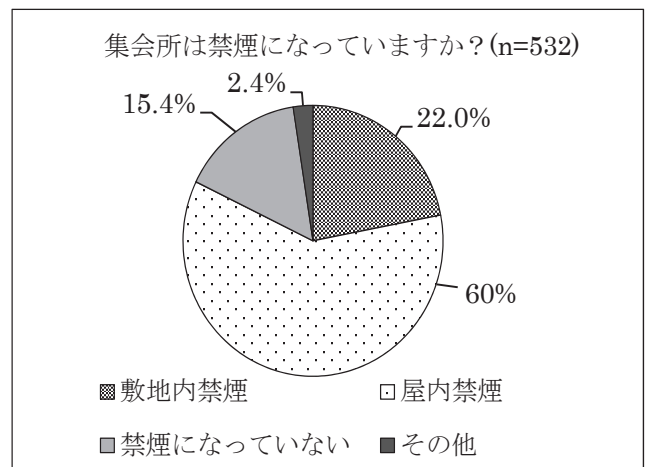
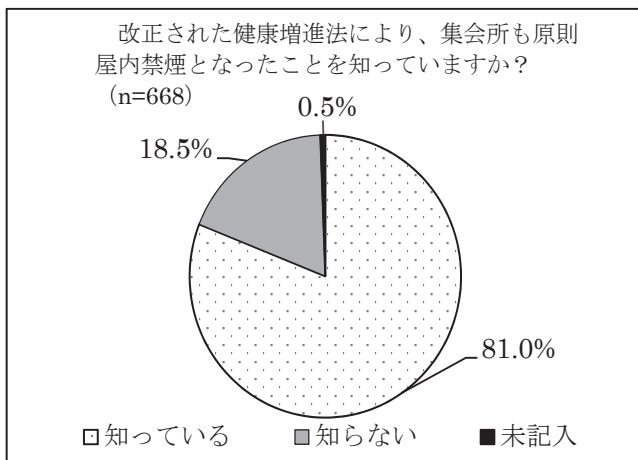
② 連絡協議会

	事業名	回数・実施日	内 容	参加者
会 議	三役会	5/27	常任理事会は中止し、第1回理事会は書面議決と決定	4人
		7/3	協議会活動の現状と中止等を確認、地区活動状況調査を実施する、常任理事会と理事会開催を予定	4人
		1/28	協議会事業について、委嘱状交付式開催中止決定	3人
	常任理事会	8/28、2/5	第2回、第3回理事会について	延19人
	理事会	開催中止	第1回理事会は書面議決とし、議案については承認された。	—
		10/21	地区活動の現状について、事業報告、ブロック情報交換	36人
		2/15	令和2年度協議会事業報告、令和3年度活動計画	36人
その他	年間 9回	健康ひろば実行委員会、健康づくり推進協議会、県関係会議	延9人	
事業検討委員会	たより編集委員会	1回	新型コロナウイルス感染拡大防止により発行中止	7人
	タバコ・アルコール対策委員会	6回	集会所禁煙状況アンケート調査の取組み	延47人
	健診受診率向上委員会	2回	受診率向上対策の取組み検討、地区での啓発活動の情報交換	延12人
	運動推進委員会	1回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止	10人
研修会	ブロック研修会	1回	(西部地域) 講演「いつまでも足腰をすこやかに」、グループワーク	12人
		—	(西地域を除く 7ブロック)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
	推進員研修	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—

【集会所禁煙状況アンケート調査結果】

調査期間 令和2年11月中旬～11月下旬

タバコ・アルコール対策委員会が中心となり、5年ぶりの調査を実施した。829町内会に調査用紙を配布。668町内会から回答があった。(回収率80.6%) そのうち532町内会に集会所があり、その集計結果をまとめた。



調査時は禁煙としていない施設においても、今回のアンケート調査をきっかけに禁煙にしたいと回答のあった施設もあった。今回の喫煙や受動喫煙について頂いた意見を参考に、今後の受動喫煙に関する情報提供や啓発のあり方を検討していきたい。また、町内集会所に受動喫煙等についてのチラシやポスターの配布等を行い、受動喫煙対策を推進していきたい。

(3) 鳥取市食育推進委員会

本市が実施する養成講座を受講、修了した推進員が「家庭からはじまる食育の輪」をスローガンに食を通じて生涯にわたって健康に過ごせる人を増やす活動を行っている。

内 容	支部名	全域	鳥取	国府	河原	用瀬	気高	鹿野	青谷	合計
	会員数	462	293	18	27	37	42	23	22	
総 会	月日	書面議決	書面議決	4月3日	4月2日	4月4日	4月6日	4月7日	4月8日	
	人数	42	25	13	23	22	25	12	18	180
スキルアップ研修	回数		13	1	1	1	1	中止	1	18
	人数		125	15	11	16	12	0	18	197

①教育研修・各地区伝達講習会

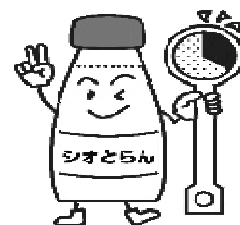
新型コロナウイルス感染拡大防止のため全日程中止とした。

②学童食育事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全日程中止とした。

③その他委託事業・協力事業

- ・鳥取市報「食」コーナー掲載
- ・びよんびよんネット「食育らくらくクッキング」
- ・適塩講座試食ブース
- ・冊子作成
 - 「食卓にのせたい一品レシピ集」(全域)
 - 「地元・郷土の味 思い出のレシピ集」(国府)
 - 「たっぷり野菜で健康レシピ集」(気高)
 - 「食の知恵～地産地消・伝統料理の学習～」(青谷)



「シオとらん」
鳥取市適塩イメージキャラクター

【事業紹介】

適塩講座 (体験ブース)

日 程: 令和3年3月2日(火) 2部制
会 場: 鳥取市役所本庁舎市民交流センター 2階 多目的室

血圧が高めな人や、減塩に関心のある人を対象に、適正な塩分摂取について周知を行い、高血圧症の予防、改善につなげることを目的に、健康・子育て推進課との共催事業として実施。
食育推進員と市栄養士とで、適塩クイズやインスタント食品の塩分測定などのブースを設け、食品に含まれる塩分について、参加者に実際に目で見て、体験をして、楽しみながら学んでいただくことができた。
生活習慣病予防のためには、日頃の食生活が重要であるため、今後も地域での活動に力を入れていく。

講座内容

食育推進員による適塩体験ブース
保健師による血圧測定コーナー
管理栄養士の講話
楽しく学べるパネル展示 など



【塩分測定コーナー】



【パネル展示】

(4) 鳥取市子育て支援ネットワーク 【活動報告】

- ①会議：全体会 2回 役員会 6回 開催
- ②子育て支援に関する情報提供
 - ・ 6か月児健診、1歳6か月児健診でのアンケート実施
 - ・ 子育て応援マップの作製
- ③健診ボランティア（1歳6か月児健診時）1～2名ずつのボランティアで実施
 - 中央：29回 実18人 延50人参加（登録者20人） 東：12回 実8人 延19人（登録者10人）
 - 研修交流会：令和3年1月29日 14人参加
- ④ひだまり（産後サロン） 11回 実135組 延292組

(5) ゆうゆうとっとり子育てネットワーク 【活動報告】

年月日	代表者会・交流会	活動等	年間活動（4～3月）
R2/5	子育てサークル代表者会総会→書面議決	ゆうゆう新聞発行	運営委員会 実施回数：7回
R3/3/22	子育てサークル代表者会総会		訪問ゆうゆう 実施回数：21回

訪問ゆうゆう（随時）	ゆうゆうスタッフが各サークルへ訪問し、サークル活動を支援する。 内容：サークル活動の相談および地域の子育て支援者とサークルの活動状況や地域の様子を共有。 会場：各子育てサークルの活動拠点（公民館） 対象：ゆうゆうとっとり子育てネットワークに登録の育児サークル 実施回数：21回
会議出席（随時）	鳥取市子育て支援ネットワーク・鳥取市総合企画委員会・鳥取市校区審議会 鳥取市下水道等事業運営審議会・鳥取県福祉のまちづくり推進協議会 地方創生ストリートミーティング【子育て世代編】・鳥取市民健康づくり推進協議会 第4期鳥取市健康づくり計画 健康づくりを語る会 鳥取市民健康づくり推進協議会 自死対策部会
表彰	鳥取県母子保健事業功労者知事表彰

(6) ブックスタート事業 【活動報告】

中央会議（R2/8/31） 会場：中央図書館 多目的ホール	内容：前年度の活動の振り返り、今年度実施に向けて 参加者：ボランティア（10人）、図書館（3人）、保健師（4人）
研修会（R2/11/5） 会場：さわやか会館 多目的ホール	内容：「赤ちゃんの笑顔にささえられて-ブックスタートボランティアの20年をふりかえって-」 講師：足立 茂美さん 参加者：ボランティア（13人）、図書館（5人）、保健師（5人）
選書の会（R2/12/7） 会場：中央図書館 多目的ホール	内容：令和3年度ブックスタート配布絵本の選書について 参加者：ボランティア（9人）、図書館（6人）、保健師（3人）
ブックスタート担当者会 （R2/12/24） 会場：鳥取東保健センター 健診室	内容：選書の会の報告、今年度実施方法の検討 参加者：ボランティア（3人）、国府町分室（1人）、保健師（2人）
南ブロックブックスタート事業 検討会（R3/3/3） 会場：用瀬保健センター	内容：今年度の活動の振り返り、来年度実施に向けて 参加者：ボランティア（3人）、図書館（1人）、保健師（2人）
西地域ブックスタート連絡会 （R2/6/24、R3/2/3） 会場：気高地区保健センター	第1回：コロナ禍でのブックスタート、関連事業の実施について 第2回：今年度の活動の振り返り、次年度の実施方針について 参加者（延べ）：ボランティア（10人）、図書館（7人）、保健師（5人）

保健総務課に関する事業

(1) 駅南庁舎の整備

平成27年12月に策定した鳥取市保健所設置基本構想において、保健所施設は駅南庁舎を活用することとし、保健所、保健センター、子育て支援機能を集約した「健康づくりと子育て支援の総合拠点」としての駅南庁舎の整備に向けて改修工事を実施し、令和2年5月より駅南庁舎に移転し開庁した。

(2) 外部の専門家と連携した保健医療福祉連携強化の取組み

①鳥取県立中央病院地域医療支援評議会への参加（4回）

- ・地域委員、病院側委員で構成される評議会に委員として参加している。
- ・鳥取県立中央病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討した。

②鳥取赤十字病院地域医療支援病院運営協議会への参加（4回）

- ・医療関係団体、行政機関等の代表者で構成する協議会に委員として参加している。
- ・鳥取赤十字病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討した。

③鳥取市立病院地域医療支援病院運営委員会への参加（4回）

- ・医療関係団体、行政機関等の代表者で構成する協議会に委員として参加している。
- ・鳥取市立病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討した。

(3) 市行政内部での保健医療福祉連携強化の取組み

①市民医療講演会の開催（市立病院主催、保健総務課・健康・子育て推進課共催）

- ・市民の健康づくりを目的に開催した。（6回）

②「地域包括ケアシステムシンポジウム」（第73回市民医療講演会）の開催

- ・市立病院、鳥取市の共同開催により、「地域包括ケアシステムシンポジウム」を開催し、取組や課題について講演を行った。

○テーマ：「地域で育むアドバンス・ケアプランニング（ACP）」

講師：足立 誠司 氏（鳥取市立病院 診療局長兼地域医療総合支援センター長）

橋本 渉 氏（鳥取市 福祉部長寿社会課参事）

津田 英樹 氏（智頭町社会福祉協議会 常務理事）

山根 綾香 氏（鳥取市立病院 地域医療総合支援センター 緩和ケア認定看護師）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により動画配信等による方法で実施。

(4) 鳥取市医療看護専門学校の状況

令和2年度より言語聴覚士学科の募集を停止しており（在校生の卒業の時点で廃止）、新たに医療福祉総合学科が新設され募集を開始された。看護学科については、第4期生が卒業し市内医療機関への就職につながっている。

《令和2年度入学生の状況》

設置学科	学科名	内容	入学者数	／	定員数
	・看護学科	(昼間・3年制)	76名	／	80名
	・理学療法士学科	(昼間・3年制)	44名	／	40名
	・作業療法士学科	(昼間・3年制)	18名	／	40名
	・言語聴覚士学科	(昼間・2年制)			募集停止
	・医療福祉総合学科	(昼間・2年制)			令和3年度より募集開始
	合計		138名	／	160名

(5) 衛生統計事務

調査名	調査目的	令和2年度実績
人口動態調査	人口動態事象（出生・死亡・死産・婚姻・離婚）を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得る。	毎月報告
国民生活基礎調査	国民生活の基礎的事項を把握し厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の親標本を設定するために実施。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(6) AED設置状況

①設置台数

設置台数 : 237台 (令和3年3月末日時点)

貸出可能台数 : 3台

②設置場所

- ・市役所各関係施設
- ・各総合支所
- ・生涯学習施設
- ・各地区公民館
- ・スポーツ施設
- ・文化観光施設
- ・各市立小学校
- ・各市立中学校
- ・各市立保育園、幼稚園 等

③屋外設置

平成25年10月、「AED屋外設置に係る方針について」を定め、施設が閉まっている夜間及び休日等もAEDが使用できるように体制を整備

令和2年度末現在、9施設について屋外設置実施

平成27年度、湖山地区公民館のAEDを屋外へ移設

平成28年度、明德地区公民館のAEDをファミリーマート鳥取明德店へ移設

平成30年度、酒津地区公民館のAEDを屋外へ移設

(7) 熱中症予防啓発

①鳥取市公式ウェブサイトによる注意喚起

5月から9月の間、鳥取市公式ウェブサイトに熱中症に関する啓発記事を掲載

【掲載内容】

- ・熱中症の基礎知識、予防方法
- ・新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」における熱中症予防
- ・鳥取県が発令する熱中症警報等の情報、熱中症による救急搬送件数
- ・鳥取市の暑さ指数(WBGT) など

②鳥取市報・広報誌による注意喚起

市報6月号、7月号、8月号、民間企業の広報誌による注意喚起

③鳥取市ケーブルテレビ(ぴよんぴよんネット)による啓発

文字画面放送及び鳥取市広報番組内での啓発・注意喚起

④鳥取市公式LINEによる啓発・注意喚起

⑤保健所内に熱中症予防啓発コーナーを設置

⑥地域での取り組み

- ・各地域での健康教育や健康相談会場における啓発
- ・市内小中学校、保育園、幼稚園に対しての注意喚起
- ・市内高齢者関連施設、職員に対しての注意喚起
- ・市内障がい者関連施設、職員に対しての注意喚起
- ・健康づくり地区推進員、民生委員・児童委員を通じ、訪問や地区活動における啓発

(8) 地域保健医療推進事業

事業概要	実績等
<p>鳥取県東部保健医療圏の地域保健医療協議会及び地域医療構想調整会議を開催し、保健医療計画の策定及び推進に関する協議、地域医療構想推進のための協議を行う。</p> <p>(令和2年度は第7次鳥取県保健医療計画の中間見直しを実施)</p> <p>その他、これらの推進のために必要な専門的な医療体制等に関する検討会を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東部保健医療圏地域保健医療協議会全体会及び医療提供部会合同会議兼地域医療構想調整会議：2回、書面開催1回 ・へき地・救急医療部会：1回(全体会、医療提供部会と合同会議)、書面開催1回 ・健康づくり部会：1回、書面開催1回 ・病院訪問(14病院):地域医療構想の推進に係る対応方針調査結果に基づく聞き取り ・第1回医療政策研修会/地域医療構想アドバイザー研修会(厚労省主催)の参加:Web2日間

(9) 在宅医療介護連携事業

事業概要	実績等
<p>東部圏域では1市4町が東部医師会に事業委託し「在宅医療介護連携推進室」を設置し、国が示す8項目の事業に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会、ワーキング等への参画 ※新型コロナウイルス感染症により研修会は中止

(10) 保健師等教育研修事業

事業概要	実績等
<p>本市、東部圏域の町及び県の公衆衛生に従事する保健師等を対象に地域保健技術向上のための研修会を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域保健技術研修会：3回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により研修会の回数減、情報交換会は中止

(11) 受動喫煙防止対策事業

事業概要	実績等
<p>健康増進法の改正により受動喫煙防止対策が強化され、令和元年7月から第一種施設(行政機関等)が原則敷地内禁煙に、令和2年4月からは第二種施設(第一種施設以外の、多数の者が利用する施設)が原則屋内禁煙になった。望まない受動喫煙を防止するため、正しい知識の普及啓発や相談対応、現地確認等を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止に係る相談対応及び現地確認(相談対応54件、現地確認4件) ・世界禁煙デーや健康増進普及月間にあわせ、啓発物展示や市報掲載など啓発を実施(新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭キャンペーン及び大学祭にあわせての啓発は中止) ・食品衛生責任者講習会での啓発 ・鳥取県受動喫煙防止対策支援事業補助金(申請書受理・進達 0件)

(12) その他

①森永ひ素ミルク中毒被害者支援関係事業

事業概要	実績等
森永ひ素ミルク中毒事件被害者が生涯健康に生活できるよう行政協力を行う。支援団体である公益財団ひかり協会と連携し、被害者救済事業を行うため会議等を開催するとともに、事件の風化を防ぐため、関係する職員に伝達を行う。	<ul style="list-style-type: none">・鳥取市行政懇談会：中止 (行政協力要請内容に対し書面回答)・鳥取市中間協議：中止・全国担当係長会議：1回

②健康づくり応援施設事業

事業概要	実績等
健康づくり（運動・食事）に積極的に取り組む施設・団体・個人を「健康づくり応援施設(団)」に認定し、地域の健康づくりに協力して取り組んでいただく。	健康づくり応援施設（運動・食事） 令和2年度新規認定：0施設

保健医療課に関する事業

1 医事薬事

① 医療従事者等の免許申請受理事務

厚生労働大臣又は鳥取県知事が交付する免許について、新規申請、書換え交付申請、再交付申請等を受理。
医療従事者免許申請受理件数 (単位：件)

看護師	保健師	助産師	准看護師(知事)	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	医師・歯科医師	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	管理栄養士	栄養士(知事)	計
252	53	11	18	23	20	1	33	24	8	2	25	42	512

② 医事・薬事に係る許認可等

〈1〉病院、診療所、薬局、医療機器販売業等の許可、届出の受理等

ア 病院・診療所

(単位：施設、件)

区分	病院・診療所 の変更許可	病院の 使用許可	診療所の 開設許可等	診療所の 休・廃止	年度末登録総数	
					病院	診療所
鳥取市	25	14	6	11	12	261
4 町	3	3	-	-	2	39

イ 薬局等

(単位：施設、件)

区 分		新規 許可	許可 更新	変更届	廃止届	年度末 登録総数
薬 局	鳥取市	6	14	220	3	87
	4町	-	-	5	-	9
卸売販売業	鳥取市	-	2	15	-	23
	4町	-	-	-	-	-
店舗販売業	鳥取市	2	2	85	3	45
	4町	-	-	11	-	8
高度管理医療機器販売業・貸 与業	鳥取市	6	17	55	4	121
	4町	-	-	-	-	6
管理医療機器販売業・貸与業	鳥取市	43		41	18	518
	4町	24		4	9	77

〈2〉毒物劇物に係る許認可等

(単位：件)

区分	新規登録	登録更新	変更届	登録変更 申請	廃止届	年度末 登録総数	
毒物劇物販売業	鳥取市	5	15	28	-	6	136
	4町	1	-	2	-	-	20

〈3〉施術所(あん摩マッサージ指圧師、はり・きゅう等)の届出の受理等

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に基づく届出の受理及び使用制限等の処分を行う。

(単位：件)

区分	開設届	変更届	廃止届	年度末登録総数
鳥取市	8	22	3	126
4町	1	1	2	16

〈4〉歯科技工所の届出の受理等

歯科技工士法に基づく届出の受理及び使用禁止命令等の処分を行う。

(単位：件)

区分	開設届	変更届	年度末登録総数
鳥取市	-	-	36
4町	-	-	6

③ 医療施設等の検査等の状況

〈1〉医療関係施設の立入検査の状況

ア 対象施設の選定方針

- ・前年度立入検査を実施していない病院及び前年度指摘のあった病院
- ・新規届出のあった診療所及び確認が必要と判断した診療所
- ・新規届出のあった助産所、施術所、歯科技工所
- ・全衛生検査所

イ 検査実施体制

病院：部門ごとに専門知識のある職員を配置する。医師（診療部門等）保健師（看護部門）、薬剤師（薬剤部門）、栄養士（給食部門）、診療放射線技師（放射線部門）、事務職員（管理部門等）など。
 診療所・その他：事務職員、診療放射線技師等必要に応じた職員を配置して実施。
 ※本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため立入検査を中止し、新規届出の診療所のみ実施。
 衛生検査所：鳥取市精度管理専門委員及び保健所職員により実施。

ウ 当年度重点検査事項

前年度に問題のあった項目など

(単位：施設、件)

区分	対象施設数	検査施設数	不備事項件数等		不備事項等の概要			主な不備事項等の概要	
			施設数	件数	処分等件数				
					処分	告発	指導		
病院	市	12	-	-	-	-	-	・外部精度管理の是正改善処置の不徹底 ・帳票の未整備	
	4町	2	-	-	-	-	-		
一般診療所	市	163	4	-	-	-	-		
	4町	25	-	-	-	-	-		
歯科診療所	市	98	2	-	-	-	-		
	4町	14	-	-	-	-	-		
衛生検査所	市	4	4	1	3	-	-		1
	4町	0	-	-	-	-	-		-
その他	市	10	10	-	-	-	-		-
	4町	1	1	-	-	-	-		-
合計	市	287	20	1	3	-	-		1
	4町	42	1	-	-	-	-	-	

注（1）検査施設数は、延べ施設数を記載。

（2）その他には、助産所、施術所、歯科技工所を記載。

〈2〉薬事監視の状況

ア 対象施設の選定方針

- ・概ね3年に1度の頻度で立入検査を実施する。
- ・前年度に違反事例、指導事例があった事業者や取扱処方箋枚数が多い薬局を優先的に選定する。
- ・前年度の医薬品販売制度実態把握調査の結果を参考にする。

イ 検査実施体制

通常監視は、薬剤師1～2名により対応する。
 通報案件等懸案事象に対する薬事監視については、薬剤師2名により対応する。

ウ 当年度重点検査事項

処方箋の付け替えによる調剤記録の不備
 薬局の管理者による実地に管理する薬局以外の薬局従事の有無
 処方箋なしでの処方箋医薬品販売の有無

(単位：施設、件)

区分	対象施設数	検査施設数	違反等の件数等		違反事項等の概要					主な不備事項等の概要
			施設数	件数	処分等件数					
					処分	告発	始末書	その他		
医薬品	薬局	96	60	-	-	-	-	-	-	・管理者による実地管理不備 ・登録販売者不在時に医薬品を販売
	製造業（薬局）	9	5	-	-	-	-	-	-	
	製造販売業（薬局）	9	5	-	-	-	-	-	-	
	卸売販売業	23	10	-	-	-	-	-	-	
	店舗販売業	53	16	3	10	0	0	0	2	
	薬種商販売業	1	1	-	-	-	-	-	-	
	特例販売業	1	0	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
	再生医療等製品販売業	4	5	-	-	-	-	-	-	
医薬部外品	販売業	※	16	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
化粧品	販売業	※	16	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
医療機器	高度医療機器販売等	127	55	-	-	-	-	-	-	
	管理医療機器販売等	595	48	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
毒物劇物	一般販売業	121	56	-	-	-	-	-	-	
	農薬用品目販売業	35	2	-	-	-	-	-	-	
	特定品目販売業	1	0	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱者	2	0	-	-	-	-	-	-	
合計	1,077	293	3	10	0	0	0	2		

注（１）検査施設数は、延べ施設数を記載。

④ 医療相談、薬事関係啓発事業等

（１）医療相談

医療安全支援センターによる医療相談対応を行う。

ア 医療相談件数

(単位：件)

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
鳥取市	7	1	2	3	13
不明（匿名相談）	10	10	11	10	41
計	17	11	13	13	54

イ 相談内容の内訳

(単位：件)

相談内容								
医療行為等	コミュニケーション※1	施設	情報※2	紹介	医療費	知識※3	その他※4	合計
18	17	1	2	4	0	2	10	54

※1 説明等に関するもの、基本的マナーに関すること。 ※2 カルテ開示、セカンドオピニオンを含む。

※3 健康や病気、薬に関する知識に関すること。 ※4 分類されないもの及び医療事故調査支援センターに関すること。

（２）薬物乱用防止普及啓発

- 鳥取県薬物乱用防止指導員東部地区協議会理事会の開催 書面開催
- 鳥取県薬物乱用防止指導員東部地区協議会総会及び講習会の開催 中止
- 令和2年度薬物乱用防止指導員研修会 中止
- 令和2年度「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーン 中止

〈3〉 献血等の推進

献血推進に係る啓発等を行う。

○「愛の血液助け合い運動」街頭献血キャンペーン 中止

※(2)(3)については、新型コロナウイルス感染症感染拡大による。

〈4〉 骨髄バンクの登録状況 ※平成31年3月～実績なし

2 感染症・疾病対策

① 予防接種事業

〈1〉 定期予防接種の接種状況

(単位:延べ件数、%)

種類		年度	30年度	令和元年度	令和2年度
ロタワクチン【注1】	1価(2回)				891
	5価(3回)				379
B型肝炎(3回)			4,162	3,902	3,990
ヒブワクチン(4回)			5,720	5,248	5,545
小児用肺炎球菌(4回)			5,737	5,359	5,448
四種混合1期(4回)			5,931	5,359	5,560
二種混合2期			1,575	1,438	1,580
不活化ポリオ(4回)			36	8	-
BCG			1,420	1,390	1,345
水痘(2回)			2,780	2,584	2,763
麻しん	1期		-	-	-
	2期		-	1	-
風しん	1期		-	-	-
	2期		-	1	-
麻しん風しん混合	1期		1,439	1,386	1,376
	2期		1,518	1,554	1,535
接種率			93.4%	94.0%	94.6%
日本脳炎	1期(3回)		5,238	4,813	4,809
	2期		1,760	1,866	2,120

種類		年度	30年度	令和元年度	令和2年度
子宮頸がん(3回)【注2】			20	85	183
風しん5期【注】	風しん			19	2
	麻しん風しん混合			555	830
風しん抗体検査【注3】				1,947	2,747
インフルエンザ	65歳以上		30,886	35,248	40,241
	接種率		57.1%	64.3%	72.6%
	60～64歳		60	58	40
接種率			68.2%	67.4%	50.6%
高齢者肺炎球菌感染症	60～64歳		10	4	15
	65歳相当		1,215	1,096	1,091
	70歳相当		1,560	310	360
	75歳相当		975	154	146
	80歳相当		693	119	206
	85歳相当		550	128	198
	90歳相当		392	103	162
	95歳相当		114	36	64
	100歳相当		24	10	7
	101歳以上			11	
合計			5,533	1,971	2,249

【注1】 ロタワクチンは、令和2年10月1日より定期接種として実施。

【注2】 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月の厚生労働省勧告に基づき、以後積極的な勧奨を差し控えている。

【注3】 風しん抗体検査・第5期定期予防接種は、令和元年度から令和3年度の3年間、成人男性を対象に実施。

※ () 内の回数は、ワクチンごとの接種回数。記載のないものは1回接種。

〈2〉 インフルエンザ予防接種等費用助成事業(任意接種)

ア インフルエンザ予防接種

(単位:延べ件数)

対象者	年度	30年度	令和元年度	令和2年度
重度の心身障がい者・重症の心身障がい児		173	203	200
就学前乳幼児		6,280	6,388	6,632

イ 風しん予防接種

(単位:人)

種類	対象者【注4】	妊娠希望の女性※	妊婦の夫	妊婦の同居者	妊娠希望の女性の同居者※
風しん		46	12	-	3
麻しん風しん混合		101	40	1	4

【注4】 ※印の方は、風しん抗体価が低いことが要件

ウ ロタウイルスワクチン接種

対象者：令和2年4月2日から令和2年7月31日に生まれた児

助成件数：ロタリックス（1価・2回接種） 696件

ロタテック（5価・3回接種） 210件

② 感染症対策

〈1〉感染症の発生の届出、報告及びまん延防止対策

疫学調査等を実施し、感染拡大を早期に防止するとともに、感染予防のための健康教育や啓発を行う。

ア 感染症の発生等の状況（結核を除く）

（単位：件、人）

区分	発生状況			疫学調査件数				集団発生件数	
	件数	患者数	死亡者数	調査件数	調査人数	検査件数	発見患者数		
新型インフルエンザ等	114	114	-	156	5,974	6,229	114	-	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	3	3	-	3	11	13	-	-
4類	E型肝炎	1	1	-	-	-	-	-	-
4類	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	1	1	-	7	7	7	1	-
4類	つつが虫病	3	3	-	-	-	-	-	-
4類	日本紅斑熱	9	9	-	16	16	16	9	-
4類	レジオネラ症	10	10	-	-	-	-	-	-
5類	カルピペナム内性腸内細菌感染症	-	-	-	3	3	3	-	-
5類	急性脳炎	2	2	-	-	-	-	-	-
5類	後天性免疫不全症候群	1	1	-	-	-	-	-	-
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	3	-	-	-	-	-	-
5類	水痘（入院例）	3	3	-	-	-	-	-	-
5類	梅毒	7	7	-	-	-	-	-	-
5類	百日咳	2	2	-	-	-	-	-	-
5類	麻しん	-	-	-	1	1	1	-	-
5類	風しん	-	-	-	1	1	1	-	-
5類	感染性胃腸炎	5	87	-	5	642	6	-	5
5類	手足口病	1	14	-	1	180	-	-	1
5類	ヘルパンギーナ	1	12	-	1	203	-	-	1
計		166	272	-	194	7,038	6,276	124	7

注 集団発生件数は、内数。

イ 風しん抗体価検査（単位：件）

血液検査	件数
保健所検査	14
医療機関委託	311

〈2〉エイズ・性感染症の血液検査の実施と相談対応

ア エイズ及び性感染症の相談・検査の状況

（単位：人）

区分	エイズ			梅毒			クラミジア感染症			合計			
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
相談	電話	3	1	4	1	1	2	1	3	4	5	5	10
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(迅速検査再掲)検査	(3)	(0)	(3)	46	43	89	44	33	77	135	109	244	

イ エイズカウンセラー派遣事業

鳥取市保健所及び鳥取県東部圏域の医療機関に対し、カウンセラーを派遣することによりエイズ患者・感染者等の心理的ケアを行う。

令和2年度の派遣は0件であった。

〈3〉結核対策

結核に関する普及啓発を行うとともに、患者への服薬指導等の療養上の支援や接触者検診等の実施により感染拡大を防ぐ。

ア 結核登録者の状況

(単位：人)

区分	本年度中登録				本年度中登録除外						年度末登録数
	新規	再登録	転入	計	観察不要	死亡	転症	転出	その他	計	
鳥取市	16(3)	1(0)	0(0)	17(3)	10	4	0	0	1	15	29
4町	4(0)	0(0)	2(1)	6(1)	5	2	0	0	1	8	11

注 () 内には、LTBI (「潜在性結核感染症」と診断され結核医療の対象とされた者) を別掲。

イ 結核患者接触者健康診断、結核登録者精密検査実施状況

(単位：人)

区分	実施機関名	受診人員	ツベルクリン反応	胸部エックス線撮影者数	結核菌検査者数		IGRA検査者数	被発見者数	
					とまつ	培養		結核(確定例)	潜在性結核感染症
接触者健診	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	74	0	21	1	1	56	0	1
	その他	1	0	1	0	0	0	0	0
	計	75	0	22	1	1	56	0	1
・実対象者数： 60人 実受診者数： 56人 ・受診率： 93.3%									
結核登録者精密検査	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	36	0	35	1	1	0	0	0
	その他	1	0	2	0	0	0	0	0
	計	37	0	37	1	1	0	0	0
・実対象者数： 28人 実受診者数： 24人 ・受診率： 85.7%									
計	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	110	0	56	2	2	0	0	1
	その他	2	0	3	0	0	0	0	0
	計	112	0	59	2	2	0	0	1
・実対象者数： 88人 実受診者数： 80人 ・受診率： 90.9%									

ウ 結核患者医療費公費負担制度 (令和2年度診査会診査状況)

(単位：件)

区分	新規認定 (入院)	継続 (入院)	新規認定 (通院)	継続 (通院)
鳥取市	9	6	11	4
4町	4	4	4	3

〈4〉肝炎の相談・検査・治療費助成の状況

(単位：件)

区分	相談件数	検査件数 (医療機関分再掲)
鳥取市	1	219(203)
4町	1	36(33)

(単位：件)

区分	肝炎治療特別推進事業		肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業	
	肝炎治療受給者証 交付申請件数 (新規件数再掲)	償還払件数	参加証交付件数 (新規件数再掲)	償還払件数
鳥取市	277 (31)	—	— (—)	—

4 町	78 (9)	—	— (—)	—
-----	-----------	---	----------	---

〈5〉 感染制御地域支援ネットワーク事業実施状況

ア 感染制御相談

(単位：延件)

件数	相談区分					
	感染症全般	感染症事例	感染管理組織	感染予防技術	環境管理	その他
—	—	—	—	—	—	—

イ 実地指導：2回（新型コロナウイルス感染症対応について）

ウ 準備会・情報交換会・会議・研修会

区分	回数・内容	延人員
準備会	5回	57人
情報交換会	2回：インフルエンザ流行期に備えた体制整備 新型コロナウイルス感染症対応について ※他、2回はメール開催	64人 65人
会議	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
研修会	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	

③ 難病対策事業

〈1〉 医療受給者証所持者の状況

(単位：人)

区分	特定医療費(指定難病) 医療受給者証所持者数	先天性血液凝固因子障害等 医療受給者証所持者数
鳥取市	1,532	6
4 町	328	1

〈2〉 難病患者の支援

難病患者やその家族が安心して療養生活を送れるよう、関係機関と連携しながら支援する。

ア 指導・相談対応件数

(単位：延べ件数)

区分	訪問指導	来所相談	電話相談
鳥取市	15	8	55
4 町	2	1	6

イ 難病事業の実施状況

区分	回数・内容	延人数
難病患者医療相談会	内容：難病患者及びその家族に対し、病気や療養生活に関する正しい知識を提供するとともに、交流の場を設ける ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
訪問指導事業	内容：在宅難病患者の自宅へ、専門職（医師、看護師、理学療法士等）を派遣し、患者および家族に対して療養指導を行う	—
神経難病在宅支援連絡会	内容：講演、事例検討等 参加機関：約30（保健・医療・福祉の関係機関） ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
在宅難病患者一時入院	内容：在宅難病患者が、家族等の介護者の休息（レスパイト）等の理由により、一時的に在宅で介護等を受けることが困難になった場合に、円滑に適切な医療機関に入院できるように入院受入体制を整備	—

3 心の健康支援

①自死対策

誰もが自死に追い込まれることのない地域社会の実現を目指して、うつ等自死に対する知識の普及と相談体制を整備することで、自死予防を図る。

事業		内容及び実績
普及啓発	パネル展示等	内容：パネル展示、関連書籍の配架コーナーの設置等 自殺予防週間（9月）自殺対策強化月間（3月）等にあわせて実施 実績：図書館等2か所
	若年層への働きかけ	内容：若年層向け自死予防啓発チラシ等を作成、配布 実績：公立鳥取環境大学、鳥取大学、県立鳥取看護専門学校、鳥取市医療看護専門学校等に配布 乳幼児健診等で来所された保護者等に配布
	企業向けメンタルヘルス研修会	内容：こころの健康づくりに関するセルフケアについて 実績：新入社員対象 1回 参加者 35人
人材育成	メンタルヘルス出前講座	内容：セルフケア及びゲートキーパーについて 実績：企業 6事業所 参加者 121人
	ゲートキーパー養成研修会	内容：ゲートキーパーの役割等について 実績：窓口で相談対応にあたる市職員対象 1回 参加者 32人
	自死予防研修会	内容：ゲートキーパーの役割等について 実績：地区組織及び市民 1回 参加者 24人
会議	相談窓口担当者連絡会	内容：とっとり SNS 相談事業の情報提供（県より）、講演等 実績：1回
	市町村担当者連絡会	内容：地域自殺対策強化交付金にかかる情報提供（県より）、各市町の取組状況報告等 実績：1回
「第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画」の策定		計画の期間：令和3年度～令和7年度 計画の概要：働き盛り世代、高齢者、生活困窮者への支援に重点を置き、「生きる支援」に関連する事業を全庁的に推進

②ひきこもり対策

家族や支援者がひきこもりについて理解を深め、相談対応について学ぶことで、当事者の支援につなげる。

事業	内容及び実績
ひきこもり家族教室	内容：講話（ひきこもりについて、家族の関わり等）及び話し合い 実績：10回 参加者 実32人（29家族） 延81人（74家族）
事業担当者連絡会	内容：相談対応者の資質向上のための研修、関係者間の情報共有及び事例紹介等 実績：1回

③アルコール・薬物・ギャンブル等依存症対策

アルコール・薬物・ギャンブル等関連問題に悩んでいる家族等が依存症に関する正しい知識を得るとともに、問題解決に向けて取り組めるよう支援する。

事業	内容及び実績
アルコール・薬物・ギャンブル等家族教室	内容：精神科医師及び看護師による講義（依存症とは、家族の役割等）及び話し合い 実績：10回 参加者 実38人 延63人
アルコール・薬物・ギャンブル等専門相談	内容：精神科医師及び看護師による個別相談 実績：20回 相談者：延25人

④精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障がい者の地域生活への移行及び定着を促進するため、医療・保健・福祉等の関係機関が連携し、精神障がい者の地域移行支援体制を整備する。

事業	内容及び実績
鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行推進会議（代表者会）	内容：県東部圏域の地域移行の現状、各機関の地域移行の取り組み状況報告及び意見交換等
鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行連絡会（実務者会）	実績：推進会議 1回、連絡会 3回
地域移行関係職員に対する研修会	内容：事例紹介及び意見交換 実績：1回
精神科病院における地域移行の推進	内容：各病院の実情に合わせ実施 実績：①病院との検討会：延10回 ②病院スタッフ勉強会：2回 ③患者勉強会：2回
レインボウ事業	内容：ボランティア団体・ピアサポーターの協力を得て、退院意欲喚起を目的とした取り組みを実施 実績：①患者勉強会：2回（ピアサポーターの協力） ②個別支援（散歩）：1回（ボランティア団体会員の協力）
ピアサポーターの養成	内容：ピアサポーター養成講座（委託事業） 実績：2回 参加者14人（うち修了者12人）

⑤精神障がい者の社会参加支援、家族支援

在宅の精神障がい者が活動を通して交流を図ることにより、精神障がい者の自立と社会参加に向けた支援を行い、在宅の精神障がい者の福祉の向上を図る。

また、家族が病気について学び、情報交換や交流ができる場を作り、家族の孤立化を防ぐ。

事業	内容及び実績
デイケア	さわやかサロン（中央、福部、鳥取東） 内容：絵や音楽等の創作活動、保健師・栄養士・歯科衛生士による講話、運動等を実施 実績：59回 参加者数 実44人 延：328人
	こころを元気にする会（河原、用瀬、佐治） 内容：参加者が計画を立て、創作活動や栄養士による講話、運動等実施 実績：11回 参加者数 実12人 延63人
	きらり☆えがおの会（気高、鹿野、青谷） 内容：参加者による計画立案など、意思決定を尊重した支援を実施 実績：11回 参加者数 実10人 延68人
居場所づくりの会	ほっとカフェ（気高） 内容：当事者を含むボランティアが運営 居場所の提供、ボランティアによる傾聴、研修会等を実施 実績：15回 参加者数 延193人
	ふわっとカフェ（青谷） 内容：令和2年度より、当事者を含めた地域のボランティア組織で設立・運営。当事者の相談支援、ボランティアへのゲートキーパー研修等を実施。 実績：21回 参加者数 延358人
家族支援	鳥取地域家族会（中央、福部、鳥取東） 内容：病気の正しい知識や対応方法を知るためにテキスト等による学習及び家族の思いや困りごと等についての話し合い 実績：9回 参加者数 延86人
	南地域家族教室（河原、用瀬、佐治） 内容：家族教室のあり方についてアンケートを実施 「本人や家族が安心して地域で暮らすために」をテーマに、どのような家族教室にしていくかについて検討 実績：3回 参加者数 実8人、延12人
	西地域家族会（気高、鹿野、青谷） 内容：家族交流会、研修会（SST、地域生活支援）、B型就労支援事業所との交流、たより発行等 実績：10回 参加者数 実11人、延72人

⑥高次脳機能障がい者支援

高次脳機能障がいのある方への支援体制の充実を図るため、医療、保健、福祉関係者のネットワーク構築と人材育成を行う。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止

⑦精神科救急医療体制の整備

緊急な医療を必要とする精神障がい者等に対する迅速かつ適切な精神科救急医療体制の整備に係る調整を行う。

事業	内容及び実績
東部圏域精神科救急医療体制整備事業連絡調整会議	内容：東部圏域精神科救急医療体制についての報告及び書面での意見聞き取り 実績：1回（書面開催）

⑧精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律に基づく入院、相談等の状況

ア 医療保護入退院届、定期病状報告の状況 (単位：件)

区分	医療保護入院届	医療保護退院届	定期病状報告	
			措置入院	医療保護入院
件数	509	518	5	250

イ 措置入院、応急入院の状況 (単位：件)

区分	措置入院				応急入院
	申請・通報等	結果内訳			
		診察不要	要診察	うち、措置入院	
鳥取市	32	22	10	8	8
4町	2	0	2	2	1
その他	2	0	2	1	0

ウ 退院請求・処遇改善請求の状況 (単位：延件)

区分	退院請求	処遇改善請求
鳥取市	10	1
4町	1	0
その他	1	1

エ 精神保健相談の状況 (単位：人)

区分	訪問指導		面接相談		電話相談
	実人員	延人員	実人員	延人員	延人員
鳥取市	78	382	71	161	936
4町	9	25	3	4	183
その他	5	13	2	2	105

生活安全課に関する事業

(1) 動物愛護管理推進事業

①動物の適正飼養・譲渡の推進

負傷した犬及び猫の保護収容、収容動物の管理・返還を行うとともに、動物愛護センター機能を委託しているアミティエや動物譲渡ボランティアなどと連携した譲渡事業や各種啓発事業を実施する。

令和2年度は、YouTubeを活用し、譲渡動物を動画で紹介するとともに、新たに飼養する者の負担軽減及びみだりな繁殖防止の観点から、収容動物を譲渡する際は譲渡前に不妊・去勢手術を行い、更なる譲渡促進を図った。

ア 収容・返還・譲渡等の状況(東部四町含む)

(ア)犬の状況

(単位:頭、件)

区 分			鳥取市	東部4町	その他・不明	合計	
収 容	抑留・捕獲	成犬	19	8	0	27	
		子犬	0	0	0	0	
	引取り	飼主	成犬	2	0	2	4
			子犬	0	0	0	0
		所有者 不明	成犬	0	0	0	0
			子犬	0	0	0	0
	保護	成犬	1	0	0	1	
		子犬	0	0	0	0	
前年度引継ぎ			3	0	0	3	
返還数			16	4	0	20	
譲渡	一般		6	3	0	9	
	その他		5	0	0	5	
処分	収容中死亡		0	0	0	0	
	譲渡困難		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
死体収容			0	0	0	0	
翌年度引継ぎ			0	1	0	1	

(イ)猫の状況

(単位:頭、件)

区 分			鳥取市	東部4町	その他・不明	合計	
収 容	引取り	飼主	成猫	4	17	0	21
			子猫	0	1	0	1
		所有者 不明	成猫	0	0	0	0
			子猫	1	3	0	4
	保護	成猫	18	0	0	18	
		子猫	35	8	0	43	
前年度引継ぎ			7	0	0	7	
返還数			2	0	0	2	
譲渡	一般		20	9	0	29	
	その他		7	10	0	17	
処分	収容中死亡		12	7	0	19	
	譲渡困難		7	0	0	7	
	その他		0	0	0	0	
死体収容			15	2	0	17	
翌年度引継ぎ			2	1	0	3	

イ 所有者からの犬・猫の引取り相談件数

(ア) 犬の状況

(単位:件数)

区 分	鳥取市	東部4町	その他・不明	合計
所有者からの引取り相談件数	9	3	0	12
うち引取り拒否件数(説諭を含む)	7	2	0	9
拒否の理由	犬猫等販売事業者からの求め	0	0	0
	引取りの繰り返しの求め	0	0	0
	子犬の求めで繁殖制限措置の指示に従っていない	0	0	0
	犬の老齢又は疾病による求め	2	0	0
	飼養が困難であると認められない	1	0	0
	譲渡取組を行っていない	4	2	0
その他	0	0	0	0

(イ) 猫の状況

(単位:件数)

区 分	鳥取市	東部4町	その他・不明	合計
所有者からの引取り相談件数	7	0	0	7
うち引取り拒否件数(説諭を含む)	5	0	0	5
拒否の理由	犬猫等販売事業者からの求め	0	0	0
	引取りの繰り返しの求め	0	0	0
	子猫の求めで繁殖制限措置の指示に従っていない	2	0	0
	猫の老齢又は疾病による求め	0	0	0
	飼養が困難であると認められない	1	0	0
	譲渡取組を行っていない	2	0	0
	その他	0	0	0

② 動物取扱業の監視指導等

ペットショップなどの第一種動物取扱業の登録、営利を目的とせず動物の譲渡等を行う第二種動物取扱業の届出受理のほか、必要に応じて第一種動物取扱業者に対し、飼養施設の状況等に関し報告を求め、事業所等に立ち入り、飼養施設等の検査を実施した。

また、動物取扱責任者に対し、法令の内容についての周知徹底並びに新たな知識及び技術の提供のため、研修を実施した。

(ア) 第一種動物取扱業者

事業所数	新規登録	更新登録	廃止	立入件数	行政指導	措置命令	業務停止・登録取消命令
50	7	4	3	60	0	0	0

(イ) 第二種動物取扱業者

事業所数	新規届出	廃止	立入件数	行政指導	措置命令
3	0	0	3	0	0

(ウ) 特定動物飼養者の状況

許可件数	新規	立入件数	措置命令	許可取消命令
6	1	1	0	0

特定動物の内訳

(ニホンザル 2件、イヌワシ 1件、サバンナモンキー 1件、ボア・コンストリクター 1件、ワニガメ 1件)

③ 飼い犬登録及び狂犬病予防

狂犬病予防法に基づき、飼い犬登録を推進するとともに、鳥取県獣医師会と連携し、狂犬病予防の集団注射を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施途中で中止し、その後はすべて動物病院での個別接種による実施とした。

(ア) 飼い犬登録及び狂犬病予防

登録申請数	登録頭数	予防注射済票交付数			犬の死亡届出件数
	(年度末現在)	集団注射	動物病院等	計	
646	6,969	373	4,957	5,330	615

※ 狂犬病予防注射は、令和2年3月2日から令和3年3月1日に接種した件数。

(イ) 犬による咬傷事故発生状況

事故件数	咬傷犬の登録状況等			被害者数			咬傷事故発生時の犬の状況				咬傷事故発生時の被害者の状況					
	飼い犬		飼い犬不明	飼い主・家族	それ以外	人以外の動物	犬舎等にけい留中	いっしょに運動中	放し飼い	その他	犬に手を出した	けい留しようとした	配達・訪問等の際	通行中	遊戯中	その他
	登録	未登録														
3	3	0	0	0	2	1	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0

④ 野良猫不妊・去勢手術費の助成

野良猫のみだりな繁殖・増加を抑制するための施策として、野良猫の不妊・去勢手術費に対する助成を行った。

⑤ 動物愛護の啓発活動

市民の動物愛護への関心と理解を深めるため、動物愛護週間に合わせ、鳥取市立図書館に動物愛護関係図書コーナーの設置及び適正飼養啓発パネルの展示を行った。さらに、保健所業務の理解促進及び動物愛護意識定着のため、譲渡ボランティアと連携し、小学生とその家族を対象とした「犬管理所見学会」の実施を予定していたが、新型コロナウイルス染拡大防止のため中止としている。

(2) 食の安全推進事業

① 食品関連施設等への監視指導の状況

ア 対象施設の選定方針

過去2年のうちに食品衛生法違反により処分や文書指導を受けたことのある施設や野生鳥獣肉処理施設など食中毒リスクの高い施設、レストランや給食施設などの大量調理施設で、事故が発生した場合大規模食中毒につながる可能性がある施設等を「重点監視対象施設」として、集中的に監視指導を行った。

イ 当年度重点監視事項等

重点監視対象施設について集中的に監視指導を実施するほか、消費者の食品選択において情報源として重要な役割を果たす食品表示について、食品表示法に基づく表示基準の周知及び適正化を図る。

また、平成30年の食品衛生法改正に基づくHACCPの制度化により、事業者へのHACCP導入支援を推進する。

令和2年度においては、業種ごとのHACCP導入支援講習会を計54回開催し、事業者への周知に努めるとともに、講習会受講者を対象に導入状況の確認検査を行った。

重点監視対象施設における監視目標件238件(実績 300件 126.1%)

※監視対象施設 5,741施設 (令和2年度計画値)

(ア) 許可を要する施設

(単位:箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			主な違反事項等の概要	
			施設数	件数	処分等件数				
					告発	処分	文書指導		
許可を要する施設	一般食堂・レストラン等	1,258 (130)	606 (48)	7 (-)	7 (-)		4 (-)	3 (-)	①食中毒による営業禁停止 ・飲食店営業 4件
	仕出し屋・弁当屋・給食施設	131 (22)	158 (16)	/	/	/	/	2 (-)	
	旅館	167 (36)	54 (7)	/	/	/	/	/	②異物混入等による文書指導 ・飲食店営業 2件 ・菓子製造業 1件
	その他	871 (53)	754 (29)	2 (-)	2 (-)	/	/	1 (-)	
	菓子(パンを含む。)製造業	584 (98)	329 (41)	2 (-)	2 (-)	/	/	1 (-)	

許可を要する施設	乳処理業							③無許可営業 ・飲食店営業 3件
	特別牛乳さく取処理業							
	乳製品製造業	5 (1)	5 (2)					
	集乳業							
	魚介類販売業	417 (65)	239 (36)					
	魚介類せり売り営業	6 (2)	8 (0)					
	魚肉ねり製品製造業	5 (0)	12 (0)					
	食品の冷凍又は冷蔵業	20 (5)	26 (2)					
	かん詰又はびん詰食品製造業 (上記及び下記以外)	11 (2)	11 (2)					
	喫茶店営業	651 (71)	290 (25)					
	(再掲)自動販売機	571 (63)	238 (23)					
	あん類製造業	1 (-)	0 (-)					
	アイスクリーム類製造業	77 (8)	83 (6)					
	乳類販売業	496 (75)	254 (34)					
	食肉処理業	51 (9)	53 (9)					
	食肉販売業	325 (45)	186 (21)					
	食肉製品製造業	8 (3)	6 (1)					
	乳酸菌飲料製造業	0 (0)	1 (0)					
	食用油脂製造業	6 (2)	2 (1)					
	マーガリン又はショートニング製造業							
	みそ製造業	57 (15)	35 (9)					
	醤油製造業	6 (1)	12 (2)					
	ソース類製造業	16 (3)	18 (6)					
	酒類製造業	17 (5)	10 (4)					
	豆腐製造業	38 (9)	34 (9)					
	納豆製造業							
	めん類製造業	15 (3)	19 (5)					
	そうざい製造業	143 (30)	130 (20)					
	添加物(法律13条第1項 (R2.6.1改正)の規定により規 格が定められたものに限る。)製 造業	1 (-)	0 (-)					

許可を要する施設	食品の放射線照射業	/	/	/	/	/	/	/	/
	清涼飲料水製造業	18 (3)	23 (3)	/	/	/	/	/	/
	氷雪製造業	/	/	/	/	/	/	/	/
	氷雪販売業	6 (2)	1 (0)	/	/	/	/	/	/
合計		5,407 (698)	3,359 (338)	11 (-)	11 (-)	/	4 (-)	7 (-)	

(イ) 許可を要しない施設

(単位:箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			主な違反事項等の概要	
			施設数	件数	処分等件数				
					告発	処分	文書指導		
許可を要しない施設	給食施設	学校	14 (4)	10 (3)	/	/	/	/	
		病院・診療所 事業所	13 (-)	6 (-)	/	/	/	/	
		その他	92 (15)	92 (13)	/	/	/	/	
		乳さく取業	/	/	/	/	/	/	
	食品製造業	/	81 (5)	/	/	/	/		
	野菜果物販売業	/	128 (14)	/	/	/	/		
	そうざい販売業	/	126 (12)	/	/	/	/		
	菓子(パンを含む)販売業	/	165 (15)	/	/	/	/		
	食品販売業(上記以外)	/	209 (20)	/	/	/	/		
	添加物(法律13条第1項 (R2.6.1改正)の規定により規格が定められたものを除く。)製造業	/	/	/	/	/	/		
	添加物の販売業	/	2 (2)	/	/	/	/		
	氷雪採取業	/	/	/	/	/	/		
	器具、容器包装、おもちゃの製造業又は販売業	/	5 (5)	/	/	/	/		
	合計	119 (19)	824 (89)	/	/	/	/	/	

(注) 監視・検査施設数は延件数を記載。
下段の括弧内は、東部4町区域に係る件数で内数とする。

② 衛生講習会等の実施

食品に携わる関係者を対象に衛生講習会を実施し、食品関連業務従事者の資質向上を図った。
衛生講習会・・・開催目標50回(実績78回)、参加者 1,189名

③ 食品等の収去検査

流通している食品等を検査機関に持ち込み、食品の安全性の監視を行った。
検査実績 159検体 (うち四町は14検体)

④食中毒事故対応

食中毒事故(疑いを含む。)が発生した場合は、直ちに原因追及を行い、必要に応じて営業停止命令等、被害拡大防止・再発防止の対策を講じた。

食中毒事故件数 9件 (うち営業禁停止 4件、家庭 2件、原因施設不明 3件)

⑤食品表示法に基づく食品表示適正化指導の状況

ア 対象施設の選定方針

食品衛生法に基づく監視指導等の施設立入り時に併せて食品表示に基づく表示調査を行う。また、国、県及び消費者等から情報提供があった場合は、速やかに確認調査を行い、必要な指導を行った。

(単位:箇所、件数)

区分	調査施設数	処分等件数			主な違反事項等の概要
		告発	処分	文書指導	
食品スーパー(百貨店を含む)	133 (13)	/	/	1 (-)	添加物、アレルギー、食品 関連事業者等の不表示 2件
専門店	20 (8)	/	/	/	
その他(コンビニ)	33 (2)	/	/	/	
その他(直売所)	29 (6)	/	/	/	
その他(製造業)	320 (50)	/	/	1 (1)	
その他(販売業)	91 (15)	/	/	/	
合計	626 (94)	/	/	2 (1)	

(注) 区分については、日報等業務に係るとりまとめの区分を基に作成。
下段の括弧内は、東部四町区域に係る件数で内数とする。

⑥景品表示法に基づく調査・指導の状況

ア 食品

(単位:箇所、件数)

区分		件数	主な違反事項等の概要
処理 件数	職権探知	2 (-)	
	情報提供	1 (-)	
合計		3 (-)	
処理 件数	措置命令	/	
	指導等	3 (-)	
	うち公表	/	
	違反事実なし・打切り	0 (-)	
	消費者庁への通知	/	
	公取協への通知	/	
	その他	/	
合計		3 (-)	

(注) 下段の括弧内は、東部四町区域に係る件数で内数とする。

イ 食品以外

(単位:箇所、件数)

区分		景品	表示	主な違反事項等の概要
受理 件数	職権探知			
	情報提供		2 (0)	
合計			2 (0)	
処理 件数	措置命令			
	指導等		1 (0)	
	うち公表			
	違反事実なし・打切り		1 (0)	
	消費者庁への通知			
	公取協への通知			
	その他			
合計			2 (0)	

(注) 下段の括弧内は、東部四町区域に係る件数で内数とする。

⑦営業許可の状況

食品衛生法第52条に基づく営業許可(新規及び更新)について999件(うち、四町分は134件)の許可証を交付した。

⑧鳥取県食品衛生条例に基づくHACCPの推進

鳥取県HACCP適合施設の認定について、5施設の現地検査を実施した。

⑨調理師法に基づく免許証の交付

試験合格者31名及び養成施設卒業者8名に対し、免許を交付した。
また、免許証の書換交付を15件、再交付を8件処理した。

⑩製菓衛生師法に基づく免許証の交付

7名に対し、免許を交付した。

⑪鳥取県ふぐの取扱い等に関する条例に基づく免許証及び認証書の交付

試験合格者1名に対し、免許を交付した。ふぐ取扱業務を営もうとする者に対して3件の認証書を交付した。

⑫鳥取県魚介類行商条例に基づく許可証の交付

1名に対し、許可の更新を行った。

⑬その他法令(と畜場法、食鳥処理法)に基づく処分状況

食鳥処理場・と畜場を営もうとする者からの許可申請はなかった。

鳥取東保健センターに関する事業

鳥取東保健センターは、健康・子育て推進課の保健センター部分に相当する業務を行っており、乳幼児健診、各種がん検診、健康づくり事業、食育推進事業などを行っている。

担当地域は、東中学校区、桜ヶ丘中学校区、国府中学校区となっている。

(1) 職員配置状況

所長（保健師）	1人	管理栄養士	1人
所長補佐（保健師）	1人	訪問看護師	2人
保健師	4人 (育休1)	事務	1人

(2) 令和2年度の重点的な取組み

①地域診断に基づく地区活動の展開

保健師・栄養士が各担当地区の健康課題を整理、共有した結果に基づき、新規の地区活動の実践につなげて行った。

【母子保健事業】

地域での育児を支援するため、サークル活動が実施されていない地区で保護者と赤ちゃんのためのサロンを実施。民生児童委員や地域のボランティアと連携し共催。

○実施状況：稲葉山地区（参加数 親子4組）

【成人保健事業】

モデル地区として選定し、公民館や健康づくり推進員と共催で健診結果説明会を実施。事前に地区の健康課題を共有し、計画立案から開催までを行った。

○実施状況：津ノ井地区（参加数 13人）

【包括支援センターとの連携】

鳥取東地域包括支援センターが令和2年10月開所されたことに伴い、東中校区福祉保健機関連絡会を開催。長寿社会課、鳥取東地域包括支援センター、鳥取東保健センター、社会福祉協議会の担当で地域の状況について共有し、地区活動での連携を図った。

②生活習慣病重症化予防

人間ドック手続き時の保健指導、特定健診受診者への家庭訪問・個別相談を継続的に実施し、生活習慣病の重症化を防ぐ取組みを推進することができた。

(3) 主な活動実績

家庭訪問（延世帯数）	母子 362	成人等 201
保健指導者数（延）	来所 134	電話 332
健診、地域活動等回数・参加者数（延）	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児集団健診 47回 1,133人 ・成人集団健診 14回 400人 ・健康教育・健康相談（食育事業含む） <ul style="list-style-type: none"> (母子) 39回 326人 (成人) 54回 636人 ・健康づくり地区推進員会 <ul style="list-style-type: none"> 12回 191人 ・食育事業 40回 380人 	

IV 健康こども部事業概要

こども家庭相談センターに関する事業

(1) 児童相談

児童虐待の未然防止や早期発見に積極的に取り組み、要保護児童等に関する相談や調査、関係機関と連絡調整等を行いながら支援業務を行った。また平成 27 年 4 月より、妊娠期から子育て期の様々なニーズに対し、切れ目のない支援を行うため「子育て世代包括支援センター」機能を有しており、当センターはリスクの高い妊婦の支援を行った。

① 児童相談受理状況 相談件数 410 件 (内 児童虐待として対応したもの 30 件)

相談経路	児童相談所	県その他部署	保健センター	市町村その他部署	保育所・幼稚園	警察等	保健所	医療機関	学校	教育委員会等	児童委員	家族・親戚	近隣・知人	その他	計
件数	61	1	34	52	13	3	0	110	78	4	1	27	14	12	410

相談経路		相談内容	件数	計
児童相談所		虐待の疑い、虐待に関する相談	9	61
		情報提供、支援依頼	52	
警察		虐待の疑い、虐待に関する相談	0	3
		情報提供、支援依頼	3	
市町村	福祉事務所	虐待の疑い、虐待に関する相談	6	47
		養育や家庭状況の心配、こどもの育成に関する相談	13	
		他自治体からの継続支援の依頼	28	
市町村	保健センター	虐待の疑い、虐待に関する相談	5	34
		養育者の精神疾患、子育て不安、養育や家庭状況の心配等	29	
市町村	その他	養育や家庭状況の心配、こどもの育成に関する相談	5	5
保育所・幼稚園		虐待の疑い、虐待に関する相談	9	13
		養育者の精神疾患、子育て不安、養育や家庭状況の心配等	4	
学校・教育委員会		虐待の疑い、虐待に関する相談	22	82
		養育や家庭状況の心配	35	
		不登校、発達障がい、問題行動等	25	
医療機関		虐待の疑い、虐待に関する相談	1	110
		養育や家庭状況の心配	8	
		早期母子支援依頼、子育て支援依頼(妊婦、新生児)	101	
家族・親戚		虐待の疑い、虐待に関する相談	13	27
		養育や家庭状況の心配、養育者の病気等による養育支援	5	
		育児、発達、不登校や問題行動等	9	
近隣・知人		虐待の疑い(泣き声、怒鳴り声等の通告)	12	14
		養育や家庭状況の心配	2	
児童本人		虐待に関する相談、家庭関係の相談	0	0
その他		虐待の疑い、虐待に関する相談	3	14
		養育や家庭状況の心配	9	
		育児、発達、不登校や問題行動等	2	
計			410	410

年齢	0歳	1～3歳	4～6歳	7～10歳	11～14歳	15歳以上	計
件数	109	54	57	79	51	60	410

- ② 要保護児童対策地域協議会 (代表者会議：1回、実務者会議：6回、個別支援会議：222回)
- ③ 子育て相談ダイヤル(相談を受けるとともに、情報提供を行う) ・相談件数 149件
- ④ 養育支援訪問事業

養育の支援が必要であると判断した家庭に対し、訪問等により育児支援、家事等の援助及び相談を受ける。また、カウンセリングが特に必要であると判断した家庭の妊産婦及び児童並びにその養育者に対し、精神的安定を図り、適切な養育の実施を確保する。

訪問事業		カウンセリング事業	
子どもの虐待防止ネットワーク鳥取へ委託		心理士によるカウンセリング(週2日)	
家庭数(実)	7件	利用人数(実)	5人
訪問数(延)	216回	利用人数(延)	95人

- ⑤ 親と子のすこやか推進事業「らくだクラブ」

強い育児不安や育児困難感を持つ親へのグループ教室。

毎月1回 11回実施 保護者参加 実6人、延33人

- ⑥ 幼児健診における育児相談

健診会場等において育児不安や悩みの相談を受けるとともに子育てに関する情報提供を行った。

・相談件数 111件(内訳 6か月児健診：60件、1歳6か月児健診27件、3歳児健診24件)
健診から継続相談(再掲)27件

- ⑦ 早期母子支援事業

不安や悩み、生活上の問題を抱える妊婦を把握し妊娠早期から関わることによって安心して妊娠・出産・子育てが行え、児童虐待の予防に資することを目的に、母子健康手帳交付時にアンケートを実施しリスクを抱える妊婦への早期支援を行った。地区担当保健師と支援を分担し、当所は経済的な問題や精神疾患等のあるリスクの高い妊婦の支援を行った。

相談件数 53件(内訳 当日面談 25件、アンケートから抽出 28件)

○支援が必要な対象妊婦に対し、妊娠8か月頃に電話による状況把握と相談を実施。出産後、新生児訪問に相談員が同伴し、地区担当保健師と連携して継続支援を行った。

- ⑧ 「妊娠SOS」相談事業

妊娠したことや出産・養育についての悩みを抱える方が相談しやすい体制を整備した。

・相談件数 10件 ・相談形態(電話8件、メール1件、来所1件)

- ⑨ 産後母子支援事業

家族等から産後の援助が十分に得られないなど、特に育児支援を必要とする母子を対象に、支援を行い心身の安定と育児不安の解消を図った。(市内の産科医療機関や助産所に委託)

乳児一時預かり	生後4か月までの乳児を日帰りで預かり、母親の疲労回復を図る	67件
母子ショートステイ	生後3か月までの乳児と母親が宿泊してケアを受け、不安の軽減を図る	44件 128日
母子デイサービス	生後4ヶ月までの乳児と母親が日帰りでケアを受け、不安の軽減を図る	44件

(2) 女性相談

今年度より女性相談窓口が当所に移設され、DV対応と児童虐待対応との連携強化が図られた。

相談件数：実件数 1,204件。

・そのうちDV相談 延件数：340件

こども発達支援センターに関する事業

平成30年5月、福祉と教育が一体となって、発達上の困難を抱える乳幼児期から18歳未満までの児童とその保護者に対し、ライフステージに合わせた切れ目のない一貫した総合的な支援を行うことを目的に設置した。

1 発達支援係

①発達に関する相談

児童の発達に関する保護者の心配事に対し、来所、電話又は訪問等による相談を受けた。また、保健師や保育者、医療・療育関係機関との連絡・調整を行った。

(人)

相談種別	養護相談		保健相談	障がい相談						育成相談				その他の相談	計
	児童虐待相談	その他の相談		肢体不自由	視聴覚障がい	言語発達障がい等	重症心身障がい	知的障がい	発達障がい	性格行動	不登校	適正相談	育児・しつけ		
実人数	-	-	-	2	1	2	-	6	148	-	2	-	3	5	169
延人数	-	-	-	6	6	18	4	178	1,629	1	4	-	21	36	1,903

②心理発達相談・発達検査

心理相談員による児童の発達確認や発達検査等を行うとともに、子育ての中での困り感を聴取し、児童の特性に合わせた対応や必要な療育等の情報提供を行った。

心理発達相談	実人数	104人	延人数	183人	(上記再掲)
--------	-----	------	-----	------	--------

③保育訪問相談・支援

心身の発達の支援が必要な児童及び保育上の配慮が必要な児童に対し、発達支援等の専門員が各保育園、幼稚園等を訪問し、対象児童の発達支援及び保護者支援の充実を図った。

保育訪問相談	実人数	55人	延人数	55人	(上記再掲)
健診後等による園訪問	実人数	85人	延人数	85人	(上記再掲)

④鳥取市発達支援保育指導委員会の開催及び巡回指導

鳥取市障がい児等保育実施要綱に規定する発達支援保育指導委員会の開催及び委員による年2回(前期、後期)の保育園への訪問を行い、保育園における保育の観察及び助言指導と、障がい児等の経過観察等、適切な保育の支援を行った。

巡回指導対象園数	37園	対象児人数	113人
----------	-----	-------	------

⑤5歳児発達相談事後相談・支援

5歳児発達相談後に子育てや心理発達、保育・教育相談が必要な児童とその保護者を対象に、個別の相談を実施し、必要な児童の就学移行支援を行った。

5歳児発達相談	65人中、事後相談が必要だった児童	55人
内訳	医療受診	24人
	保育訪問相談	14人
	園訪問	24人
	発達相談	24人
	教育相談	20人(重複あり、上記再掲)

⑥親子通所療育

発達上の困難を抱える児童と保護者に対し、親子で遊ぶ体験や基本的な生活習慣を獲得のための取り組みを提供する中で、保護者が児童との関わり方を学び、児童の発達の特徴を理解する場として実施した。

親子通所療育	開催回数	51回	実人数	17組	延人数	274組
--------	------	-----	-----	-----	-----	------

⑦小集団療育

5歳児発達相談後に経過観察が必要な児童及び保育園、幼稚園等の大きな集団での活動に困難を抱える児童を対象に、児童の特徴をふまえた小集団での療育を実施した。保護者同士のつながりを持つ場として保護者交流会を持ち、児童との関わりや心配なこと、就学に向けての情報交換等を行った。

小集団療育	開催回数	13回	実人数	11組	延人数	50組
-------	------	-----	-----	-----	-----	-----

⑧親の会の支援

発達上の困難を抱える児童をもつ親の集いを開催し、学校や友人関係等の情報交換や交流の場として実施した。

親の会（いっぽいっぽ）	開催回数	9回	実人数	21人	延人数	63人
-------------	------	----	-----	-----	-----	-----

⑨発達支援に関する支援者等研修会の開催

児童を支援する施設の支援者を対象とした支援者向けの研修会と市民を対象とした情報発信や障がい福祉を地域と共に考える機会として研修会を実施した。

R3. 1. 26 令和2年度地域療育セミナー 講師 鳥取療育園園長 稲垣真澄氏
(ケーブルテレビで放送)

⑩関係機関とのネットワークづくり

発達支援に必要な児童及び保護者への支援に対し、関係団体、関係機関との支援体制づくりを図った。

・鳥取市こどもの発達支援ネットワーク推進会議の開催（R2. 10. 15）

発達障がいをもつ児童またはその疑いのある、児童の各ライフステージに対応する一貫した支援体制の推進について検討。主に、福祉と教育との連携における切れ目のない発達支援体制の充実に向けた支援のあり方について協議した。

・鳥取市地域自立支援協議会乳幼児期学齢期支援部会の開催（随時）

学齢期を中心とした切れ目のない支援のあり方について、学校現場における福祉との連携について、事例を通して支援の現状把握をした。

2 特別支援教育係

①教育相談・支援

小学校入学前の年中、年長期から、18歳までの児童及び保護者に対して、就学に関することや学習面や行動面の学校生活に関する相談を来所、電話または訪問等により行った。

教育相談	実人数	324人	延人数	1,809人
主な内容	就学相談・見学	965人	情緒・行動	131人

②早期からの教育相談

就学相談員が、特別な支援を必要とする児童及び保護者に対して、早期から就学に関する情報提供や教育相談を行い、柔軟できめ細やかな就学移行支援を行った。

1	就学に関する相談（①②③）	56園	489回	実人数	152人
	①園訪問		80回		
	②来所		188回		
	③電話		221回		

2	学校に関する相談・見学・同行	50回	
3	就学移行支援会議への出席	26回	実人数 25人
4	就学後の支援会議（フォロー会議）	6回	実人数 5人
5	5歳児発達相談会場での教育相談	38回	
6	就学後の保護者相談（来所・電話）	26回	実人数 18人

（上記再掲）

③就学前小集団活動

小学校入学時に必要なスキルやルールを学ぶ機会をつくり、学校生活への不安軽減を図り安心して就学を迎えることができるように支援を行った。

にじのきょうしつ	実人数	16人	延人数	108人	（上記再掲）
----------	-----	-----	-----	------	--------

④就学移行に関する相談

幼児期から学齢期に移る上での一貫した支援を行うために作成した「育ちをつなぐ（改訂版）～就学移行期の支援の進め方～」の内容を関係機関で共有し、児童及び保護者の相談支援を行った。また、教育機関等との支援内容に関する協議を行いながら継続した支援を行った。

就学移行支援会議	実人数	45人	延人数	46人	（上記再掲）
----------	-----	-----	-----	-----	--------

⑤T式ひらがな音読支援

市内全小学1年生のひらがな読みの確認・支援結果及び小学2年生の語彙指導結果をもとに助言し、学力向上・不登校解消の一助を図った。

⑥関係機関との連携

園訪問等を通じ、就学相談の機会を広げ、学校見学同行や移行支援会議・フォロー会議参加による学校支援を行い、移行支援の充実を図った。また、関係機関主催の健診や研修会に参加・協力し連携を強めた。

3 児童発達支援センター若草学園

①児童発達支援センター「若草学園」の運営

発達支援の必要な幼児に対して、生活自立を目指して、一人ひとりの発達に応じた集団又は個別での療育を実施した。

園児数	30人
-----	-----

②障がい児等地域療育支援事業

発達支援の必要な児童に対し、外来及び保育園等の訪問による相談・指導を実施した。

外来療育	延人数	718人	訪問療育	延人数	107人	施設支援	53園
------	-----	------	------	-----	------	------	-----

③日中一時支援事業

障がい児の日中の活動の場を確保し、その家族の就労等を支援した。

延人数	1,902人
-----	--------

④相談支援事業所わかくさの運営

障がい福祉サービスを利用する者に対する相談・支援、利用計画の作成を行った。

実人数	37人	延人数（アセスメント、モニタリング）	143人
-----	-----	--------------------	------

V. 資 料

資料 1 要綱等新規制定・改正状況一覧表

No.	担当課（センター）名	要綱等の名称	新規制定・改正日
1	保健総務課	災害用救急医薬品等備蓄事業実施要綱	制 定 平成30年 4月 1日 一部改正 令和 2年 7月28日
2	保健総務課	鳥取市公衆浴場確保対策補助金交付要綱	制 定 昭和53年 8月 8日 一部改正 令和 2年10月 1日
3	保健医療課	鳥取市デイケア・サロン（地域生活支援事業）実施要綱	制 定 平成30年 4月 1日 一部改正 令和 2年 4月 1日
4	保健医療課	鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行推進会議設置要綱	制 定 平成31年 4月15日 一部改正 令和 2年 4月 1日
5	保健医療課	鳥取県東部圏域精神科救急医療体制整備事業連絡調整会議設置要綱	制 定 平成30年 4月 1日 一部改正 令和 2年 4月 1日
6	保健医療課	鳥取市自死対策緊急強化事業補助金交付要綱	制 定 平成26年11月18日 一部改正 令和 2年 9月 1日
7	保健医療課	鳥取市精神障がい者地域移行・地域定着支援事業、レインボウ事業実施要領	制 定 平成30年 4月 6日 一部改正 令和 3年 2月 1日
8	保健医療課	鳥取市ロタウイルスワクチン任意接種費用助成金交付要綱	制 定 令和 2年 5月14日

資料2 沿革

年	月	組織について	事業の動き	その他の動き
平成29年	4月	機構改革により保険年金課健診推進室から中央保健センター健診推進室へ変更	<ul style="list-style-type: none"> 中央保健センター・鳥取東健康福祉センターに子育て世代包括支援センターを開設 中央保健センターに専任の助産師を配置 産後サロン開始 妊娠・出産包括支援事業に母子ゲイサービス事業を追加 1歳6か月健診においてフッ化物塗布を開始 鳥取大学地域貢献事業として「しゃんしゃんグニサイズ」効果検証 個別リスクに基づく適切な胃がん検診体制構築に関する研究に参加 年少児の発達相談の開始 幼児歯科教室（2歳6か月児対象）の終了 第3期鳥取市国民健康保険特定健康診査等実施計画策定 中核市保健所として、地域の保健医療・精神保健・感染症予防・環境衛生等の業務を行うとともに、県東部4町区域の保健所業務を県からの移譲及び委託により実施 高齢者等歯科対策推進事業について、通所施設歯科健診を施設歯科健診に変更 	
平成29年	6月			
平成29年	10月			
平成30年	3月	保健所準備室の廃止（保健医療福祉連携課業務解除）		
平成30年	4月	中核市移行により、鳥取市保健所を開設		
平成30年	5月	機構改革によりこども発達・家庭相談センターからこども家庭相談センターとこども発達支援センターへ変更	<ul style="list-style-type: none"> 健康こども部の発達相談・支援と教育センターの教育相談・支援を一元化 鳥取市教育センターに「こども発達支援センター あいぽっぼ」の設置 こども家庭相談センターに女性相談、DV相談窓口の設置 集団検診Web予約の開始 胃全摘者への対応として、胃なし人間ドックを開始 いのち支える鳥取市自死対策推進計画策定 	
平成30年	6月			
平成31年	3月			

資料2 沿革

年 月	組織について	事業の動き	その他の動き
平成31年 4月		<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業開始 ・産後健康診査事業開始 	
令和元年 10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援対策強化のため、支援コーディネーターを設置（特定非営利法人 鳥取青少年ピアサポートに委託） ・保健所と保健センターの一体化を図り機構改革 	
令和2年 4月	<p>機構改革により、保健医療福祉連携課及び総務課へ、健康支援課及び障がい者支援課精神保健係から保健医療課へ、中央保健センターから健康・子育て推進課へ、鳥取東健康福祉センターから鳥取東保健センターへ変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市駅南庁舎に「健康づくりと子育て支援の総合拠点」誕生 	
令和2年 5月	さざんか会館から鳥取市駅南庁舎へ移転		
令和2年 7月		<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域栄養管理情報連携サポート事業開始 	
令和3年 3月		<ul style="list-style-type: none"> ・第4期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」策定 ・第3次鳥取市食育推進計画策定 ・第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画策定 	

「けんこう 鳥取 令和2年度」
(令和3年8月発行)

鳥取市保健所保健総務課

鳥取市保健所保健医療課心の健康支援室

鳥取市保健所健康・子育て推進課健診推進室

鳥取東保健センター

こども発達支援センター

河原町総合支所市民福祉課

佐治町総合支所市民福祉課

鹿野町総合支所市民福祉課

鳥取市保健所保健医療課

鳥取市保健所健康・子育て推進課

鳥取市保健所生活安全課

こども家庭相談センター

福部町総合支所市民福祉課

用瀬町総合支所市民福祉課

気高町総合支所市民福祉課

青谷町総合支所市民福祉課